

平成27年度 学生意識総合調査

調査結果報告書

昭和大学

# 目次

平成 27 年度（第 3 回）学生意識総合調査について	1
平成 27 年度「学生意識総合調査」アンケート実施日程および学部別回答率	3
学部・学年・男女別回答率一覧	4
集計結果	5
A. 基本的構成（No. 1～No. 3）	6
B. 大学について（No. 4～No. 7）	7
C. 全寮制教育（No. 8～No. 17）	11
D. 学生生活（No. 18～No. 36）	21
E. 日常生活全般（No. 37～No. 52）	40
F. 課外活動（No. 53～No. 59）	56
G. 経済状況及び奨学金（No. 60～No. 66）	63
I. キャリア支援（No. 67～No. 72）	70
J. 教育施設に関する事項（No. 73～No. 81）	76

## 【平成27年度（第3回）学生意識総合調査について】

### 1. 目的

昭和大学は、昭和3年の創立以来、建学の精神である「至誠一貫」に基づき、“まごころ”を尽くす質の高い医療人の育成を理念とする教育を行ってきた。平成20年度に創立80周年を迎え、医系総合大学として社会の要請に応える人材を輩出し、大学の活性化とさらなる飛躍を期するためには、教育と学生支援の質の向上が必要不可欠である。

平成27年度（第3回）学生意識総合調査は、平成24年度（第2回）に引き続き、大学評価向上の一環として、本学学生の意識・生活実態を定点観測し、これ把握し分析することを通じて、学生の満足度を高める教育・学生生活・環境を創出していく基礎とすることを目的に全学的規模で実施した。

今後も、この調査は定期的（3年毎）に実施し、学生を取り巻く社会環境や意見の変化を的確に把握し、学生サービスの向上政策に生かしていくものである。

### 2. 方法

本学に在籍する学部学生1～6年次を対象として全数調査とし集合調査法で実施した。また、アンケート回答方法として、マークシートによる5者選択（択一と複数選択の併用）、無記名回答形式とした。（アンケート未回答者を追跡するため、回答後、名前の入った封筒にマークシートを入れて提出させた。データ抽出時、封筒からマークシート取り出し封筒は処分した。）

実施時期は、回収率100%を目指すため、主に平成27年12月～平成28年1月の各学部学年の学生が集合する日とした。調査項目は、①基本的構成、②大学について、③全寮制教育、④学生生活、⑤日常生活全般、⑥課外活動、⑦経済状況および奨学金、⑧キャリア支援、⑨教育施設に関する事項の計9項目に分類され、設問数は81問である。

アンケートの集計結果は、分析・検証を行い、学生の意見を基にした現状における本学の教育および学生支援等の問題点を明らかにし、今後の改善と方策について考察した。

なお、今回の調査から対象に1年次を加え実施し、分析・検証を行った。

### 3. データ集計について

以下の基準を定めて集計を行った。

- (1) 設問1 学部、設問2 学年、設問3 性別に関する誤記について、学生の属性が明確なものは正しい選択に変更した。
- (2) 回答率（％）の数値は小数点2桁で四捨五入した。
- (3) 回答率（％）の分母は、アンケート回収枚数（無効回答・無回答を含めた数）とした。
- (4) ろ過的設問（回答項目を限定しさらに別の設問を行う設問）では、親設問への回答が不適切な場合は付随する子設問を無効とした。
- (5) 単一回答方式にもかかわらず誤って複数回答された場合もその実数を採用し、アンケート回収枚数を分母とした数を超えた場合は、各設問の選択者数比率を維持したまま超過数を切り捨てた。
- (6) 複数回答方式の設問項目では、検算が困難であるため、無効回答・無回答を計算していない。

※ 無効回答：選択肢以外の記入欄をマークした回答  
無回答：回答無し

## 平成27年度「学生意識総合調査」アンケート実施日程および学部別回答率

### 【全体】

調査対象学生数(1年～6年):3,204人 回答者数:2,835人 回答率(全体平均):88.5%

### 【学部別内訳】

#### ● 医学部

学年	実施日	対象者数			回答者数			回答率
		男	女	合計	男	女	合計	
1年	1月18日(月)	85	34	119	80	33	113	95.0%
2年	12月15日(火)	96	31	127	59	14	73	57.5%
3年	12月16日(水)	93	32	125	71	31	102	81.6%
4年	12月15日(火)	77	29	106	77	29	106	100.0%
5年	12月10日(木)	97	34	131	94	33	127	96.9%
6年	12月10日(木)	86	31	117	82	31	113	96.6%
合計		<b>534</b>	<b>191</b>	<b>725</b>	<b>463</b>	<b>171</b>	<b>634</b>	<b>87.4%</b>

#### ● 歯学部

学年	実施日	対象者数			回答者数			回答率
		男	女	合計	男	女	合計	
1年	1月18日(月)	49	52	101	45	47	92	91.1%
2年	12月11日(金)	56	54	110	43	43	86	78.2%
3年	12月14日(月)	58	50	108	33	37	70	64.8%
4年	1月8日(火)	39	54	93	33	48	81	87.1%
5年	1月22日(金)	49	49	98	33	41	74	75.5%
6年	12月18日(金)	52	48	100	49	50	99	99.0%
合計		<b>303</b>	<b>307</b>	<b>610</b>	<b>236</b>	<b>266</b>	<b>502</b>	<b>82.3%</b>

#### ● 薬学部

学年	実施日	対象者数			回答者数			回答率
		男	女	合計	男	女	合計	
1年	1月18日(月)	44	155	199	43	148	191	96.0%
2年	12月15日(火)	45	150	195	45	139	184	94.4%
3年	12月14日(月)	50	177	227	35	147	182	80.2%
4年	1月22日(金)	37	154	191	35	155	190	99.5%
5年	1月7日(月)～1月22日(金)	57	121	178	36	74	110	61.8%
6年	12月7日(月)	62	144	206	52	135	187	90.8%
合計		<b>295</b>	<b>901</b>	<b>1196</b>	<b>246</b>	<b>798</b>	<b>1044</b>	<b>87.3%</b>

#### ● 保健医療学部

##### 看護学科

学年	実施日	対象者数			回答者数			回答率
		男	女	合計	男	女	合計	
1年	1月18日(月)	8	95	103	8	92	100	97.1%
2年	12月8日(火)	12	95	107	11	92	103	96.3%
3年	12月15日(火)	6	104	110	6	97	103	93.6%
4年	12月15日(火)	5	99	104	6	96	102	98.1%
合計		<b>31</b>	<b>393</b>	<b>424</b>	<b>31</b>	<b>377</b>	<b>408</b>	<b>96.2%</b>

##### 理学療法学科

学年	実施日	対象者数			回答者数			回答率
		男	女	合計	男	女	合計	
1年	1月18日(月)	20	16	36	20	16	36	100.0%
2年		18	18	36	18	18	36	100.0%
3年	12月2日(水)	20	17	37	20	17	37	100.0%
4年	12月2日(水)	16	20	36	16	20	36	100.0%
合計		<b>74</b>	<b>71</b>	<b>145</b>	<b>74</b>	<b>71</b>	<b>145</b>	<b>100.0%</b>

##### 作業療法学科

学年	実施日	対象者数			回答者数			回答率
		男	女	合計	男	女	合計	
1年	1月18日(月)	4	21	25	4	21	25	100.0%
2年	12月17日(木)	2	22	24	2	21	23	95.8%
3年	12月16日(水)	2	22	24	2	22	24	100.0%
4年	12月16日(水)	7	24	31	7	23	30	96.8%
合計		<b>15</b>	<b>89</b>	<b>104</b>	<b>15</b>	<b>87</b>	<b>102</b>	<b>98.1%</b>

## 学部・学年・男女別 回答率一覧

### 1. 学部別

学部	対象者数			回答者数			回答率
	男	女	合計	男	女	合計	
医学部	534	191	725	463	171	634	87.4%
歯学部	303	307	610	236	266	502	82.3%
薬学部	295	901	1,196	246	798	1,044	87.3%
保健医療学部	120	553	673	120	535	655	97.3%
全体	1,252	1,952	3,204	1,065	1,770	2,835	88.5%

### 2. 学年別

学部	対象者数			回答者数			回答率
	男	女	合計	男	女	合計	
1年	210	373	583	200	357	557	95.5%
2年	229	370	599	178	327	505	84.3%
3年	229	402	631	167	351	518	82.1%
4年	181	380	561	174	371	545	97.1%
5年	203	204	407	163	148	311	76.4%
6年	200	223	423	183	216	399	94.3%
全体	1,252	1,952	3,204	1,065	1,770	2,835	88.5%

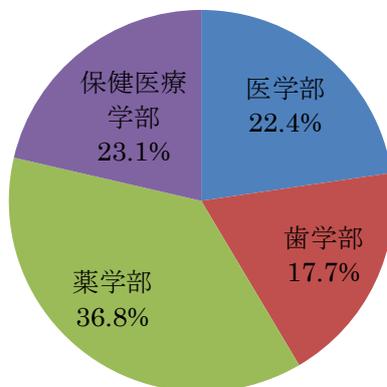
### 3. 男女別

性別	対象者数	回答者数	回答率
男	1,252	1,065	85.1%
女	1,952	1,770	90.7%
全体	3,204	2,835	88.5%

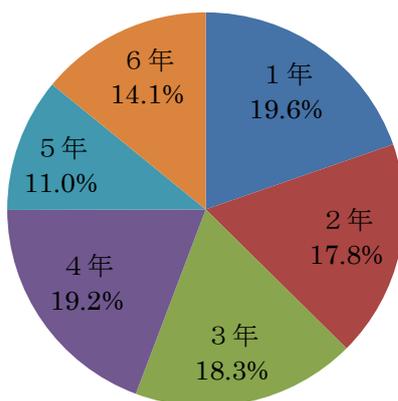
# 集計結果

## A. 基本的構成 (No. 1～3)

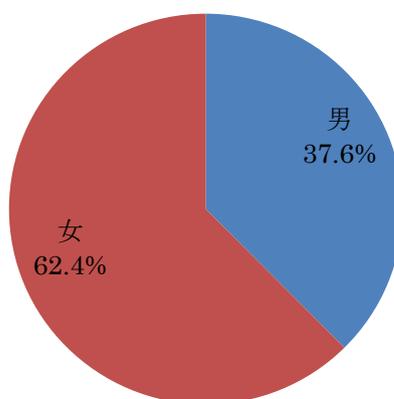
### 1. 学部



### 2. 学年



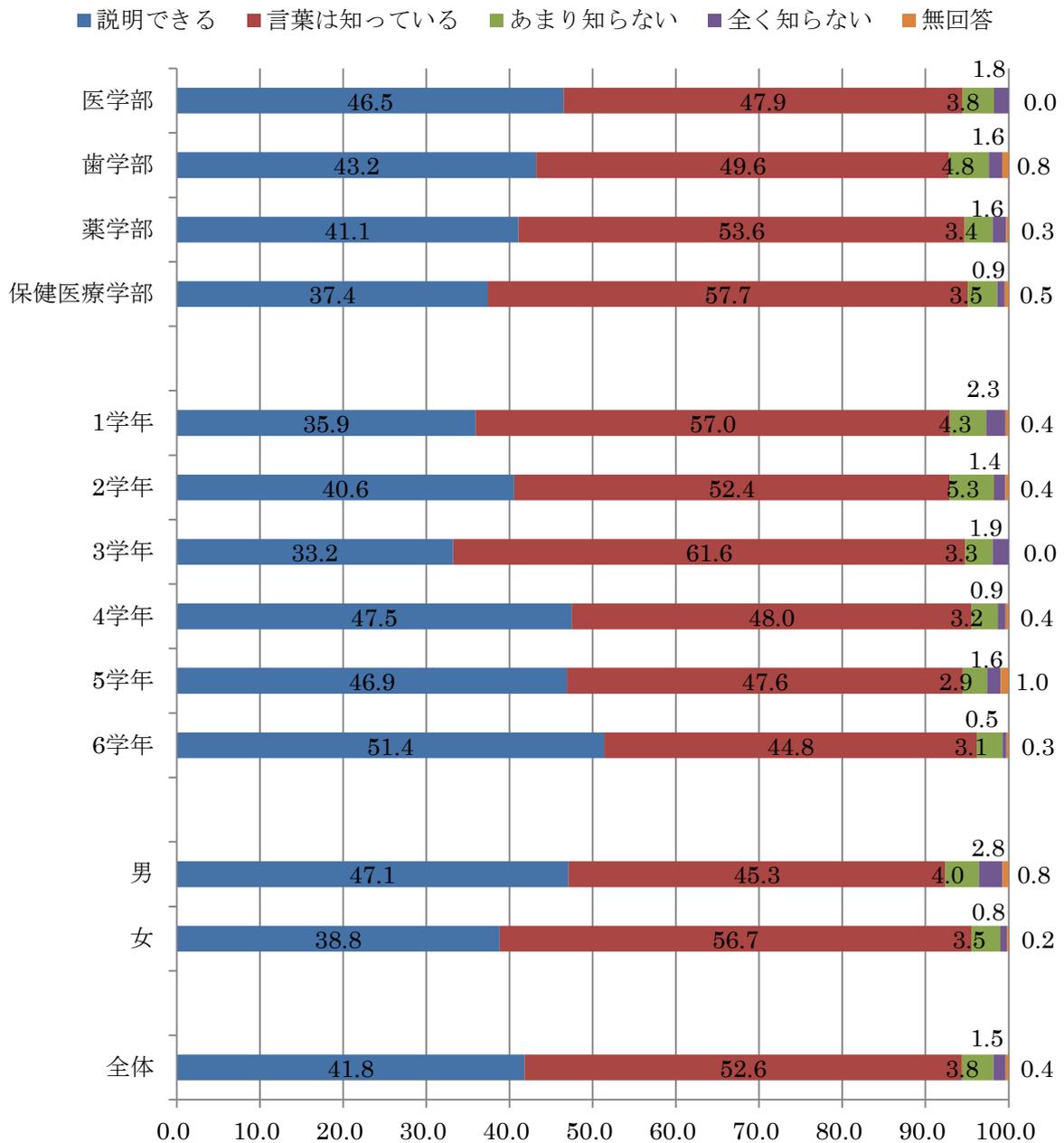
### 3. 性別



調査対象となる学生数は、1 学年～6 学年の学部学生 3,204 人で回答者数は 2,835 人、回答率 88.5%であった。

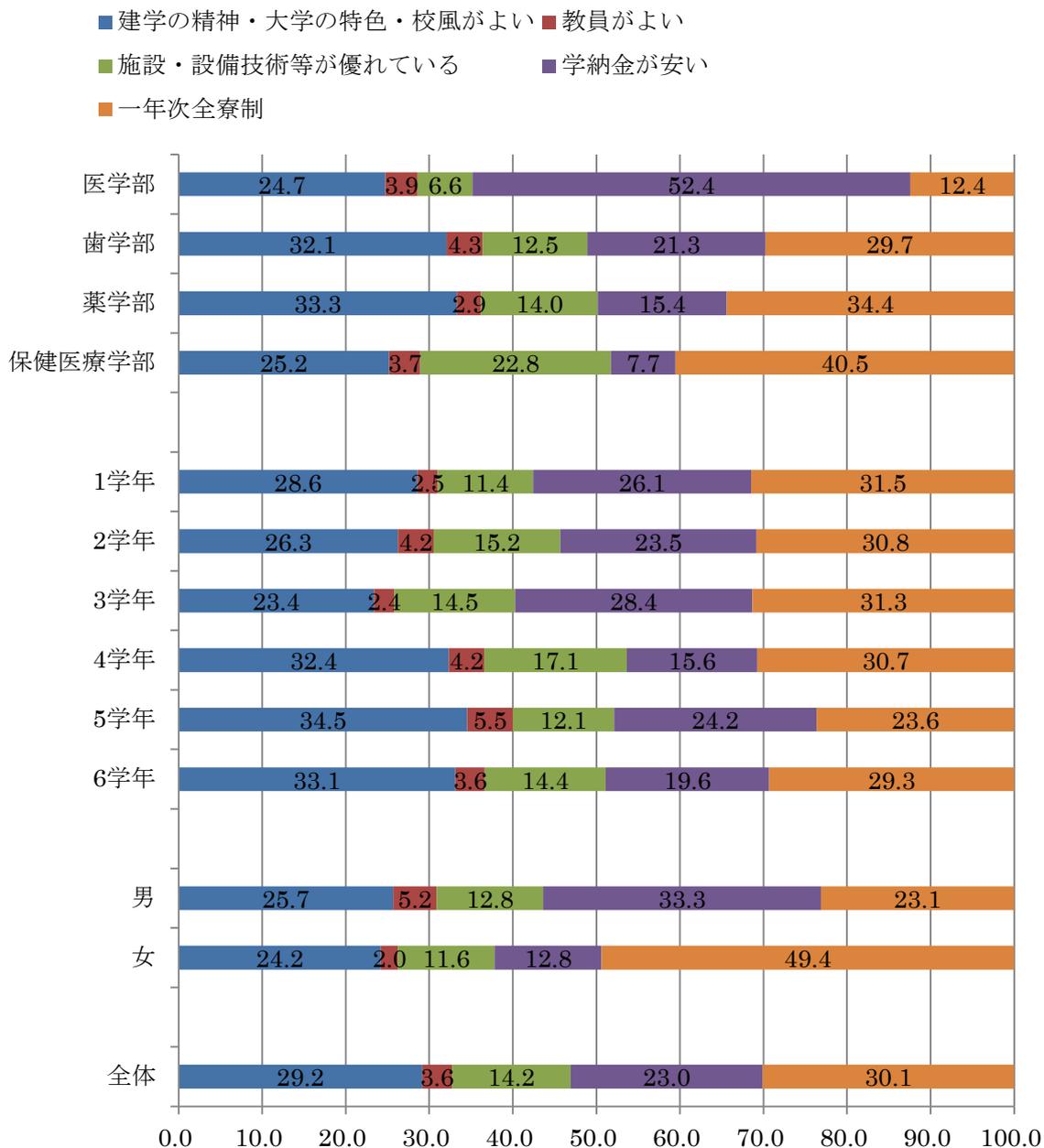
(各学部・学年・性別ごとの在籍学生数、回答者数・回答率は 3 ページ参照)

#### 4. 昭和大学の理念「至誠一貫」について



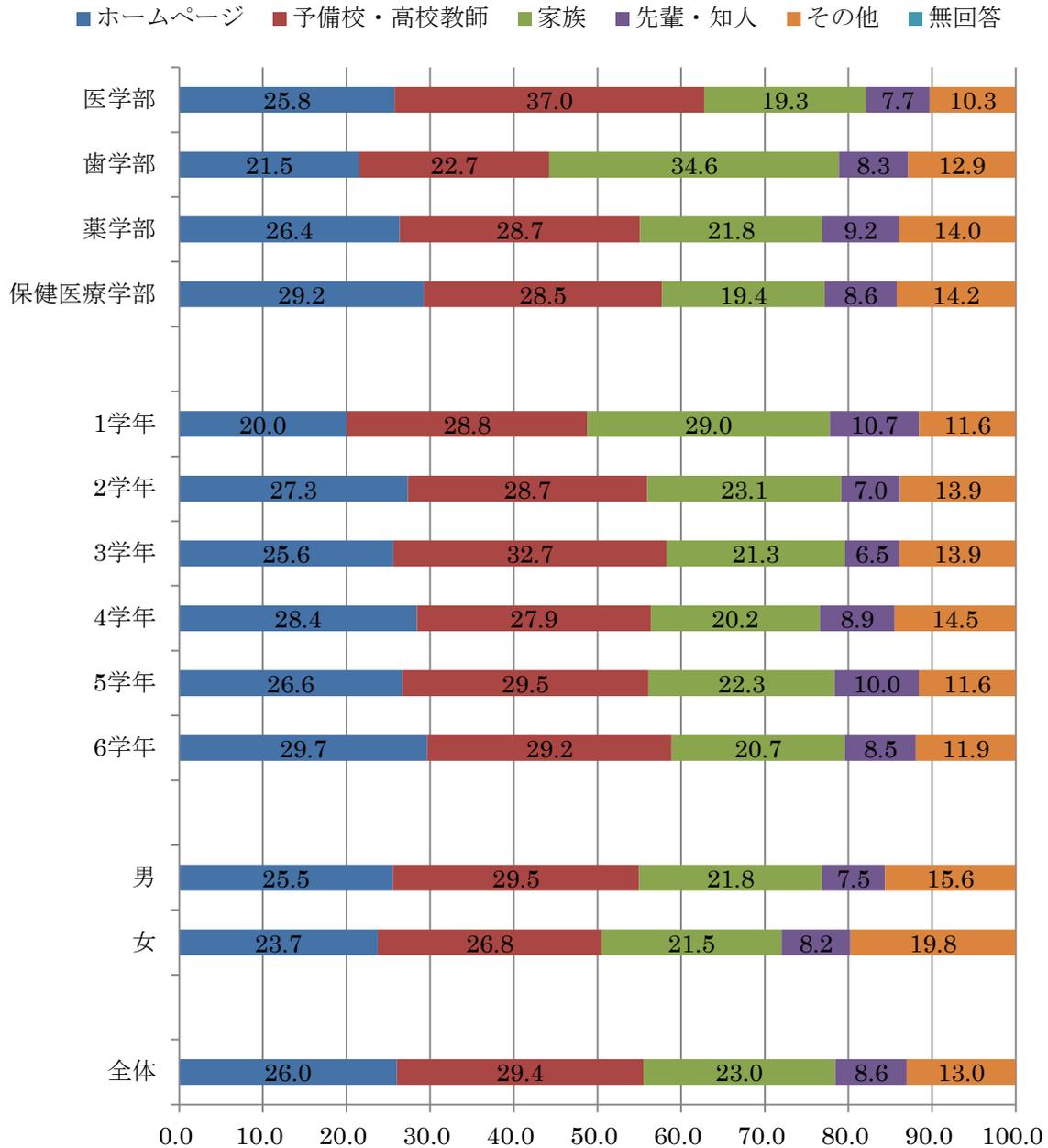
学部別に「至誠一貫を説明できる」割合をみると、医学部が46.5%と最も多く、保健医療学部が37.4%と最も少ない。学年別にみると、学年があがるにつれ増加している。

### 5. 昭和大学を志望した理由 \*複数回答可



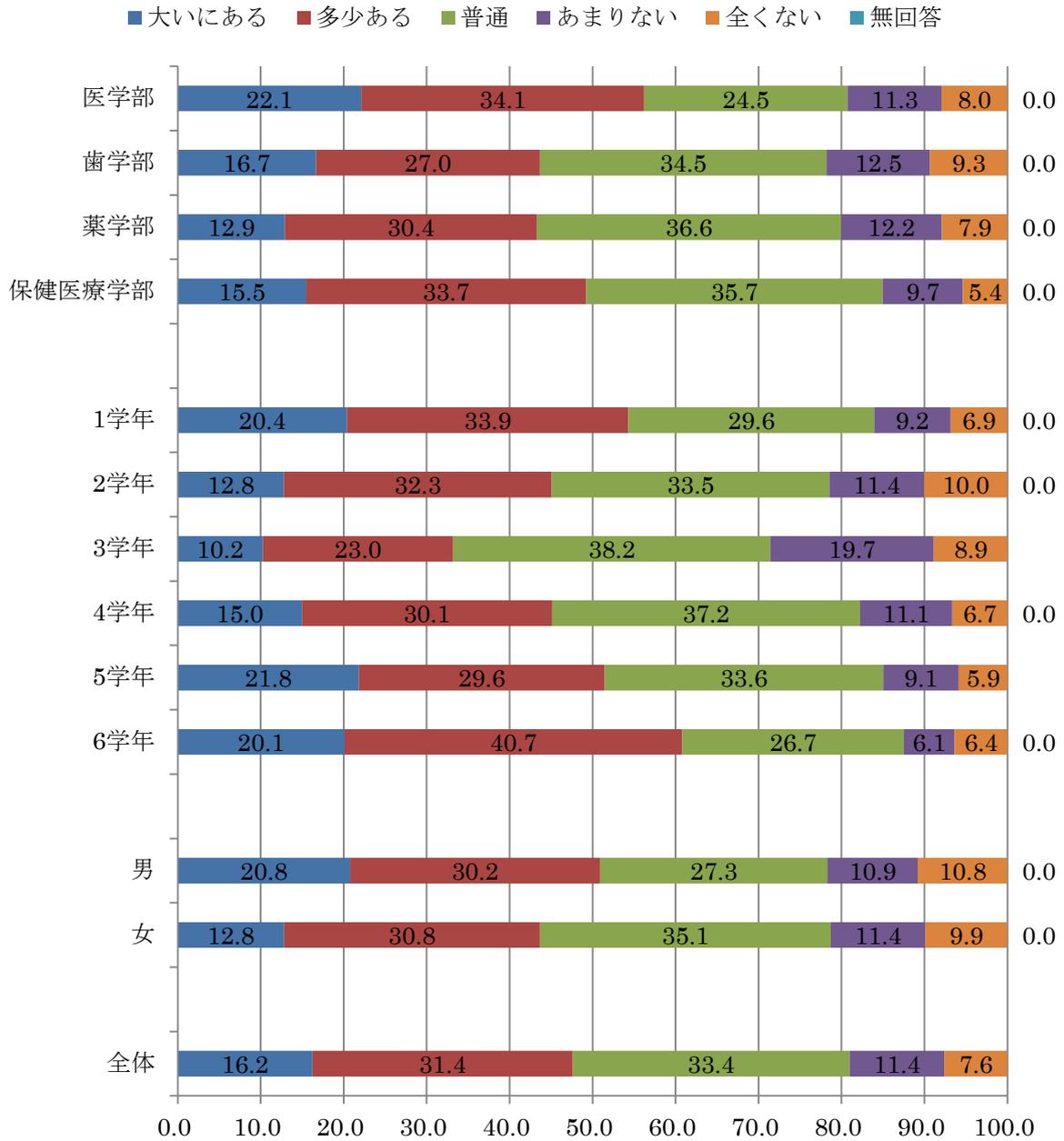
昭和大学を志望した理由としては、医学部では学納金の安さ、歯学部、薬学部では健学の精神、校風等、保健医療学部では全寮制が一位を占める。

## 6. 昭和大学の情報はどこから入手しましたか



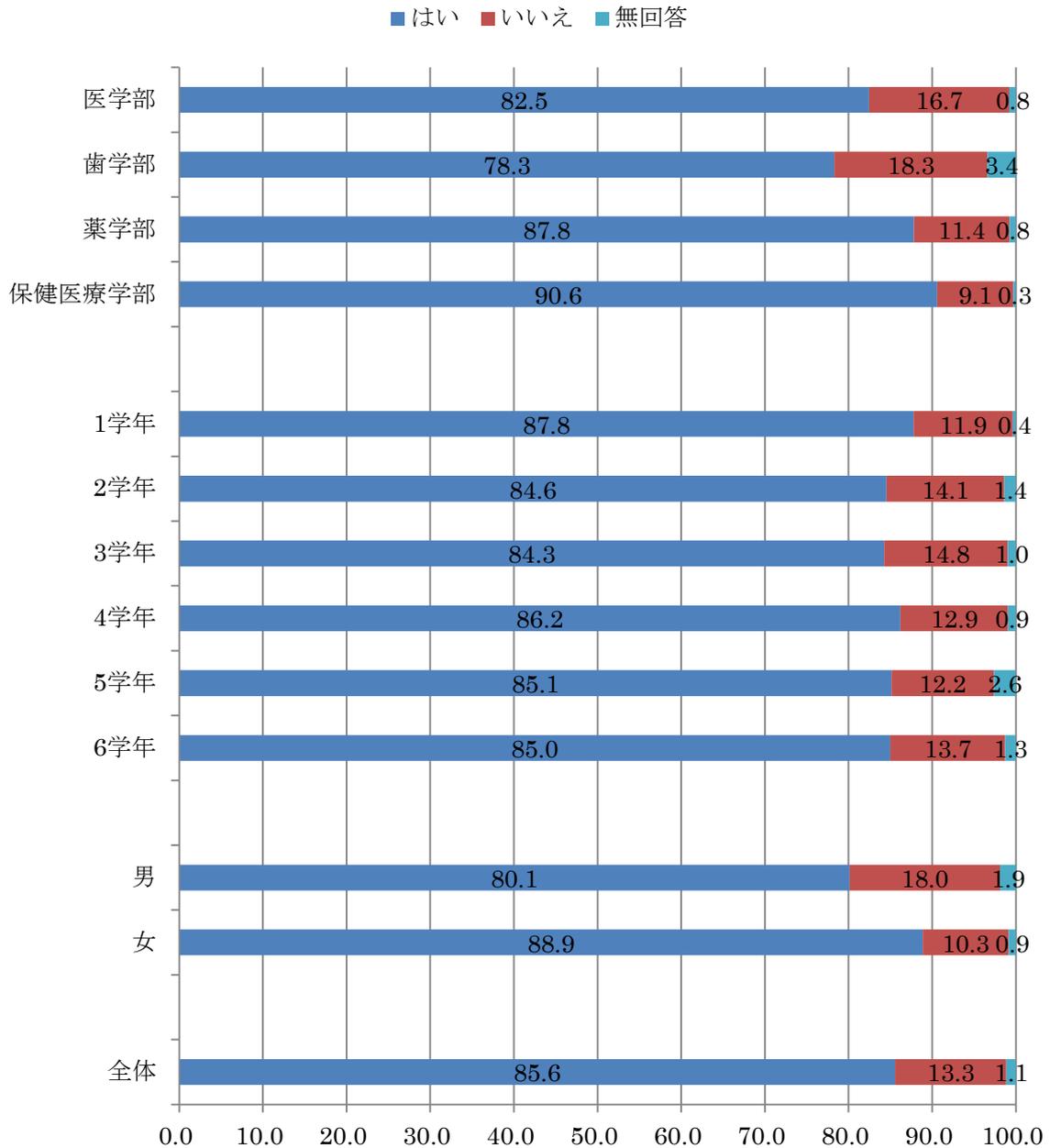
学部別に昭和大学の情報入手先をみると、医学部では予備校・高校教師が最も多く、歯学部では家族が多い。薬学部、保健医療学部ではホームページが多くなっている。

### 7. 昭和大学に対する愛着度について



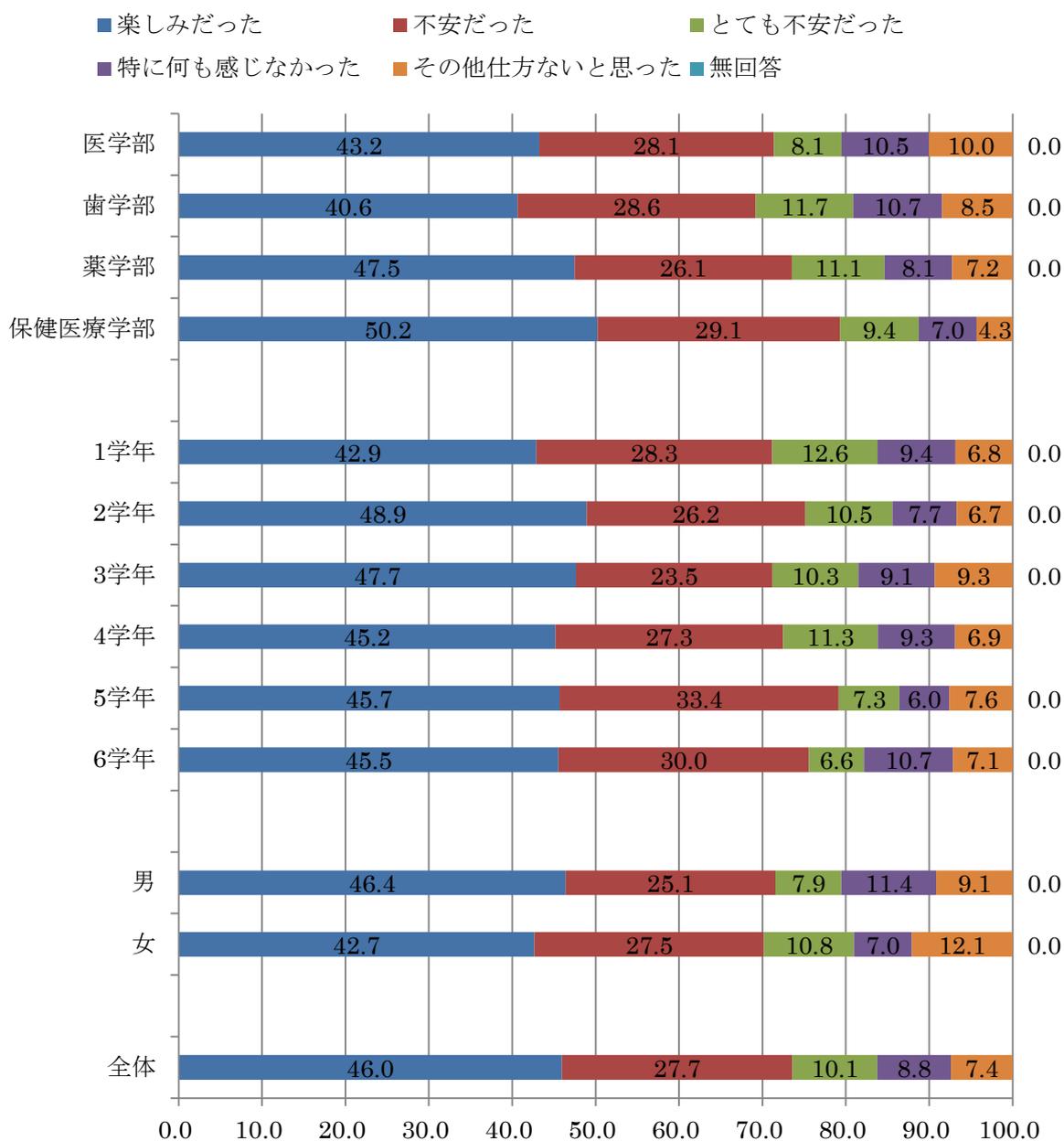
昭和大学に対する愛着度は、医学部、保健医療学部が高く、歯学部、薬学部がやや低い。学年別にみると、一年次で高く、3年で極小値に達し、その後高学年になると一年次と同程度に回復する。

### 8. 1年次に全寮制教育を実施している意義を知っていますか



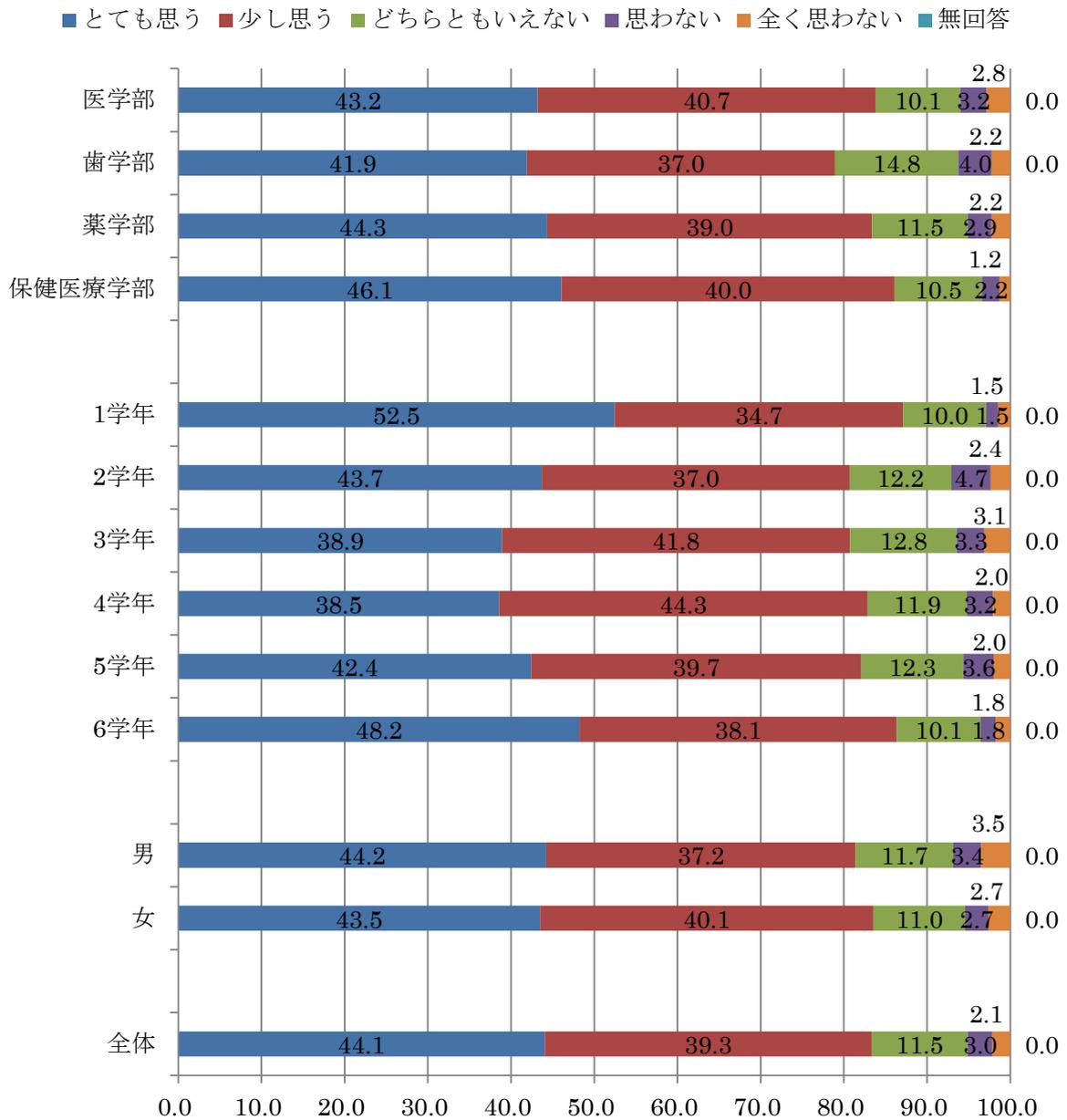
前回調査（平成 24 年度）と同様の 85.6%の学生が全寮制教育の意義を知っていると答えている。オリエンテーションで校歌の由来等のアイデンティティ教育の効果が現れていると思われる。

### 9. 入学するにあたり、一年間の寮生活をどのように考えていましたか



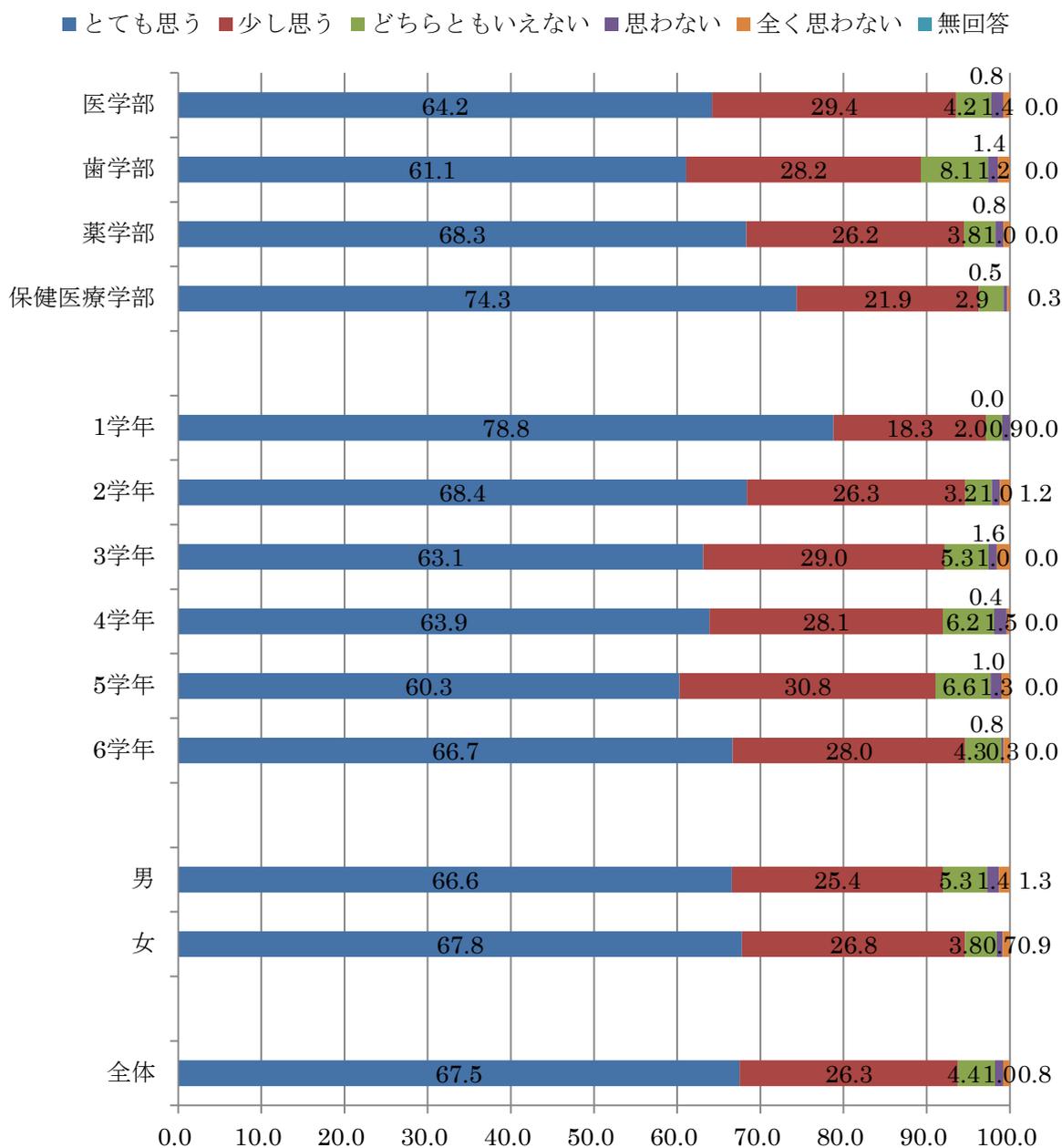
全体で「仕方ないと思った」の回答が7.4%であった。平成10年に全寮制教育30年の意義で卒業生に対して行った同様のアンケートでは同じ設問に対して25.0%であったことを考えるとオープンキャンパスや高校訪問など受験生獲得の効果が現れ、受験生に「全寮制教育の昭和大学」と認知が高まった結果と思われる。

10.寮生活は医療人としての人間性を養う上で有用だったと思いますか  
(有用だと思いますか)



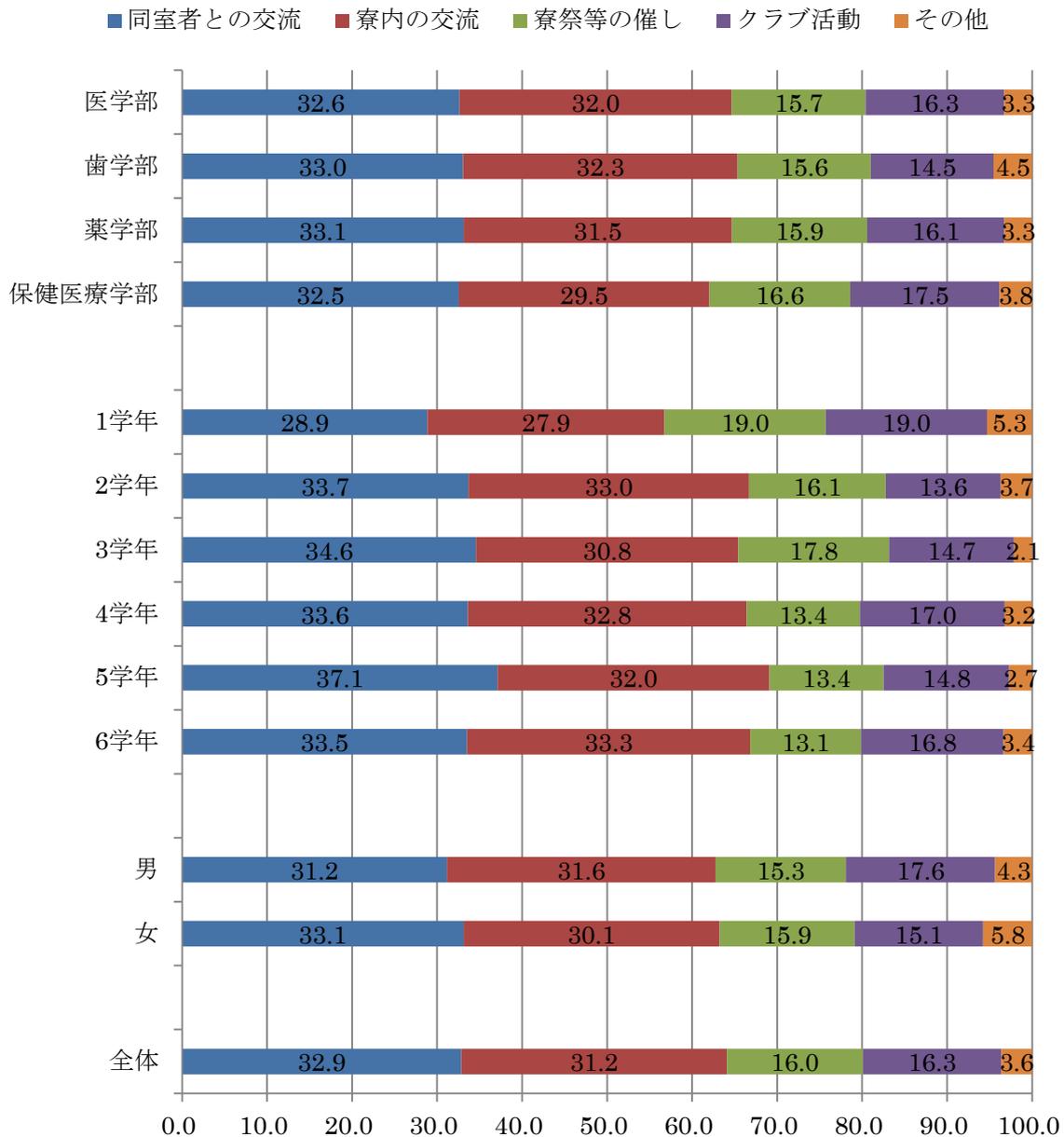
「とても思う、少し思う」で83.4%をしめ、寮生活は人間性を養うために有用であったと評価されている。この数値は前回調査と同様のポイントであった。

### 11.寮生活で、他学部の人との交流をはかれたと思いますか



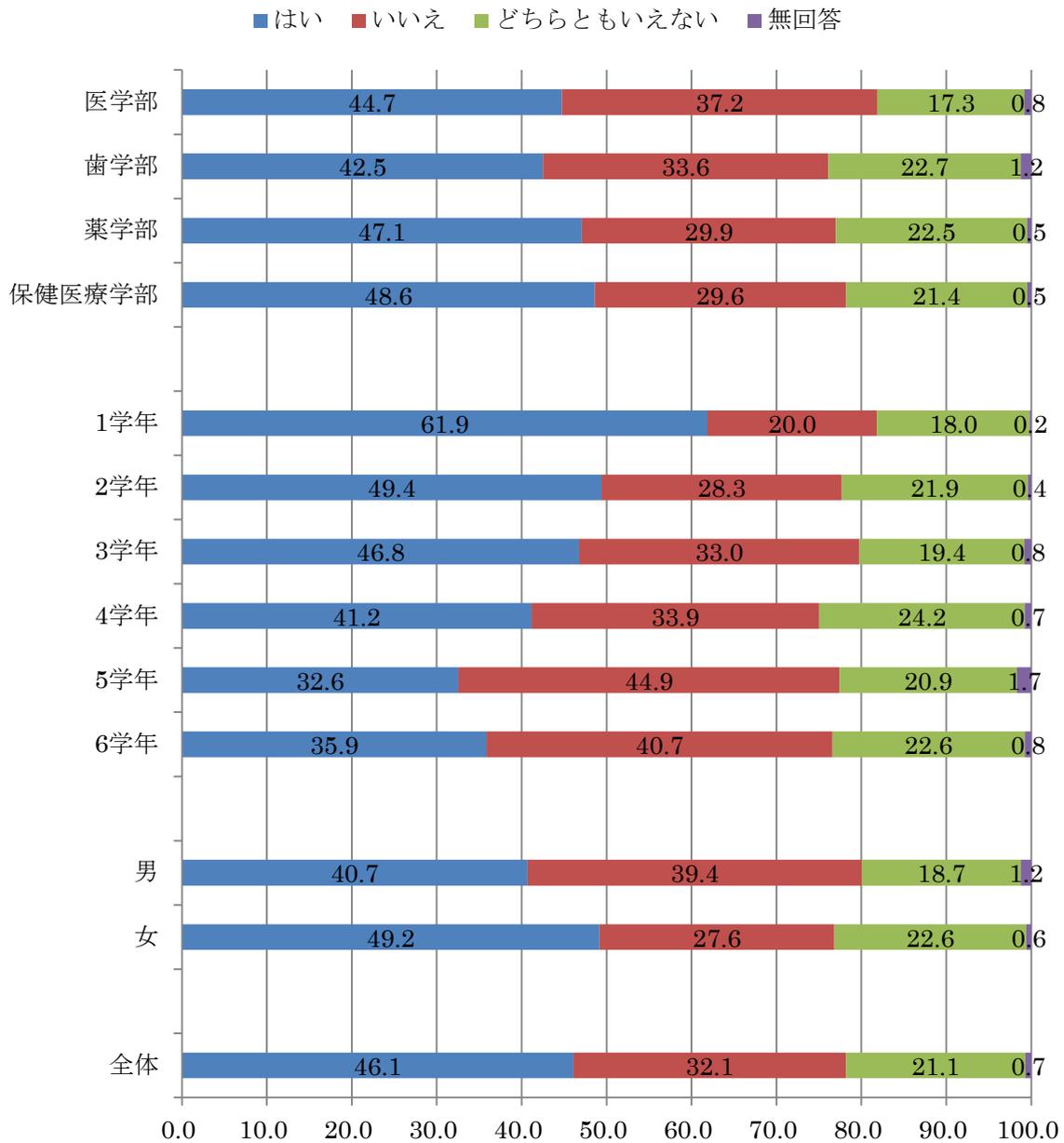
1年から6年まで90%を越えるポイントを示している。学部にとらわれない交流が行われていることがうかがえる。

12.「11」で「a」と答えた方に質問します。それはどのようなものを通して思  
 いましたか\*複数回答可



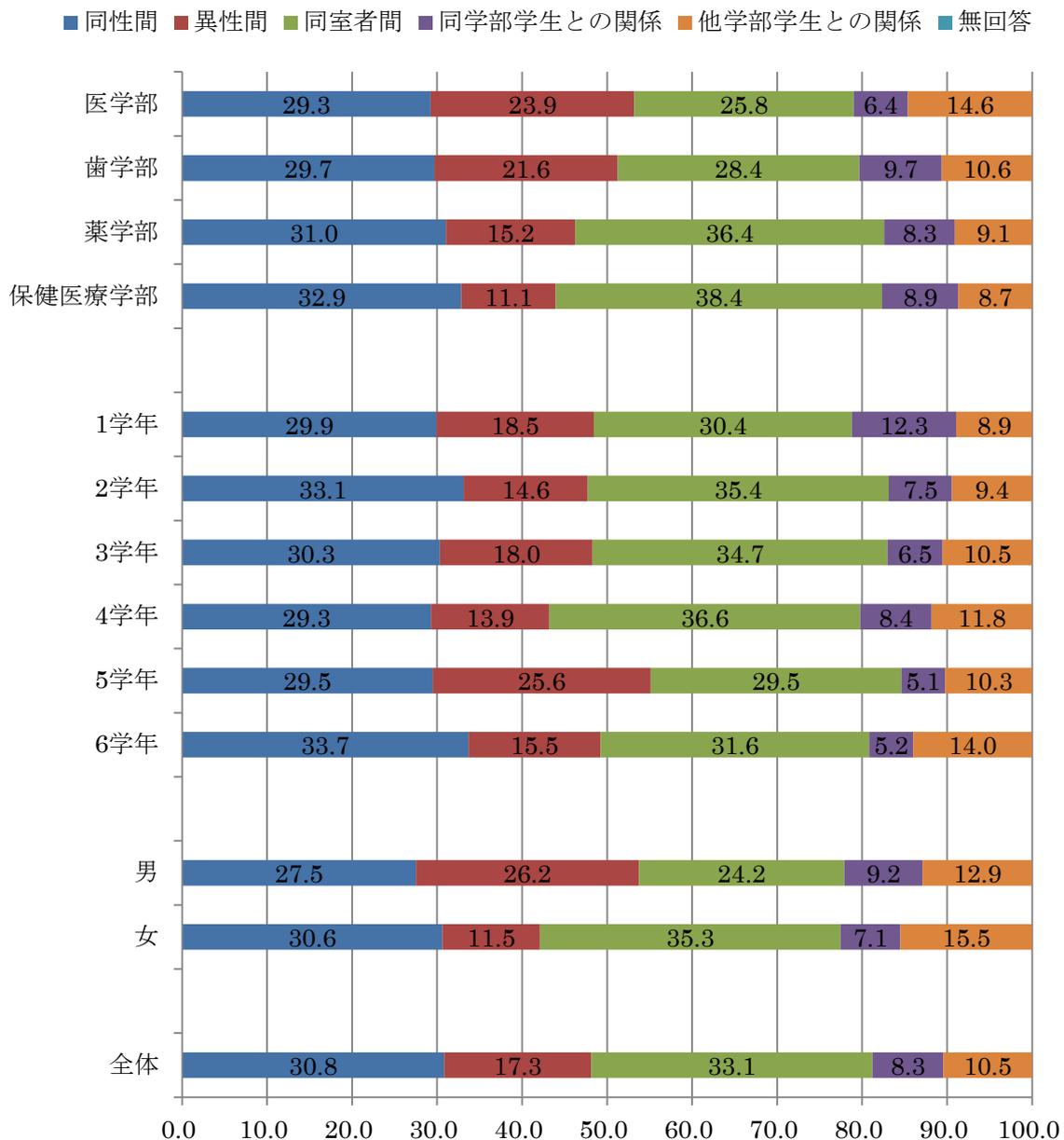
生活の基本単位である同部屋ならびに寮内での交流が高いポイントを示している。富士吉田教育部で独自に実施している退寮時アンケートでは、授業時間以外で過ごす時間が長い場所としてラウンジがあがっており、ラウンジで同じフロアの学生同士の交流が活発であると思われる。一方クラブ活動での交流は1年生で19%を示しているが、2年生以上では1年生と比較して2から5.4%低い値を示している。富士吉田では同じ種目のクラブは学部を問わず合同で練習を実施しているため高いポイントを示したと思われる。

13.寮生活で他の人との交流が難しいと感じたことがありましたか（感じる  
ことがありますか）



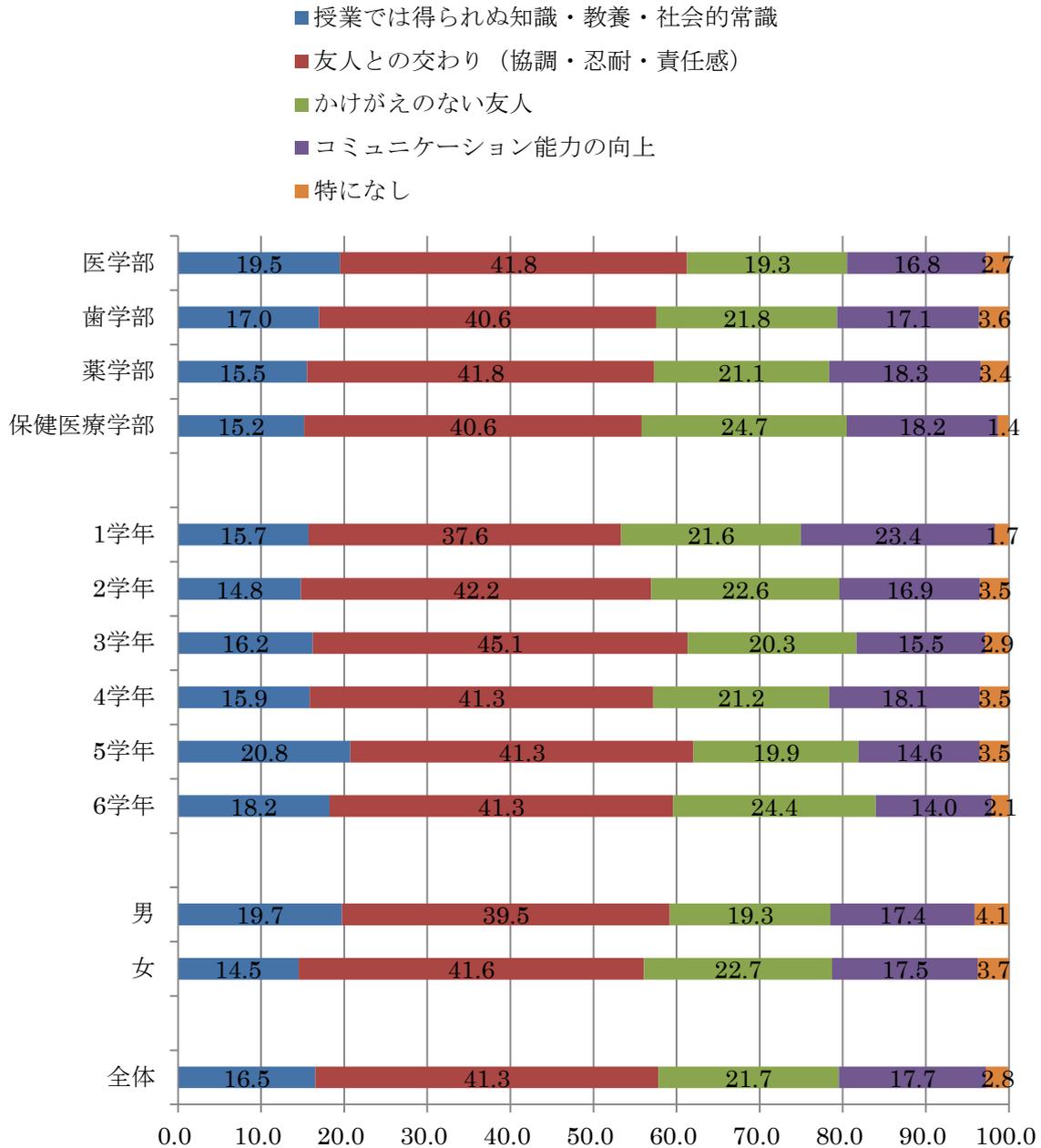
他の人との交流に難しさを感じた学生は男子で 40.7%、女子が 49.2%で女子学生の方が友人関係の難しさを感じるものが多かったようである。

14.「13」で「a」と答えた方に質問します。具体的にはどのような関係が最も難しいと実感しましたか



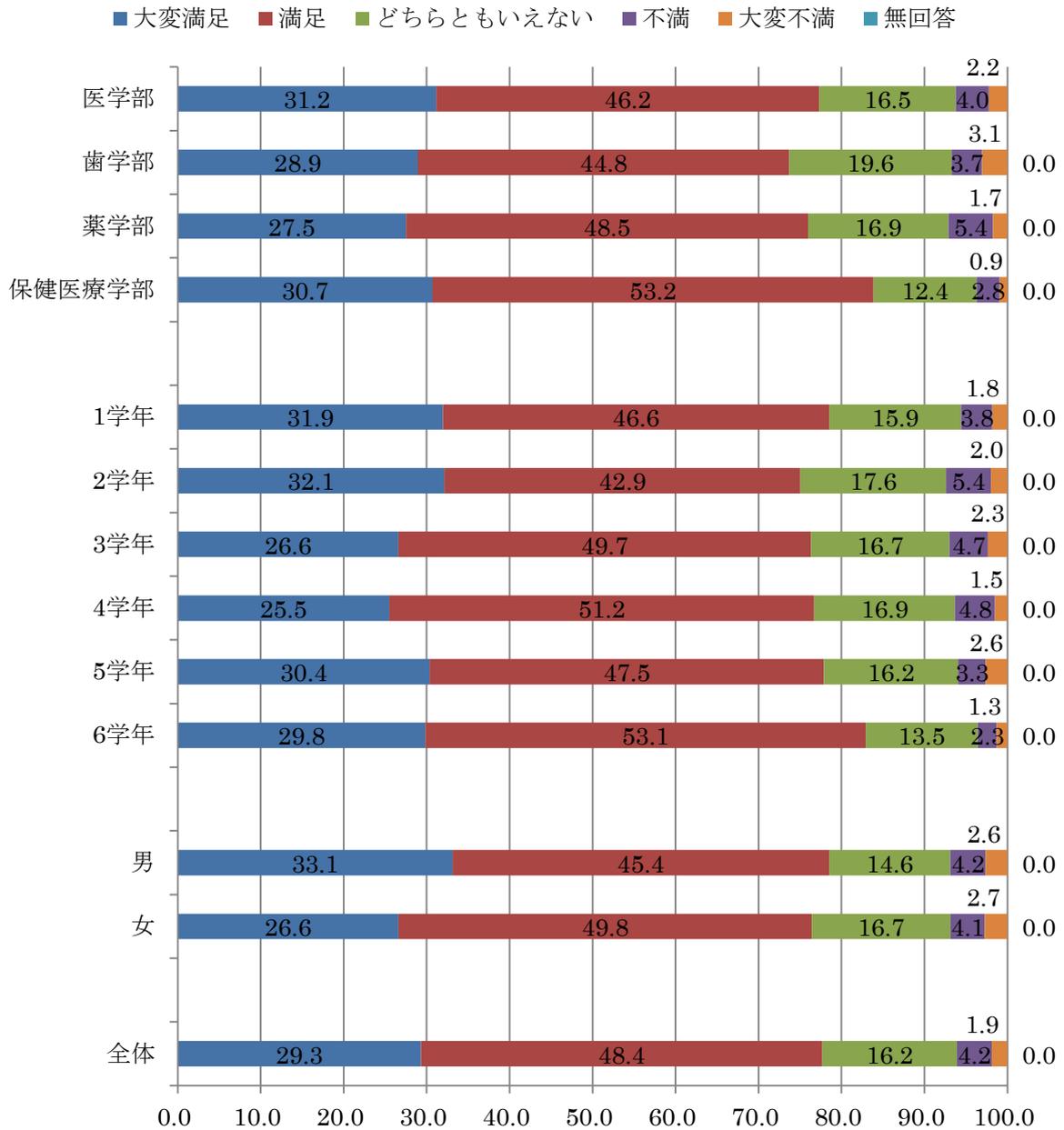
当然ながら、最も一緒に過ごす時間の長い部屋での人間関係に気を遣う学生が多いことがわかる。設問13と同様に女子学生の方が男子学生と比較して11ポイントほど高い。

15.寮生活で得たものは何ですか \*複数回答可



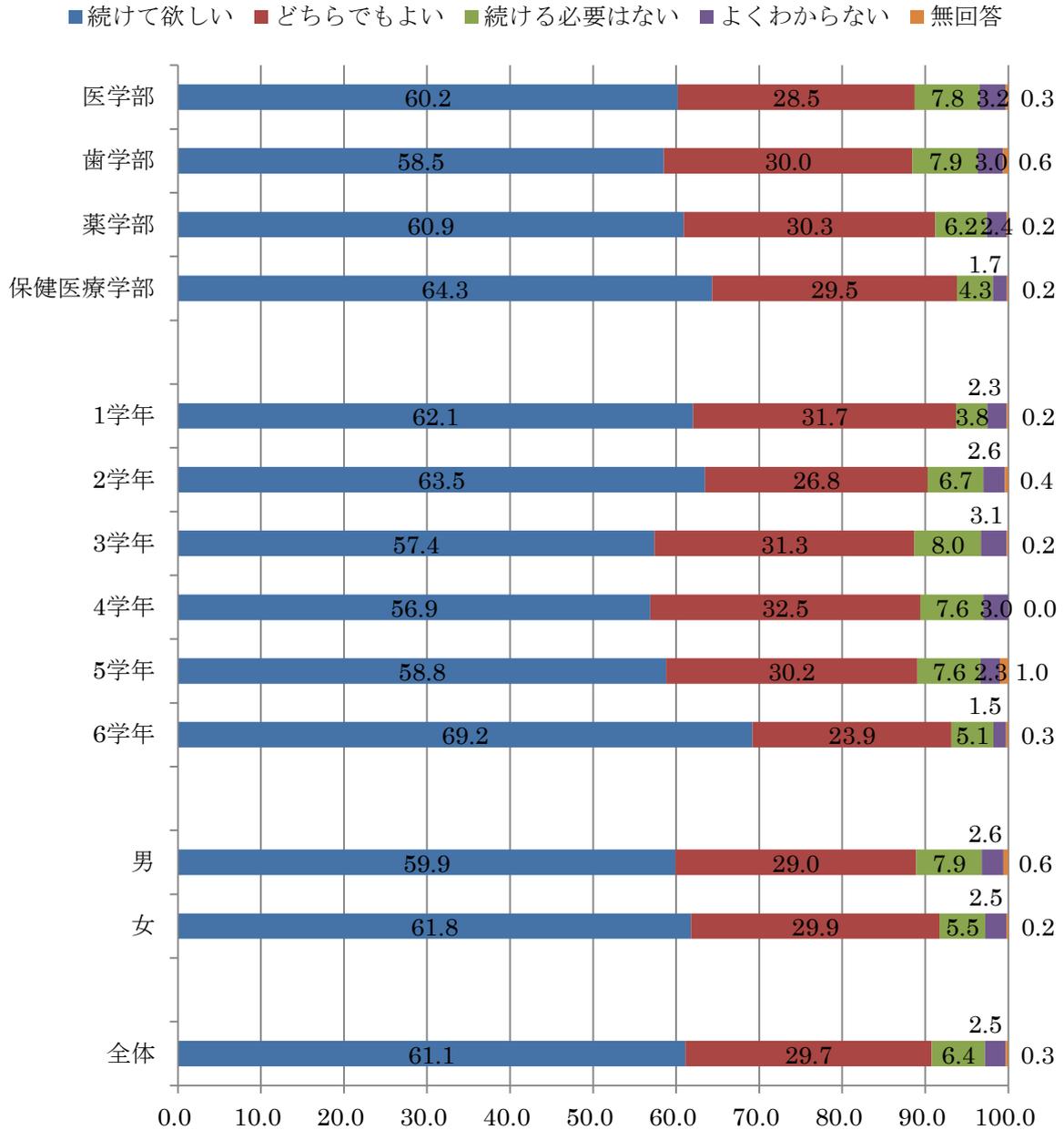
13の設問の人間関係に難しさを感じつつ、うまく人間関係を保つためにより高い社会性、コミュニケーション能力を身につけたと実感しているのではないだろうか。またその中で育まれた友人関係の重要性を1年生よりむしろ上級生が退寮後に感じた結果、「かけがえのない友人」が1年生より高くなったのではないか。

### 16.全寮制教育の満足度はどうでしたか (どうですか)



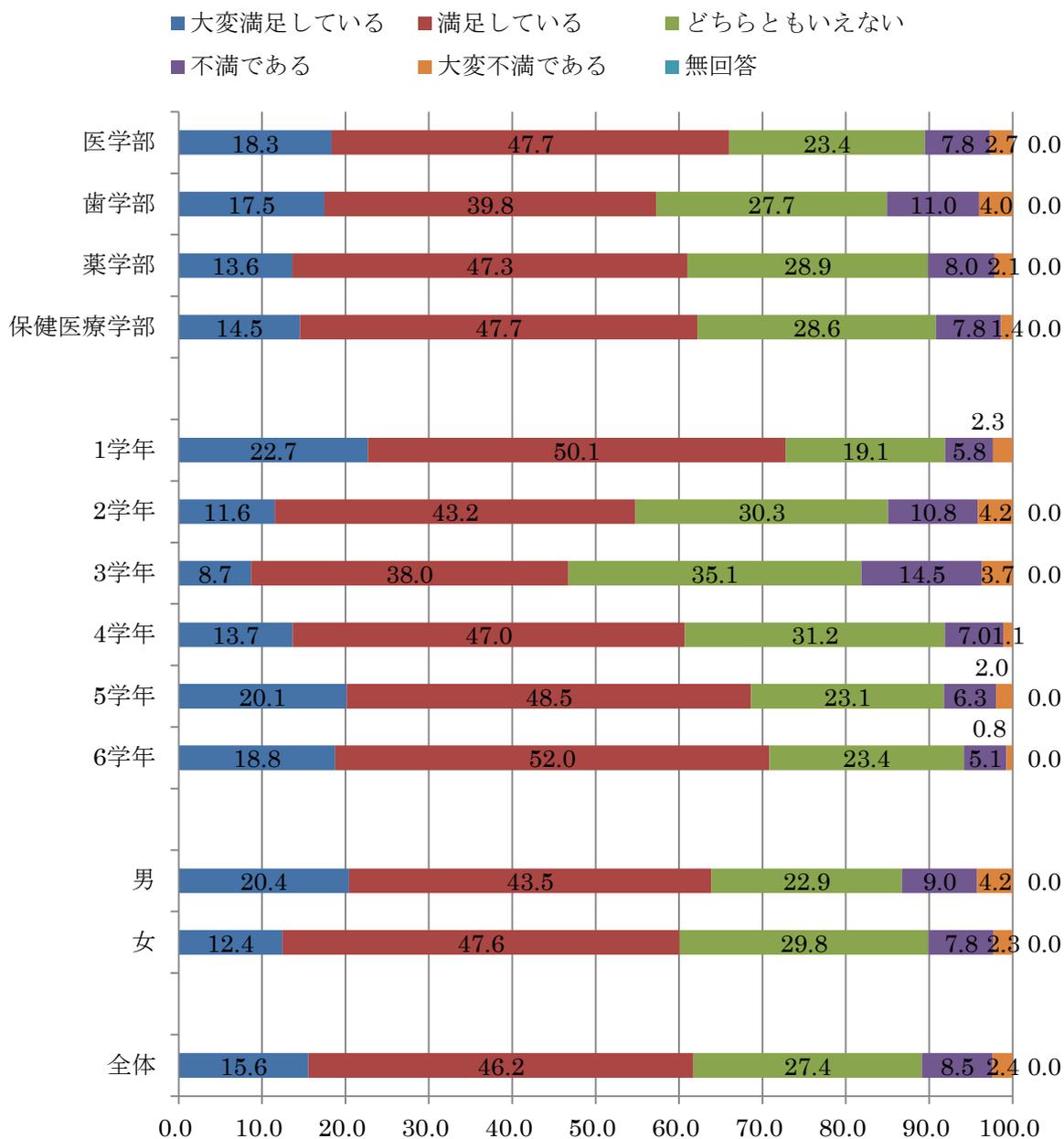
全寮制教育の満足度はこれまでのさまざまな調査と同様、ほぼ8割の学生が「大変満足、満足」と回答している。

17.本学は今後も「全寮制度」を存続させた方が良いと思いますか



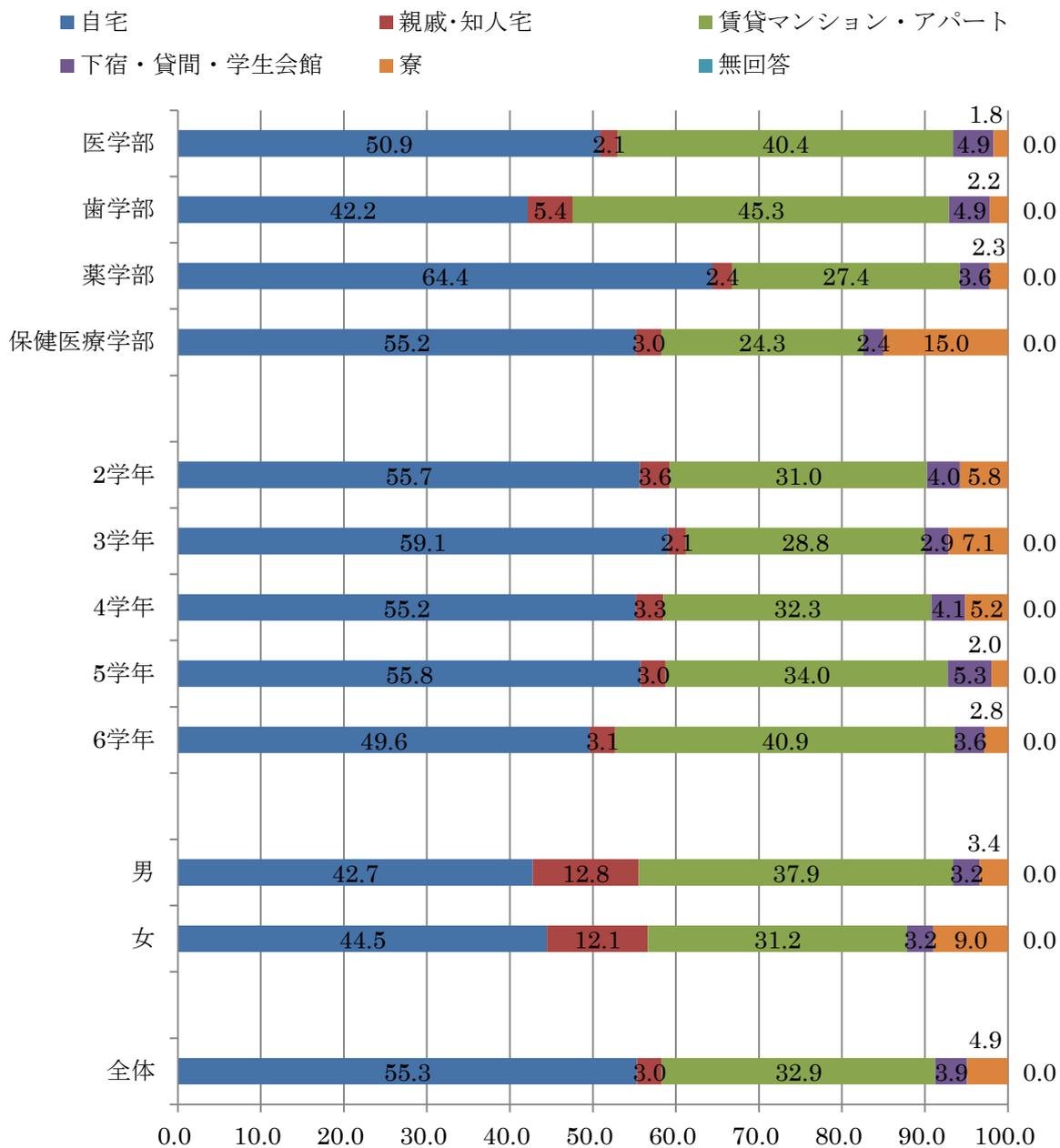
全体では61%の学生が全寮制度の存続させた方が良いと考えている。学年で「続けて欲しい」の回答にばらつきがあり、その年のカラーが反映されているのかもしれない。

### 18.大学生活に満足していますか



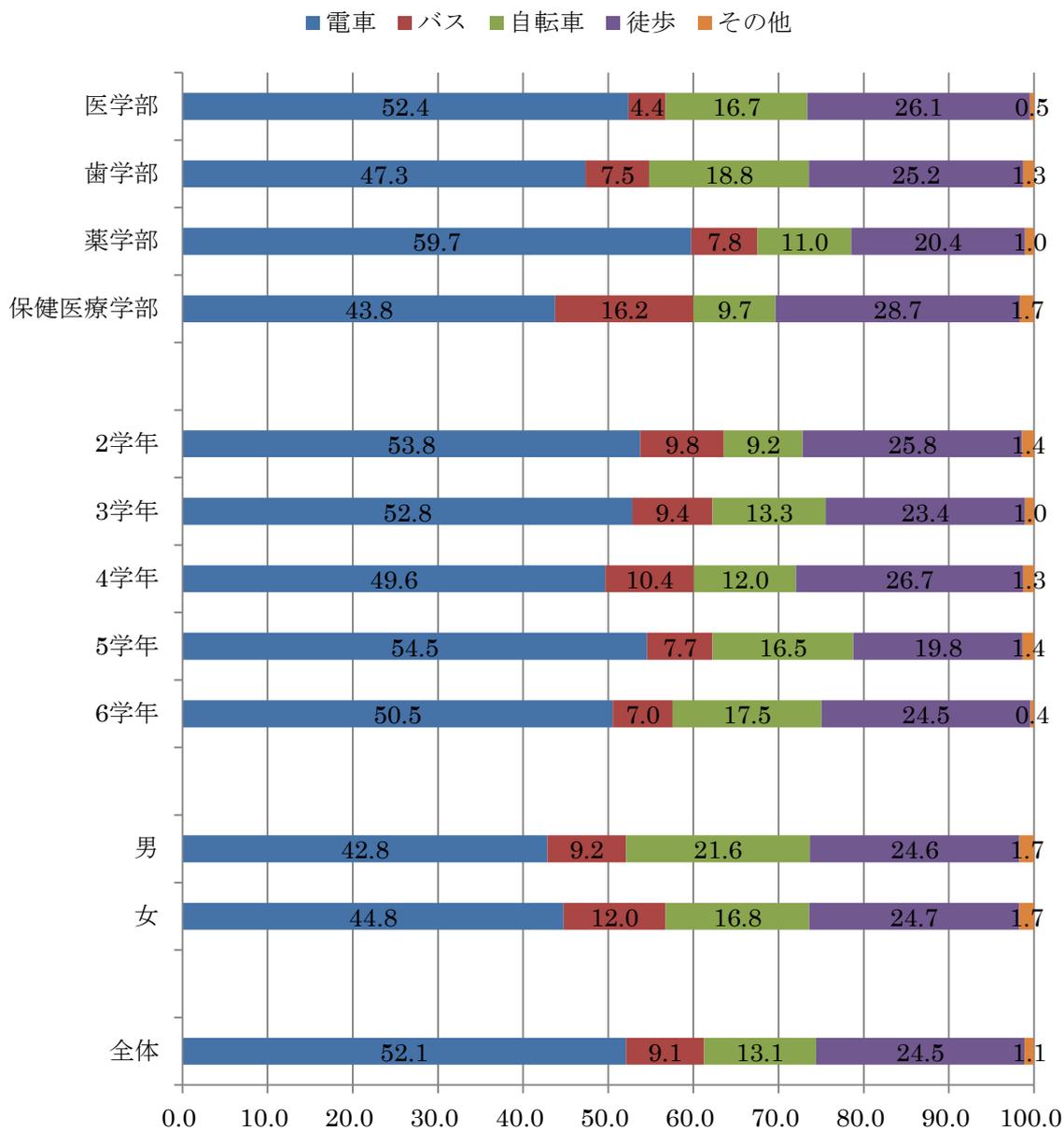
大学生活の満足度については、学部間の差は余りない。一年次で満足度は高く、3年次で極小値に達し、高学年で復活する。設問7の昭和大学に対する愛着度と平行に動いている。

### 19. 住まいの形態について (第一学年回答不要)



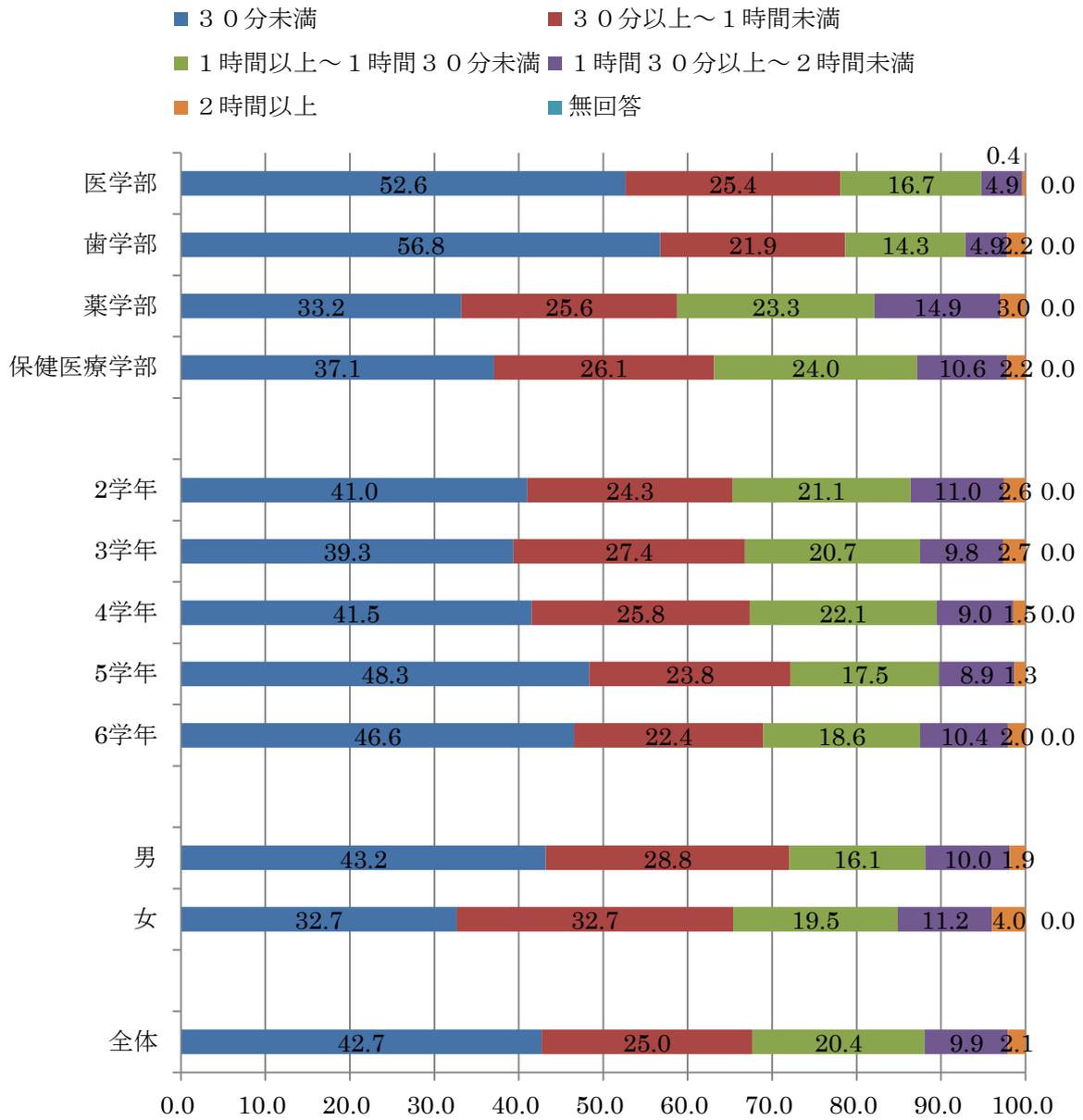
住まいの形態について、自宅通学の割合は、薬学部、保健医療学部、医学部、歯学部の順に並ぶ。女子学生の割合が影響しているのであろう。

20. 通学の手段は何ですか (第一学年回答不要) \*複数回答可



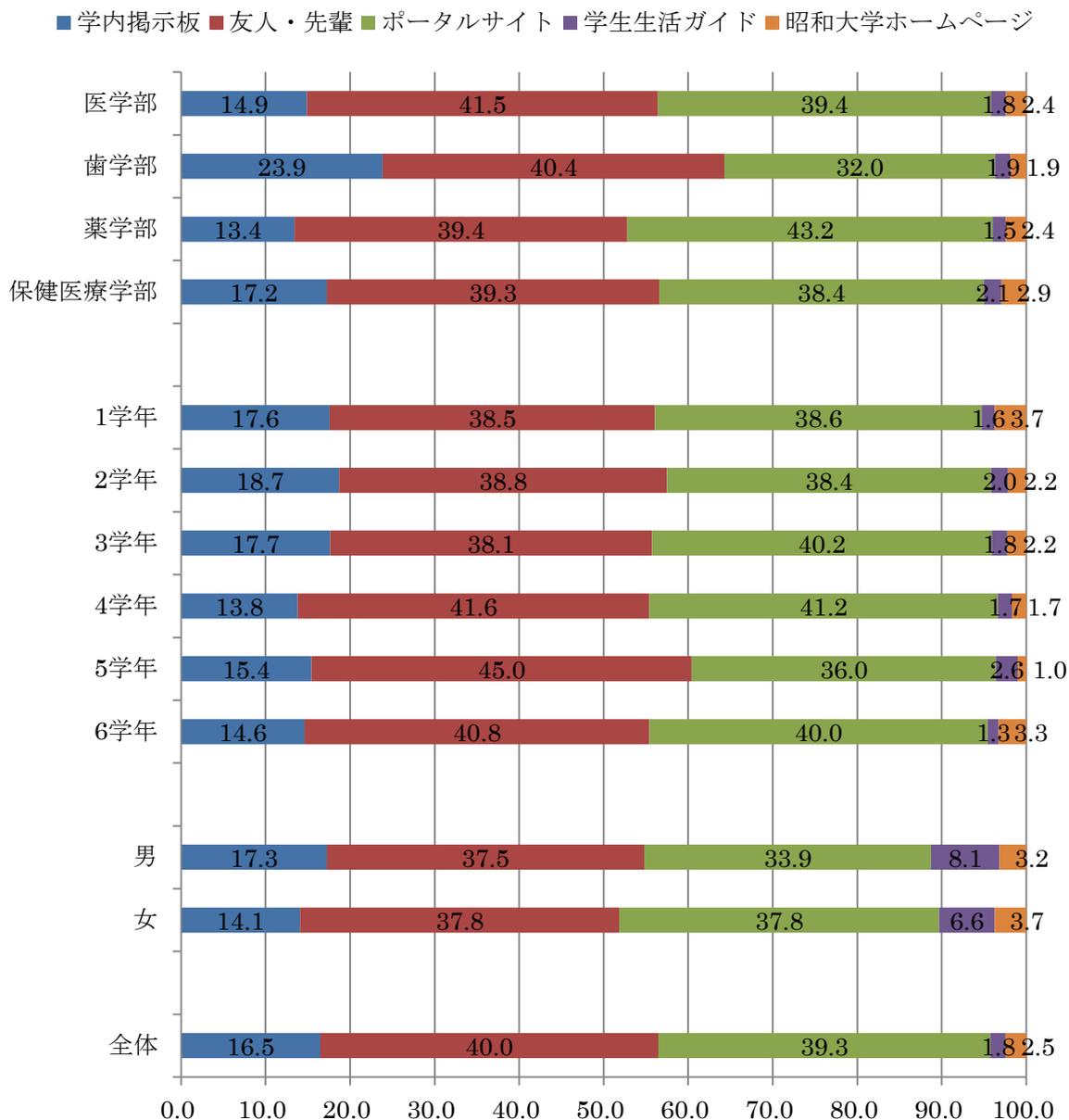
通学の手段に関して、全学部とも電車の割合が一位であるが、薬学部が特に高い。自宅通学の女子学生が多いためであろう。

21.通学の片道の所要時間はどの位ですか (第一学年回答不要)



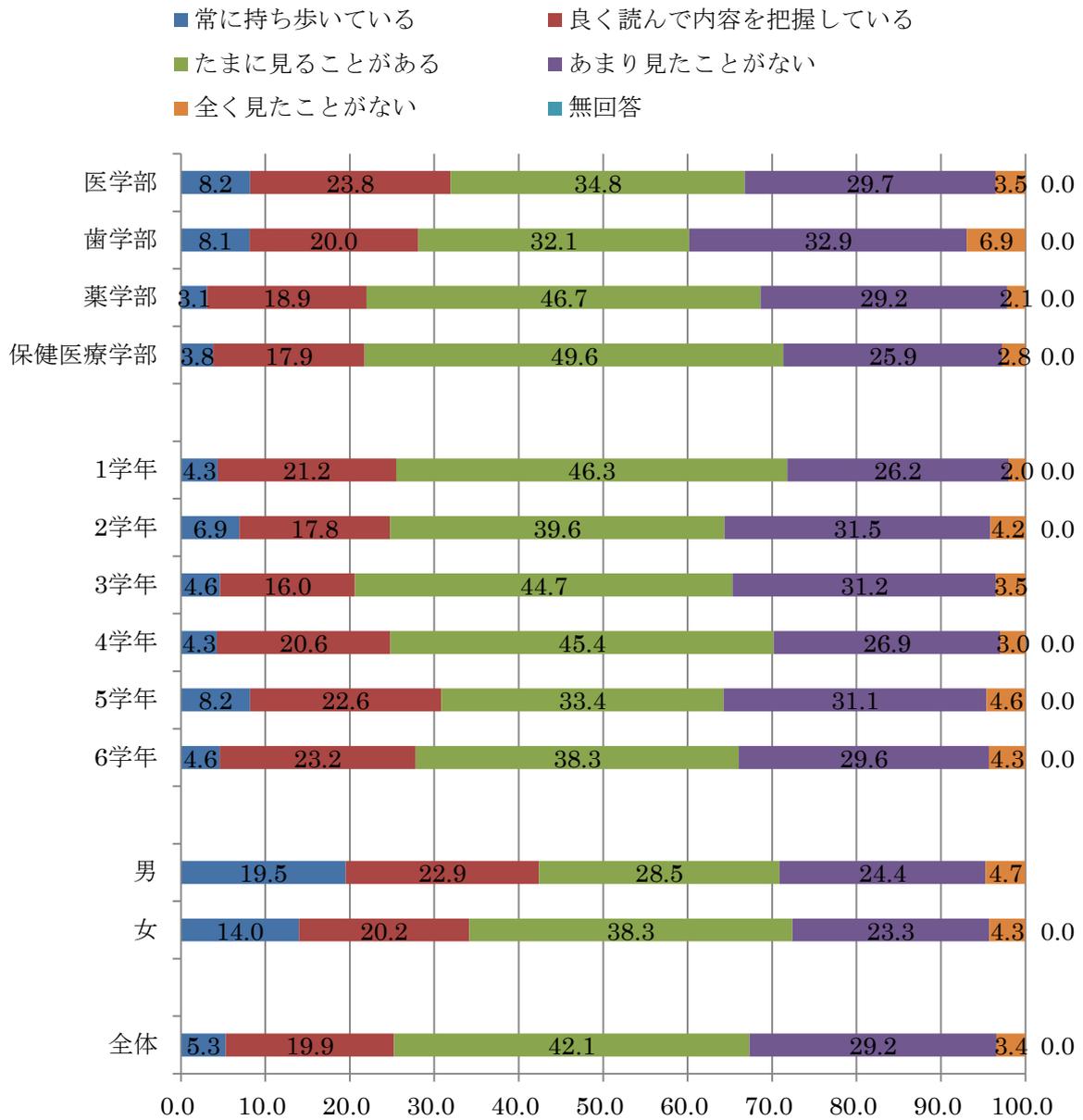
通学時間は、医学部、歯学部で短く、薬学部、保健医療学部で長い傾向がある。

22. 学生生活上の情報はどこから得ますか \*複数回答可



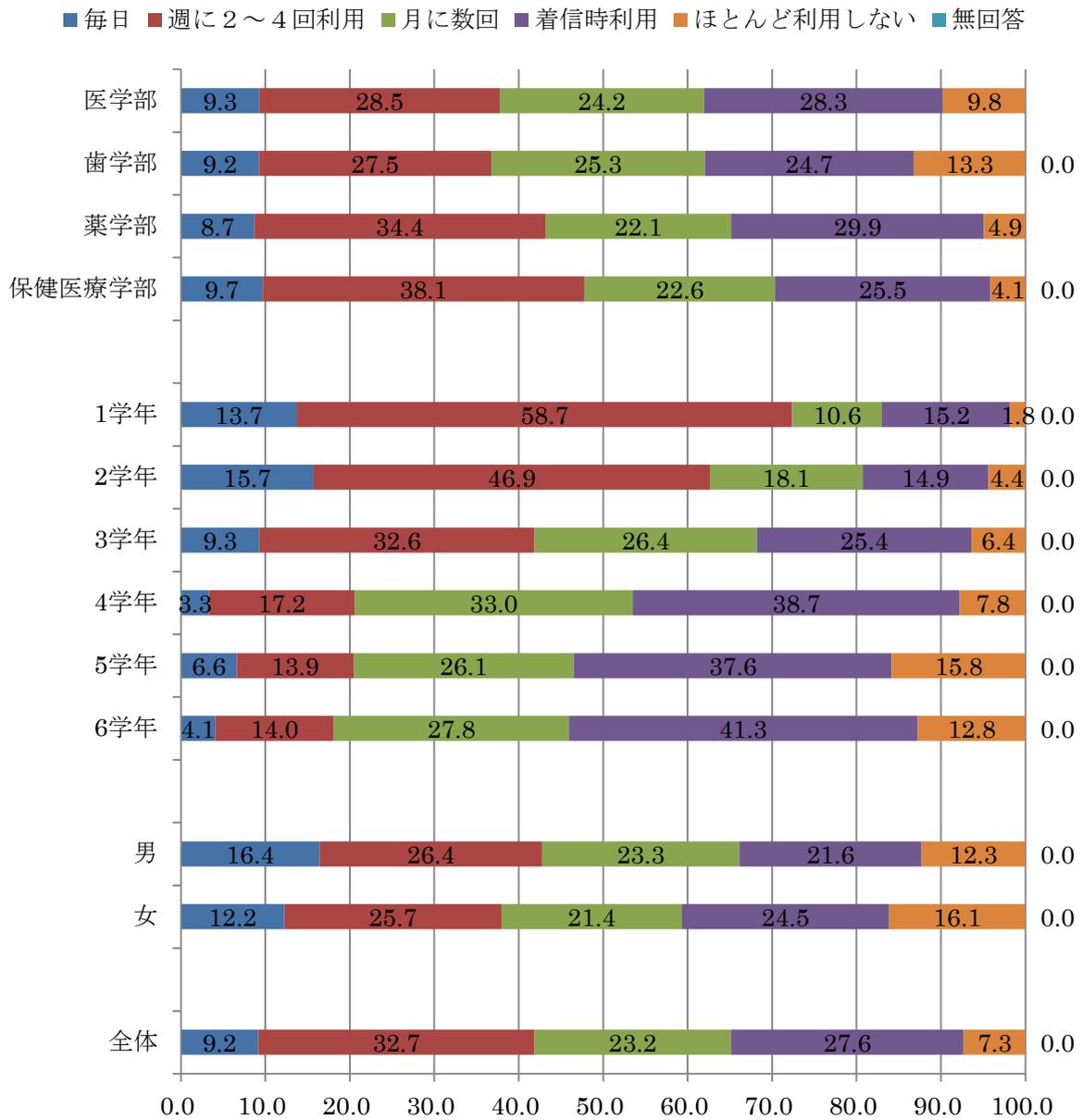
学生生活上の情報入手先には、学部、学年間で大きな差はない。

### 23. 学生生活ガイドについて



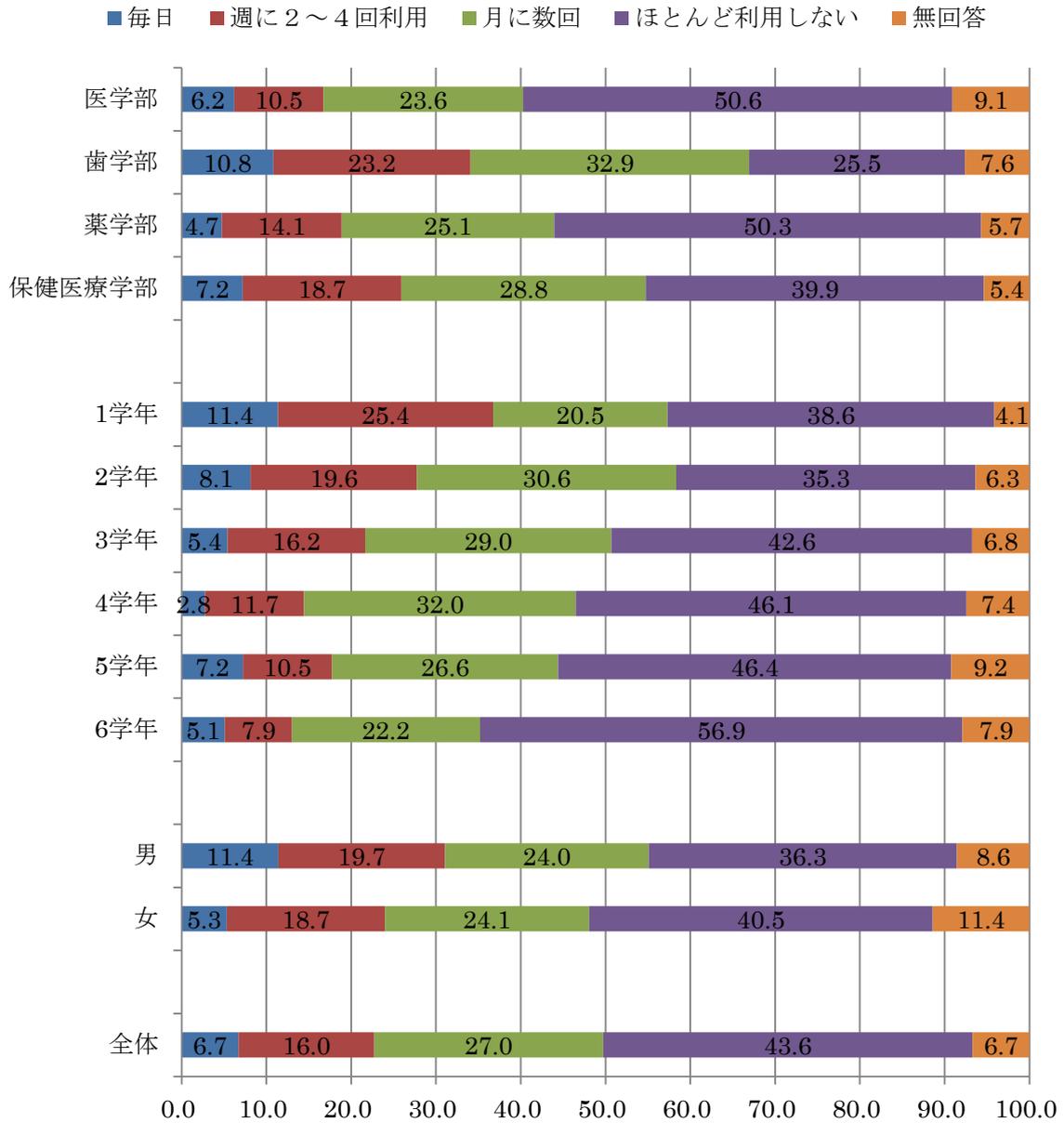
学生生活ガイドに関しては、全学部ともたまにみる程度である。

## 24.ポータルサイトを活用していますか



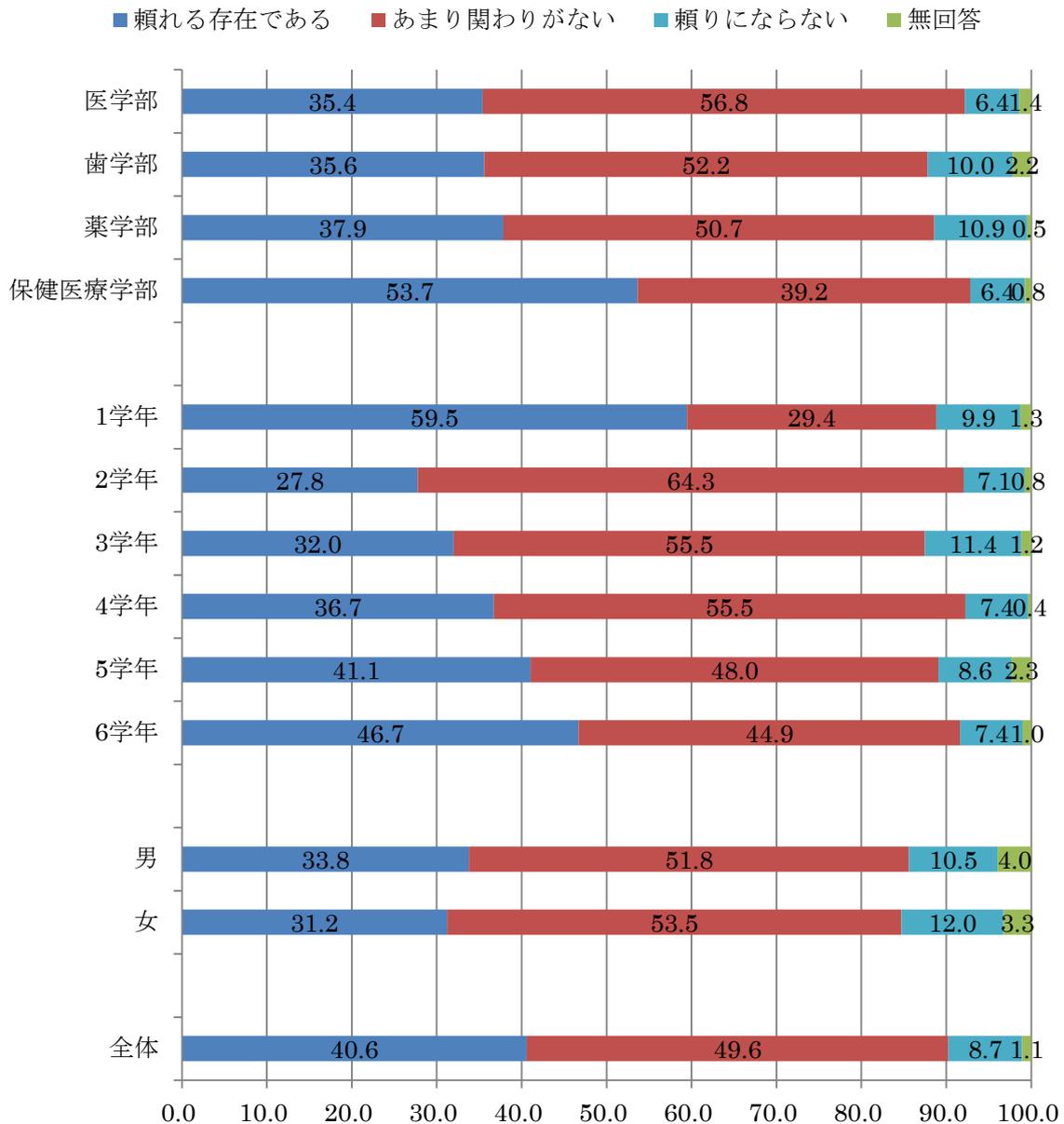
ポータルサイトはほとんどの学生が利用しており、非常に重要な情報源である。学年別では、一年次の利用が非常に多く、学年があがるにつれ低下する。

## 25. 掲示板を活用していますか



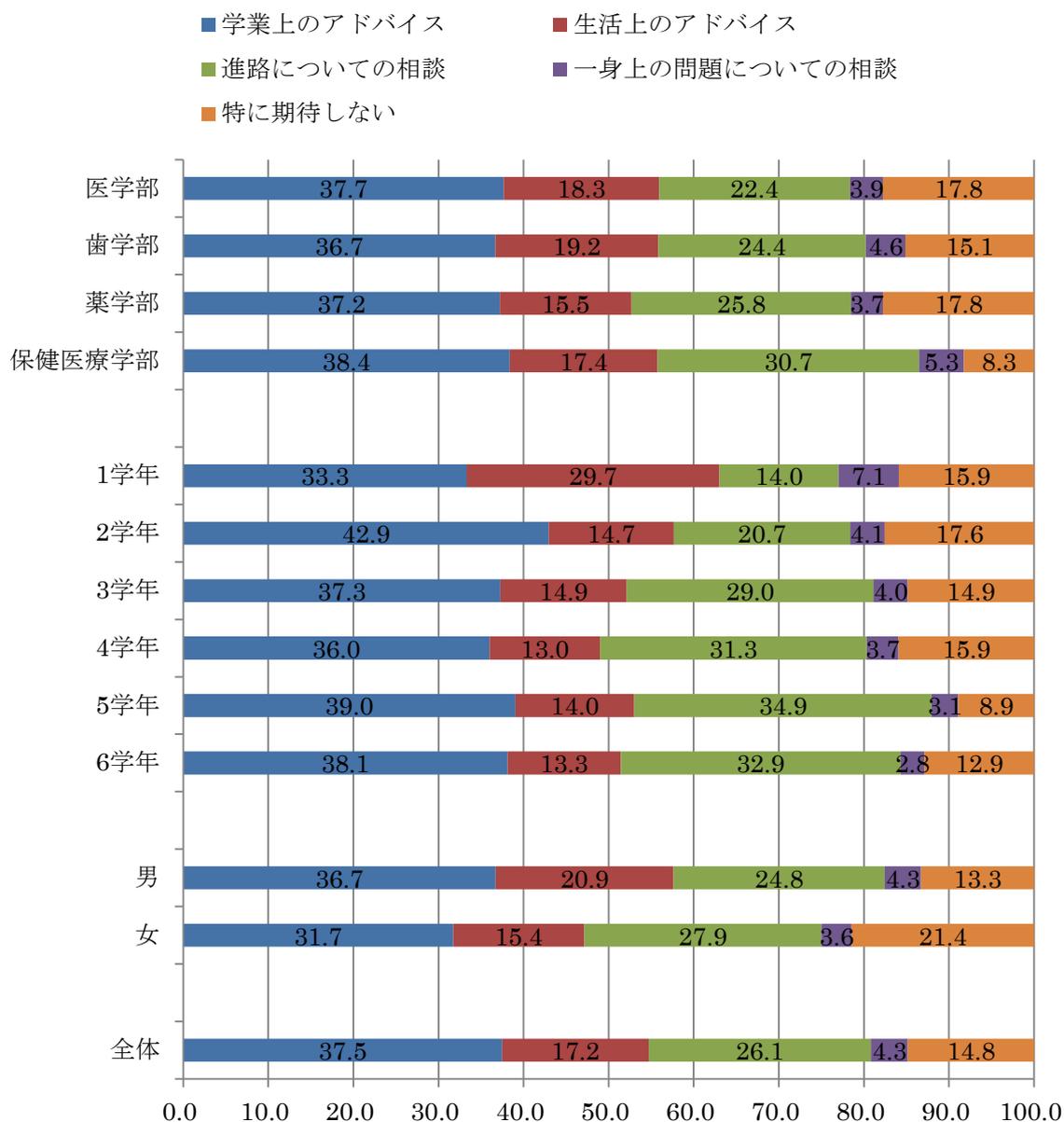
掲示板の利用率は、平成 24 年度実施の回答結果より低下しており、ポータルサイトの活用が学生のメインの情報源になっていると考える。

## 26.指導担任（教員）はどのような存在ですか



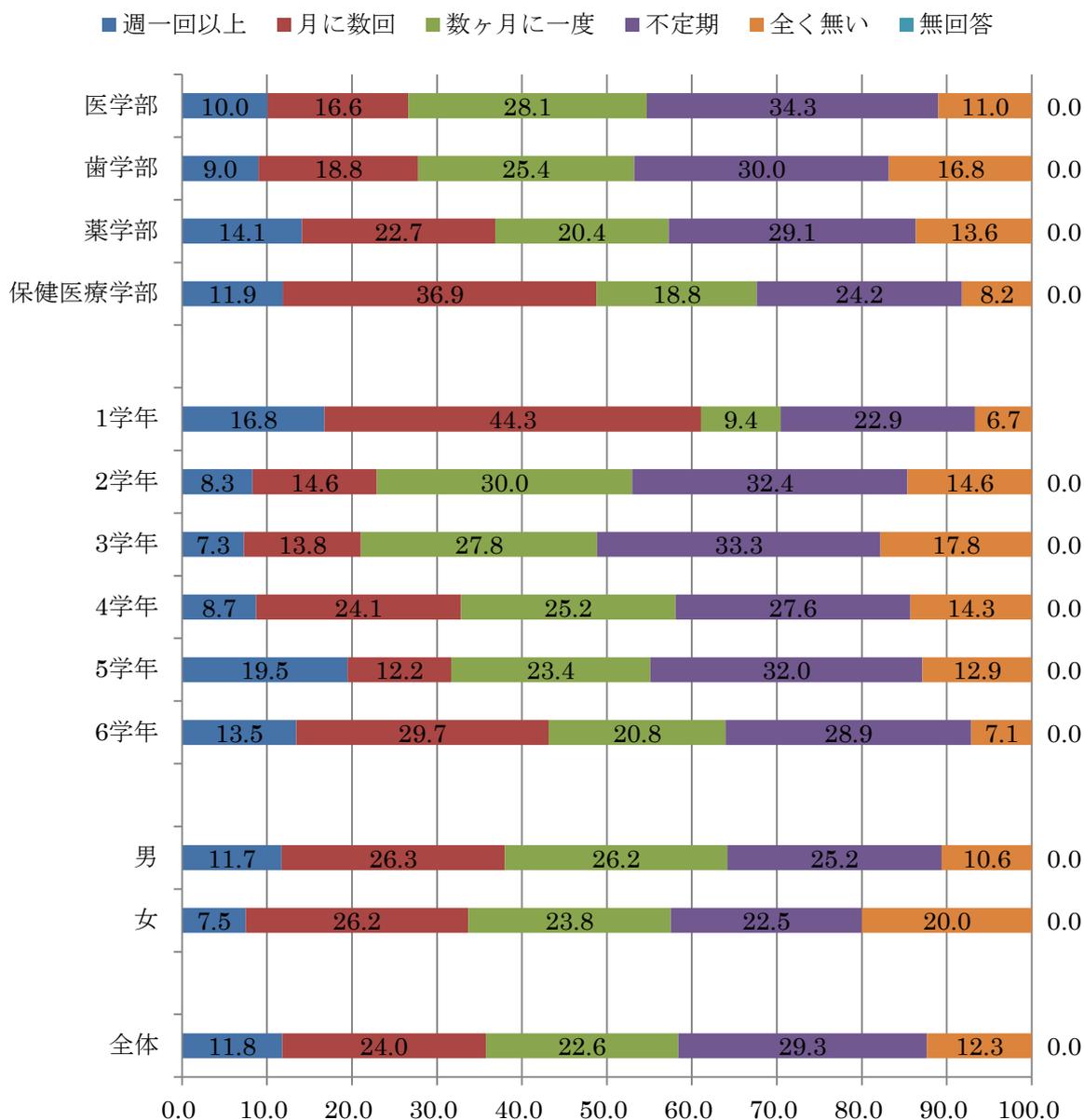
指導担任が頼れるとする学生は一年次に断然多く、二年次で激減して極小値に達し、その後じりじり回復する。アンケートが行われた平成 27 年度は 2～4 年次に医・歯・薬学部横断指導担任が導入されて年であり、指導担任への信頼感が非常に低かったと思われる。平成 29 年に制度見直しを行い、現時点では改善しているのではないかとと思われる。

27.指導担任（教員）に期待すること \*複数回答可



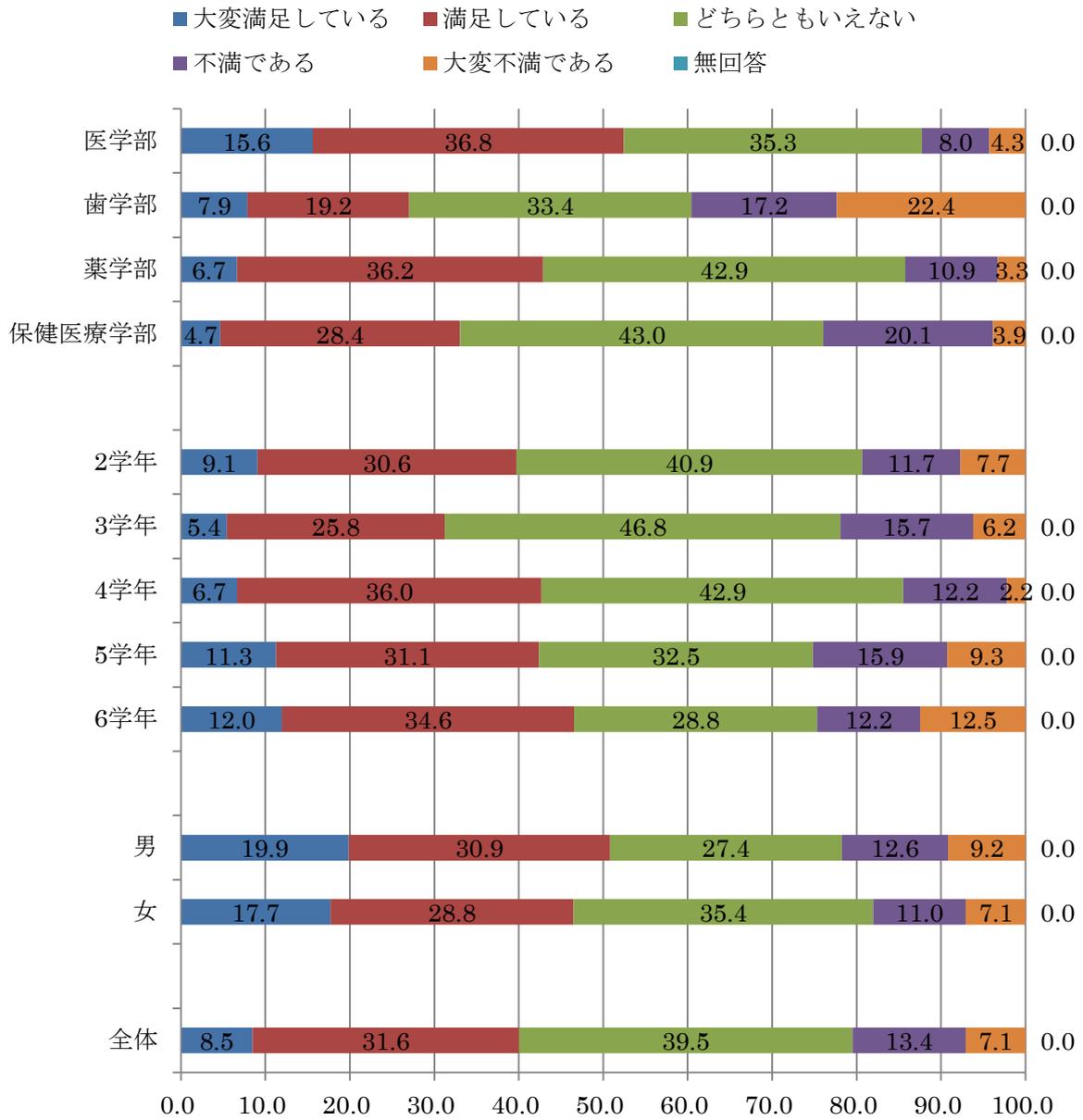
指導担任に期待することの第一位は、全学部、全学年を通じて学業上のアドバイスである。

## 28.担当の指導担任（教員）とどの程度コンタクトを取っていますか



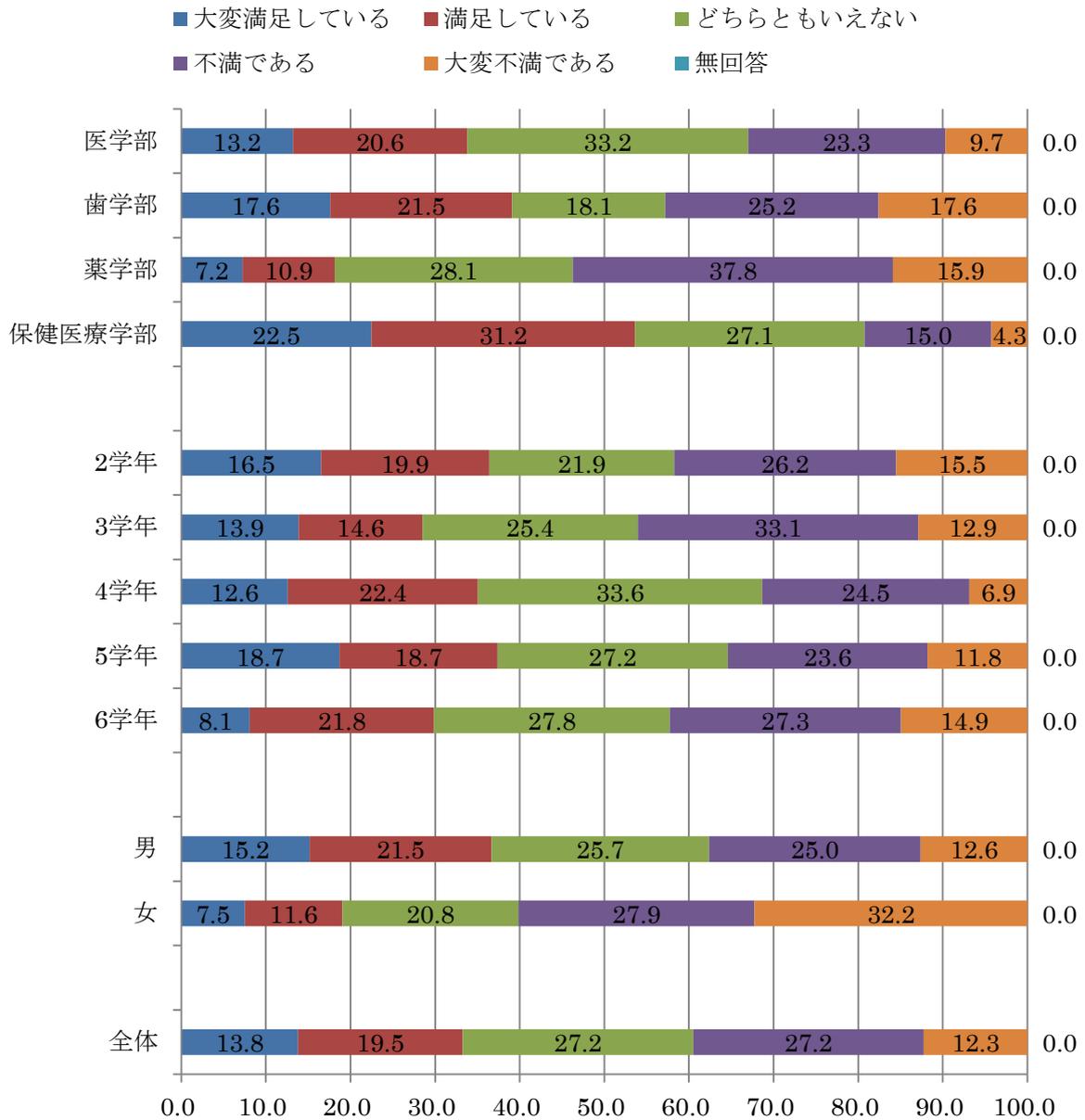
指導担任とのコンタクトの頻度は、保健医療学部、薬学部が高く、医学部、歯学部が低い。学年別では、一年次が断然高い。2年次、3年次で指導担任とのコンタクトが少ないのは、学部横断指導担任と関連していたかもしれない。

29.学生食堂に満足していますか（第一学年回答不要）



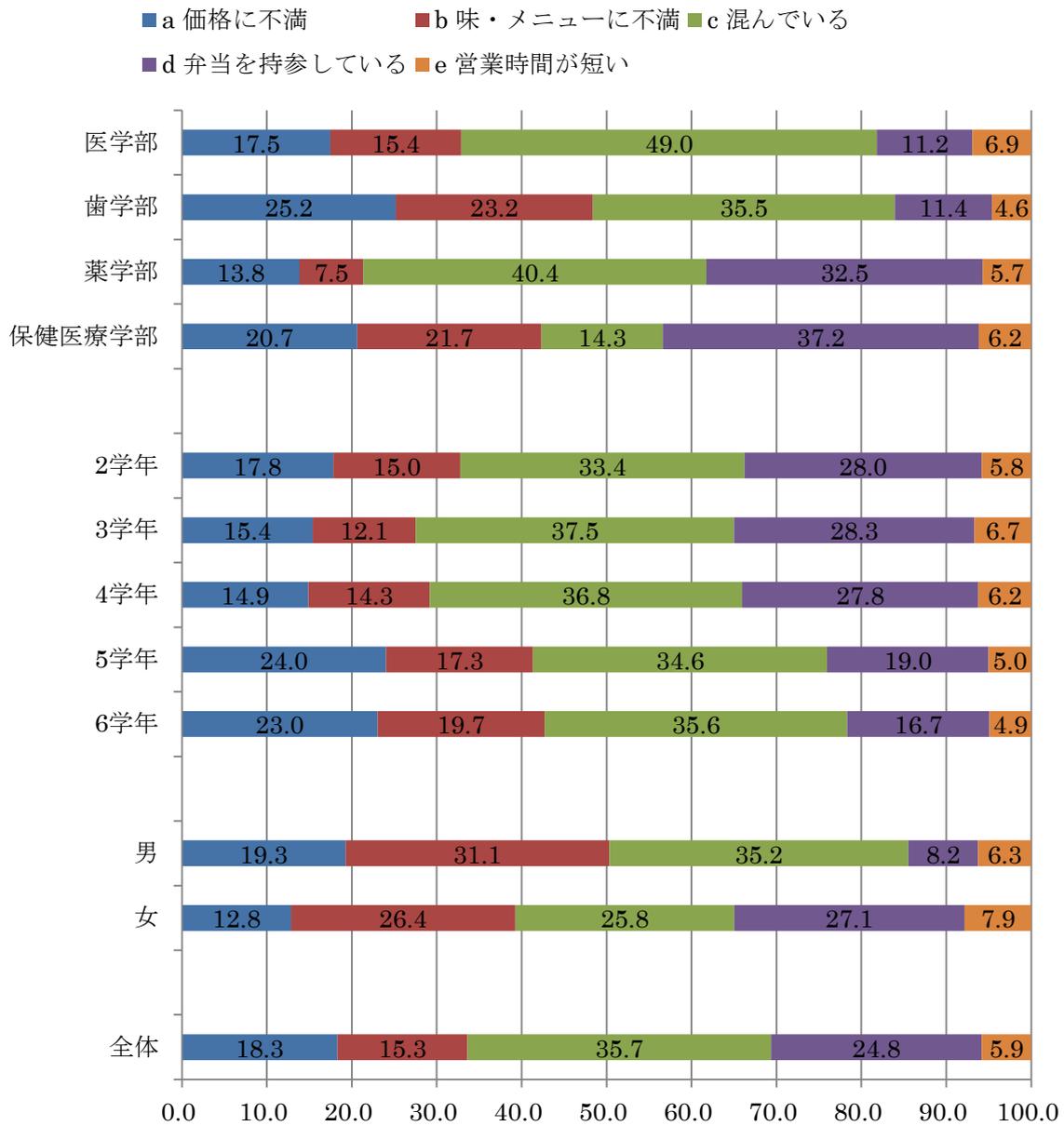
学生食堂の満足度は、医学部で高く、歯学部で低い結果となった。

### 30.学生食堂の利用状況（第一学年回答不要）



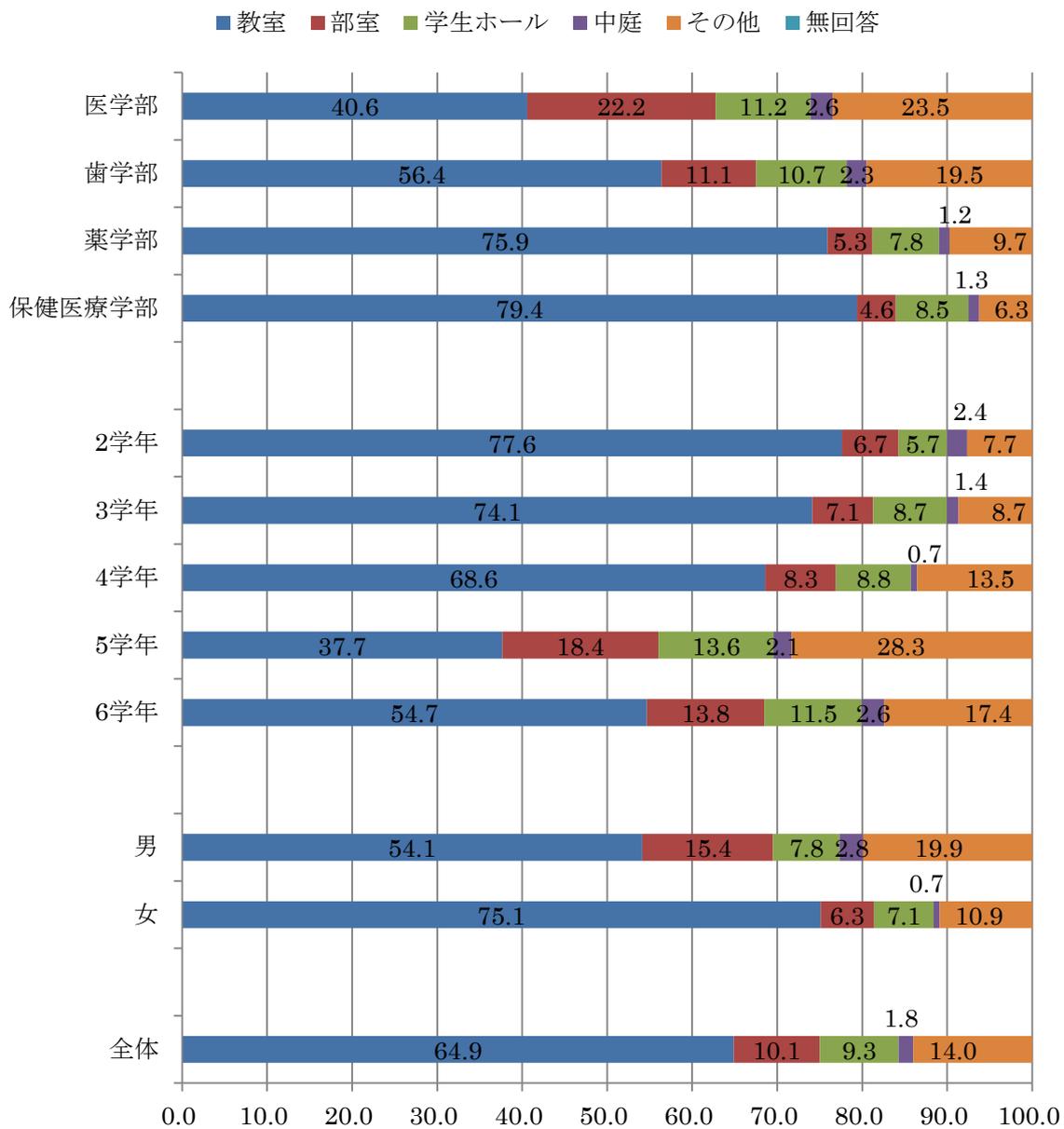
学生食堂の利用状況に関する質問で、“大変満足している”という選択肢は、平成30年度実施の調査では再考が必要だと考える。

31.学生食堂の利用しない理由について（第一学年回答不要）\*複数回答可



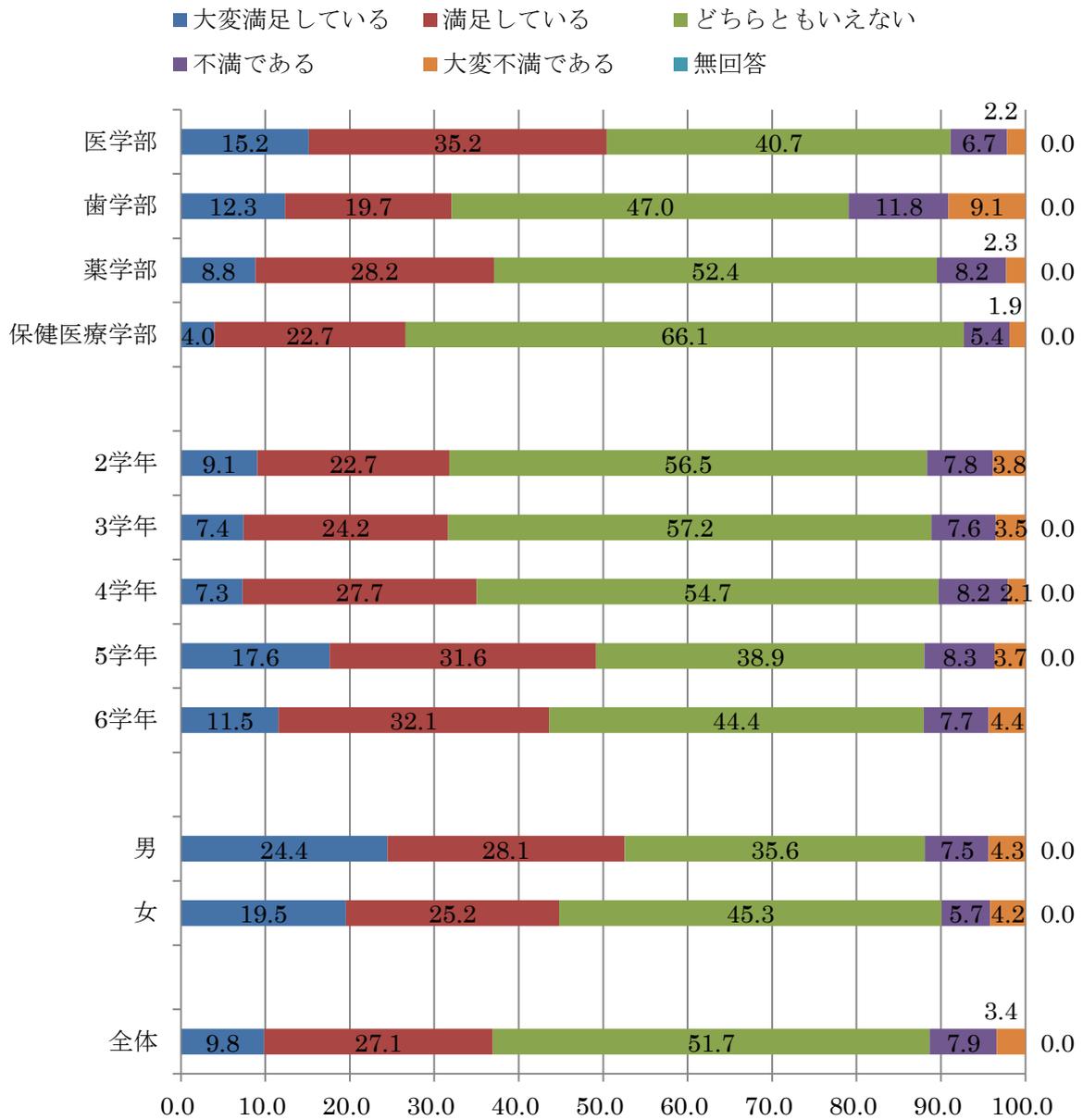
学生食堂を利用しない理由としては,”混んでいる”が学部、学年を問わず一位となった。昼休み時間に利用が集中するためであろう。

### 32.学生食堂以外での昼食をとる場所について（第一学年回答不要）



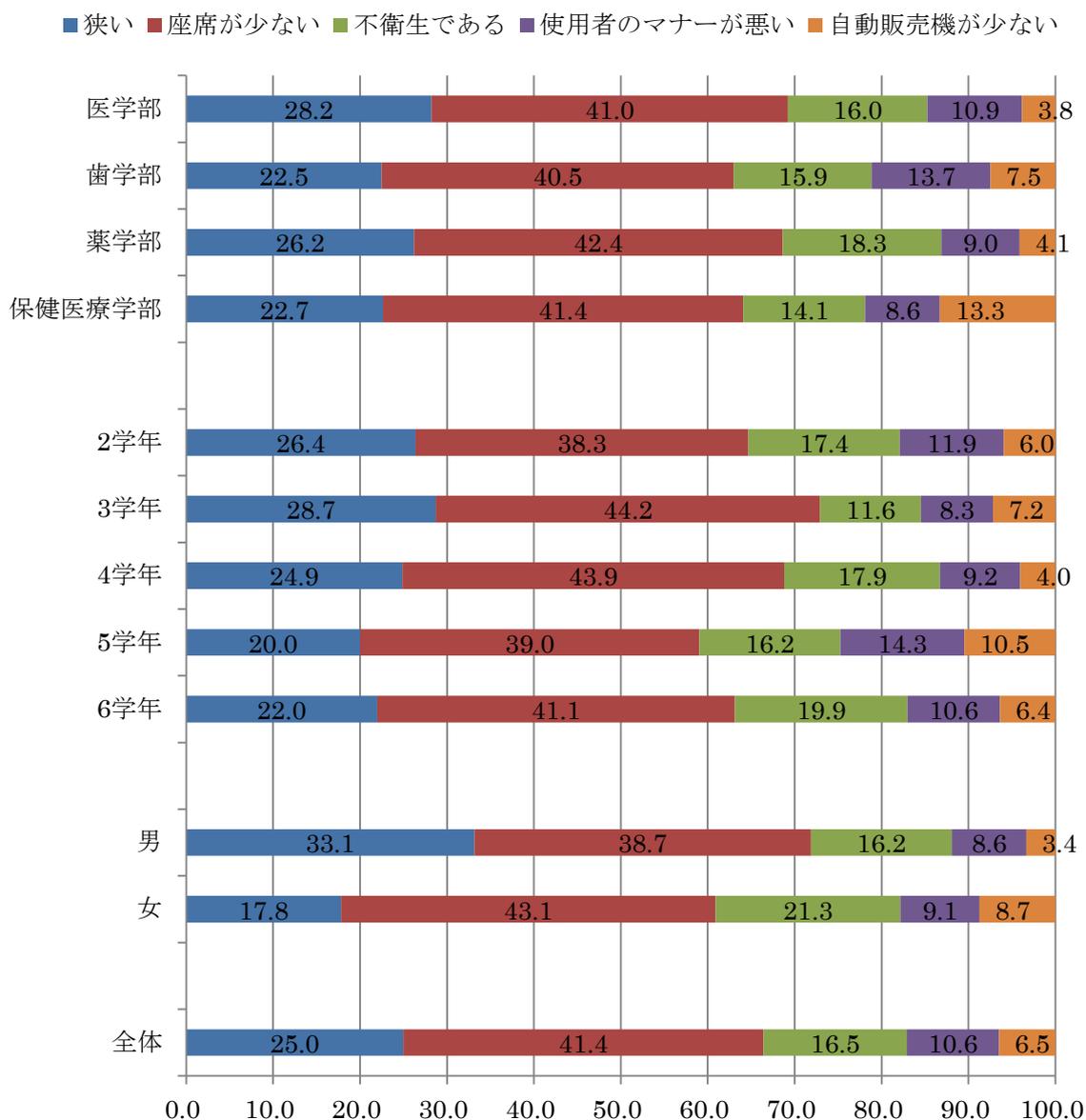
学生食堂以外で昼食をとる場所としては、圧倒的に教室が多い。キッチンカーの利用者がかなりあると思われる。

### 33.学生ホールに満足していますか（第一学年回答不要）



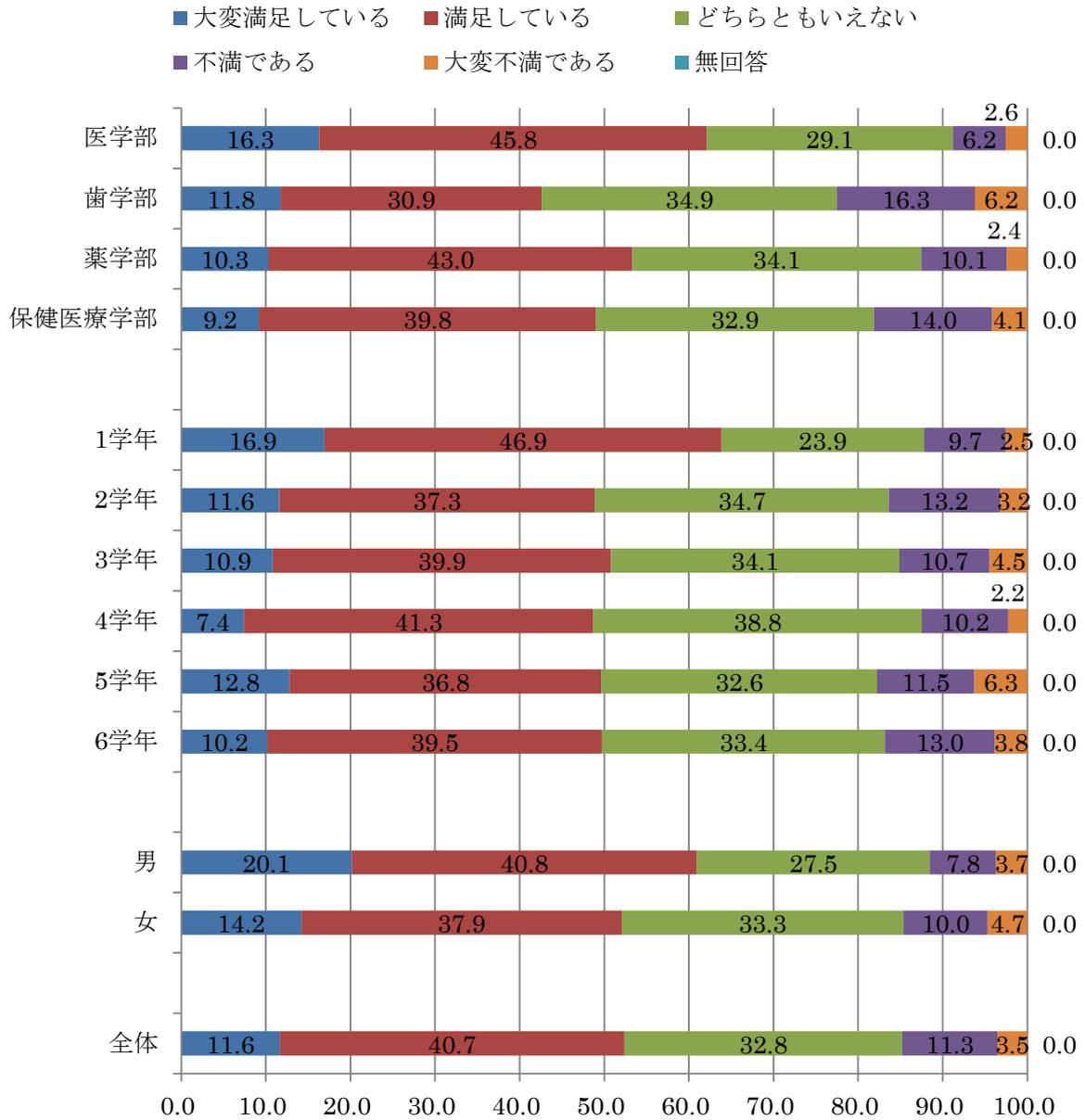
学生ホールの満足度は、医学部で高く保健医療学部で低い結果となった。

34. 「33」で「d」「e」と答えた方に質問します。学生ホールに不満を持っている理由（第一学年回答不要） \*複数回答可



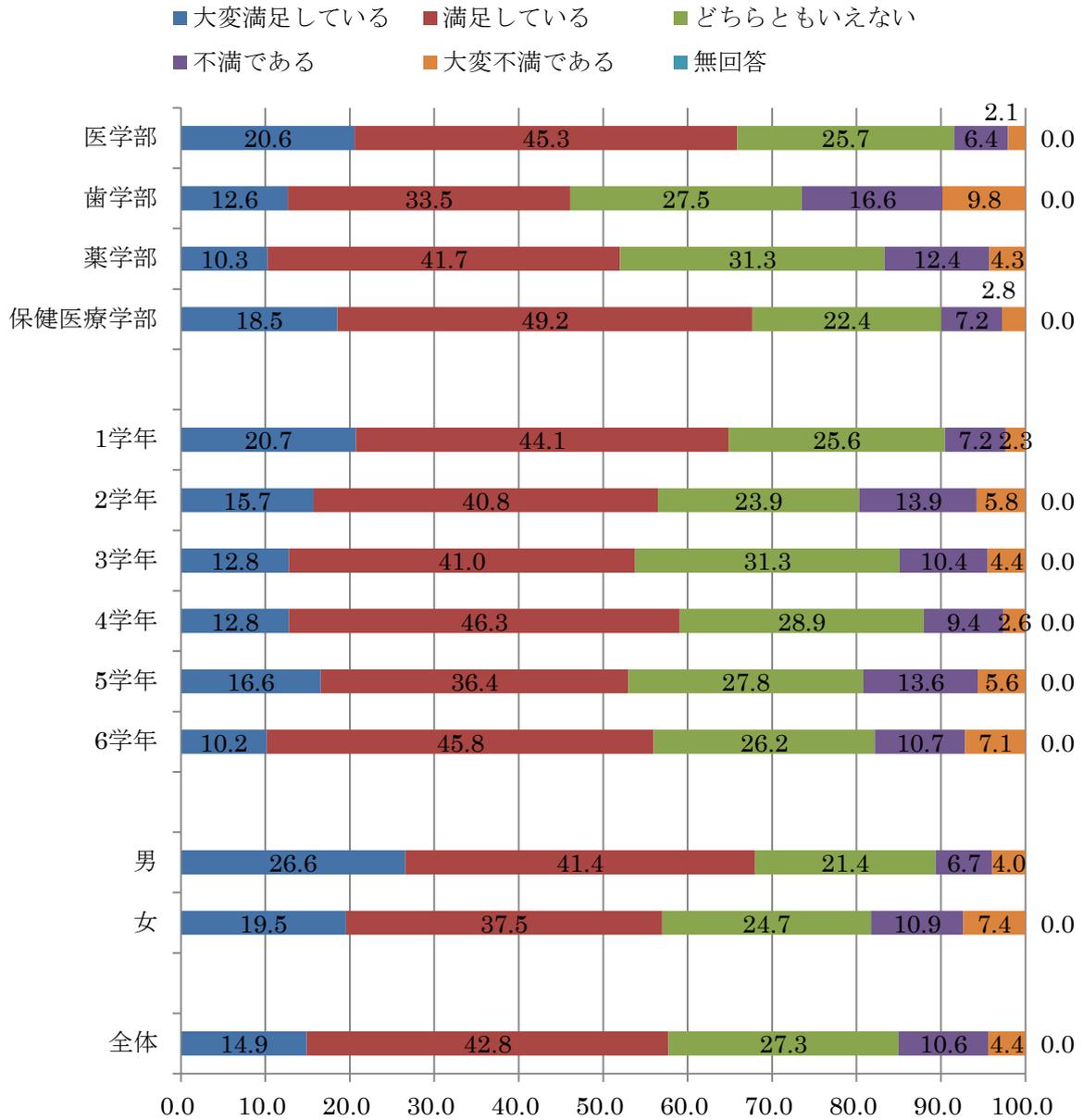
学生ホールに不満である理由は、「狭い、座席が少ない」というキャパシティーに関する点が多数を占めた。

### 35.売店に満足していますか



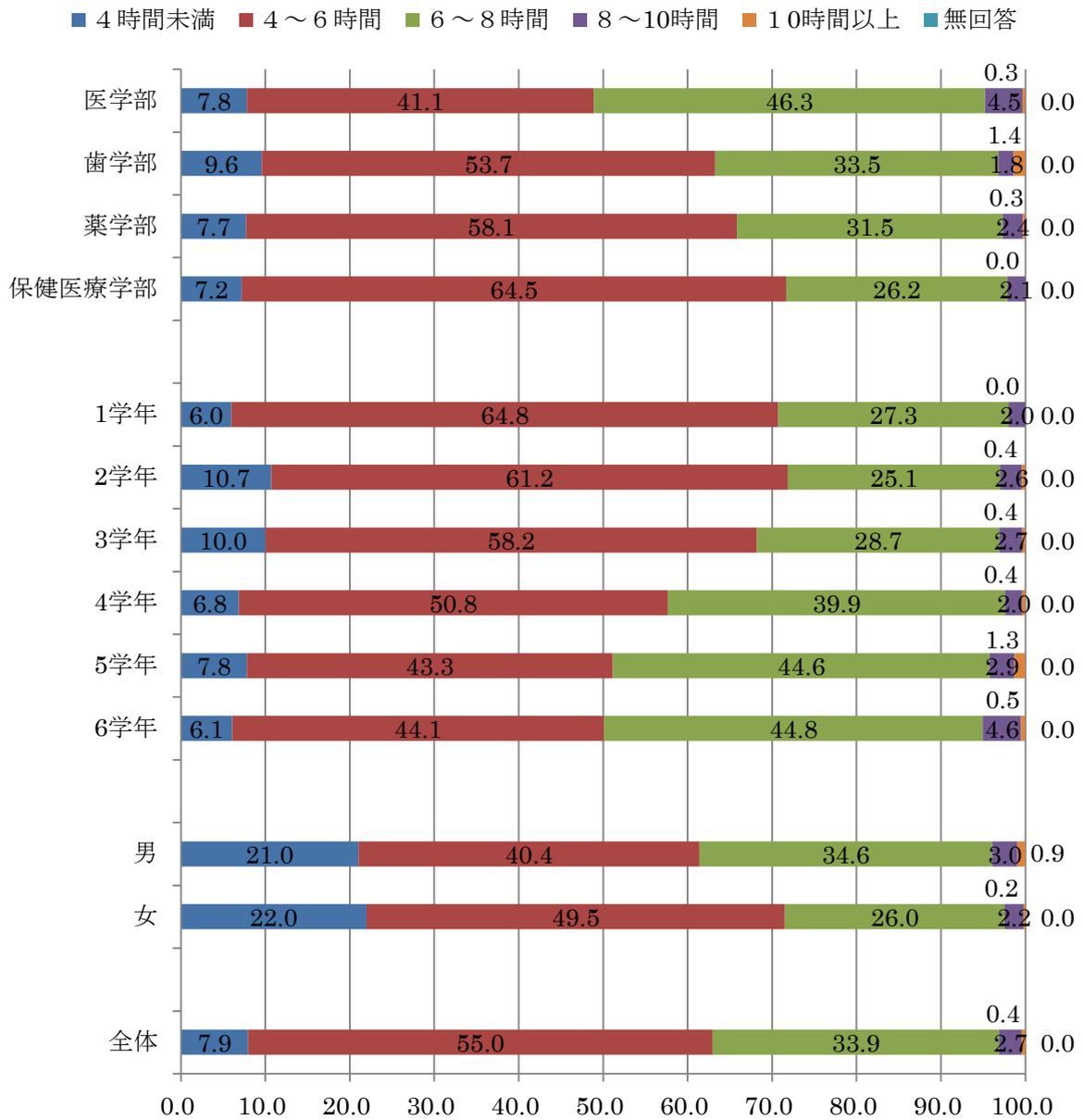
売店には概ね満足しているようである。

### 36.トイレに満足していますか



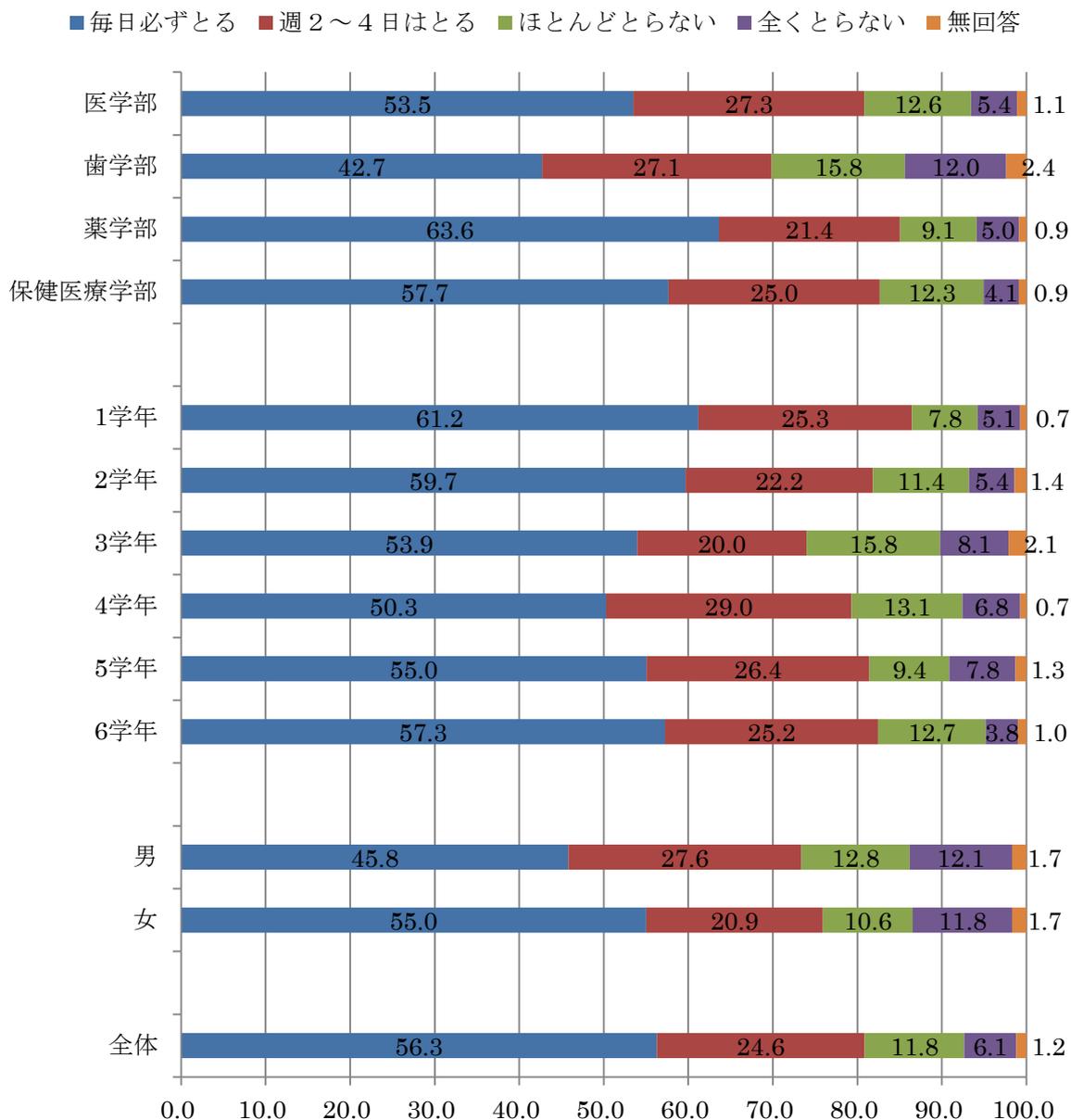
トイレの満足度は全般的に高いが、歯学部が最も低い。

### 37. 1日の平均睡眠時間ほどの位ですか



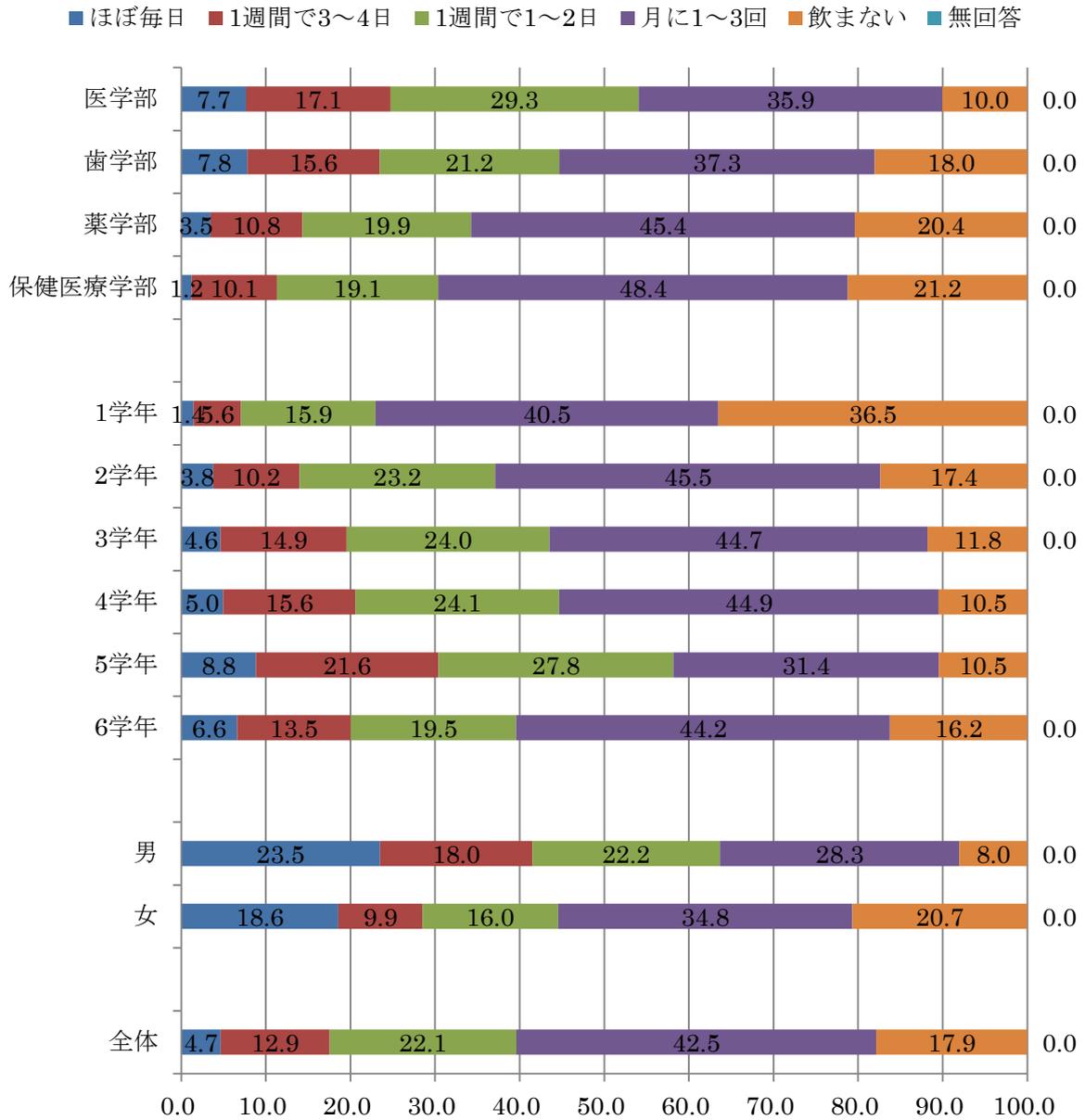
睡眠時間は4～6時間、6～8時間の回答が併せて89%であり、ほとんどの学生が十分な睡眠時間を取っている。

### 38.朝食をとっていますか



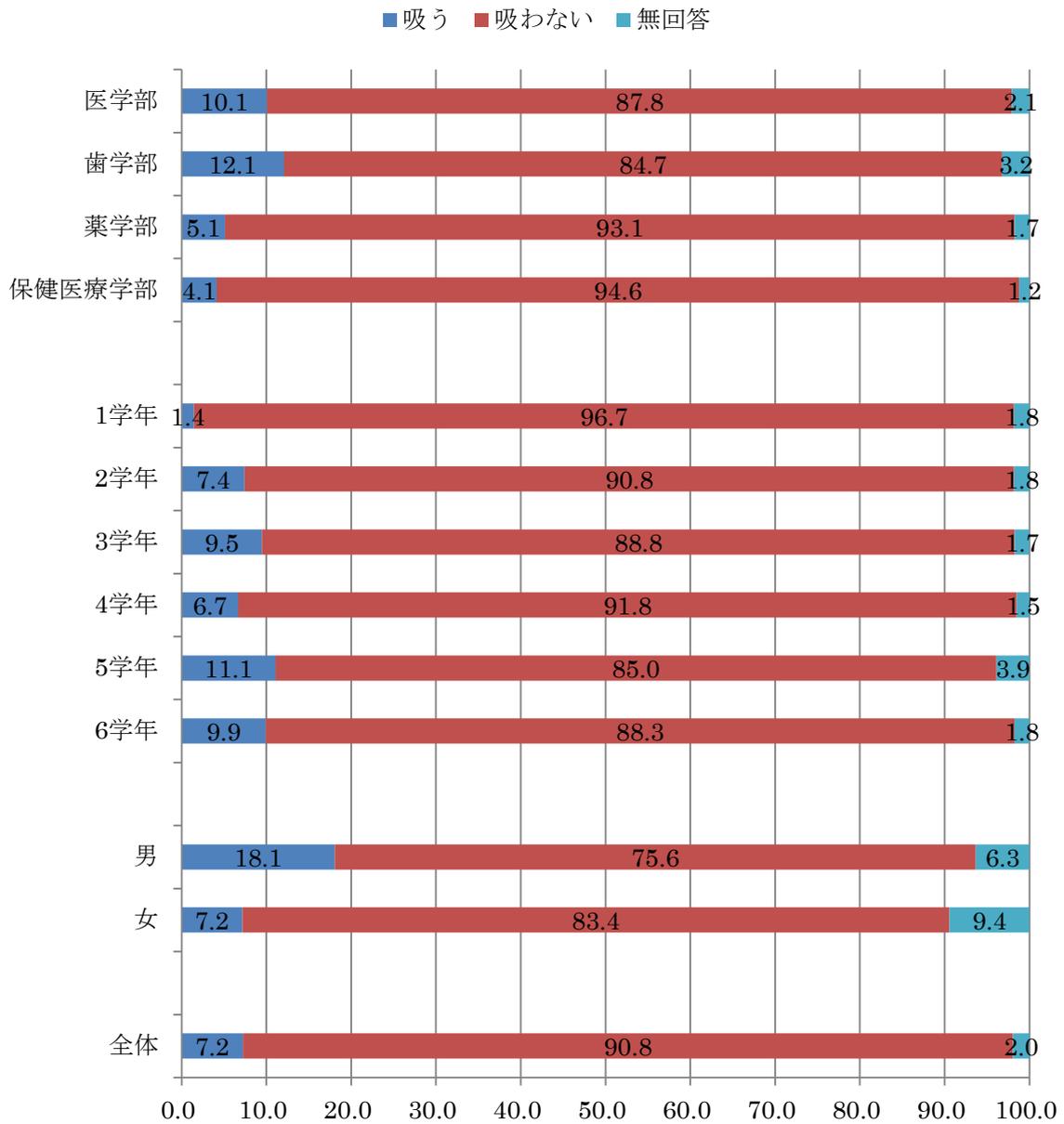
朝食を毎日取っている人が56%、一方で全く取らない人は6%であり、食生活も問題はないと考える。

### 39.お酒を飲みますか



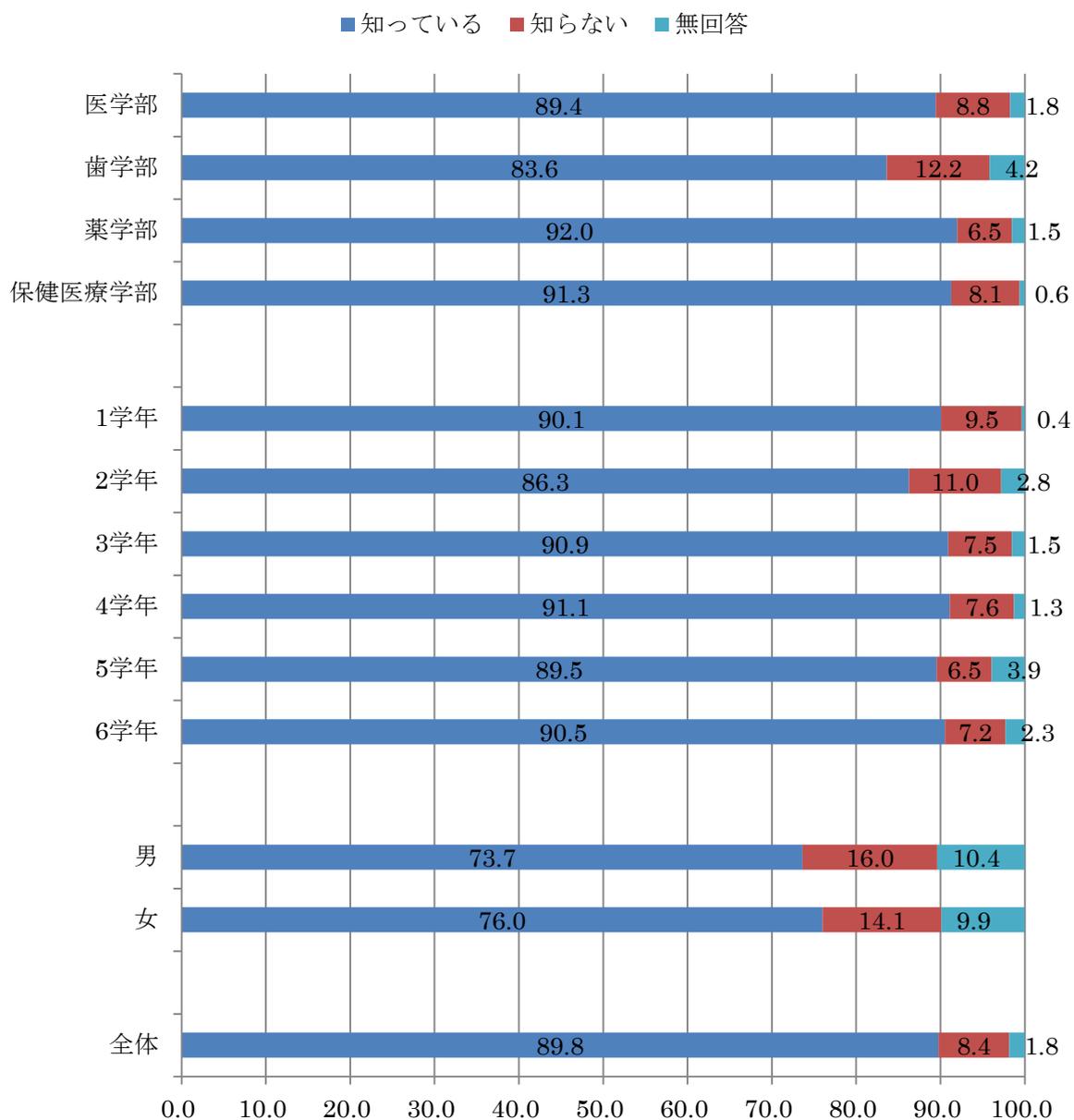
飲酒について 83%は週に 1 ~ 2 回以下であり、飲酒率は低かった。

#### 40.タバコを吸っていますか



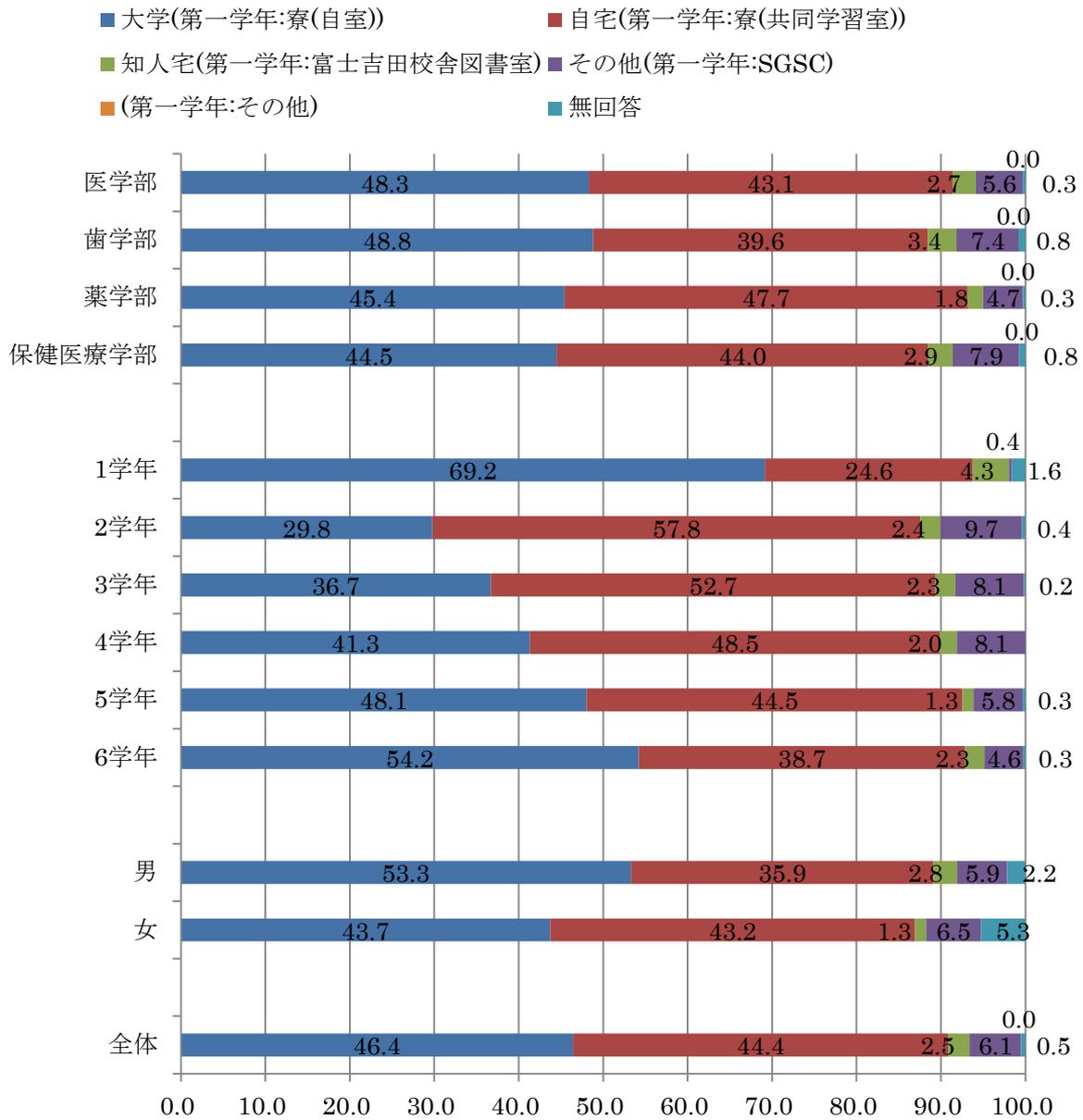
喫煙者は7%であり、喫煙率は低かった。

#### 41.違法薬物によって他人に危害を加えることを知っていますか



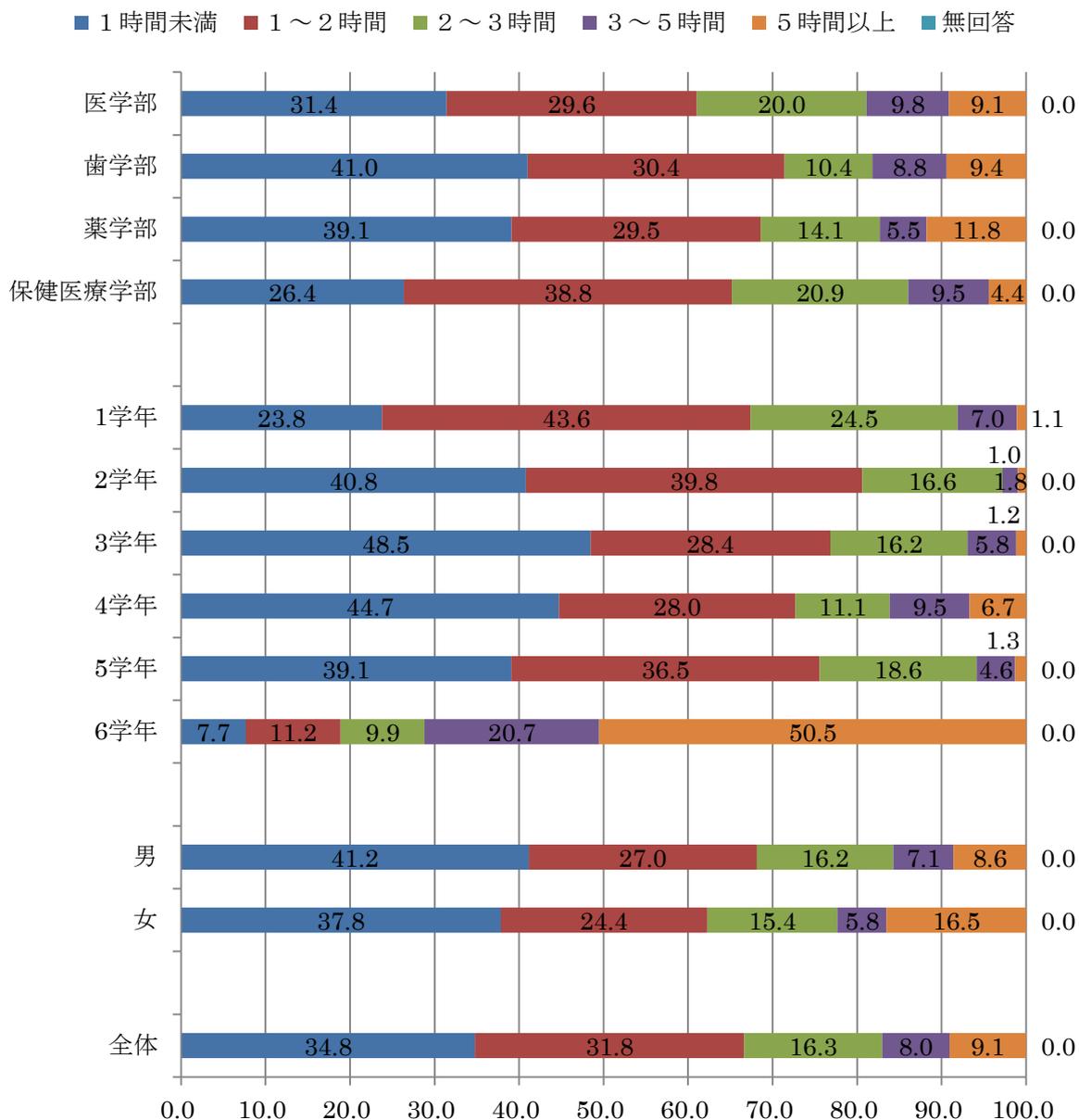
「違法薬物によって他人に危害を加えることを知っていますか」という質問に対して、8.4%が「知らない」と回答した。平成24年度に実施した調査によると、11.2%であった。若干であるが、違法薬物の知識が増えたと考える。

## 42.最も多く、自習する場所はどこですか



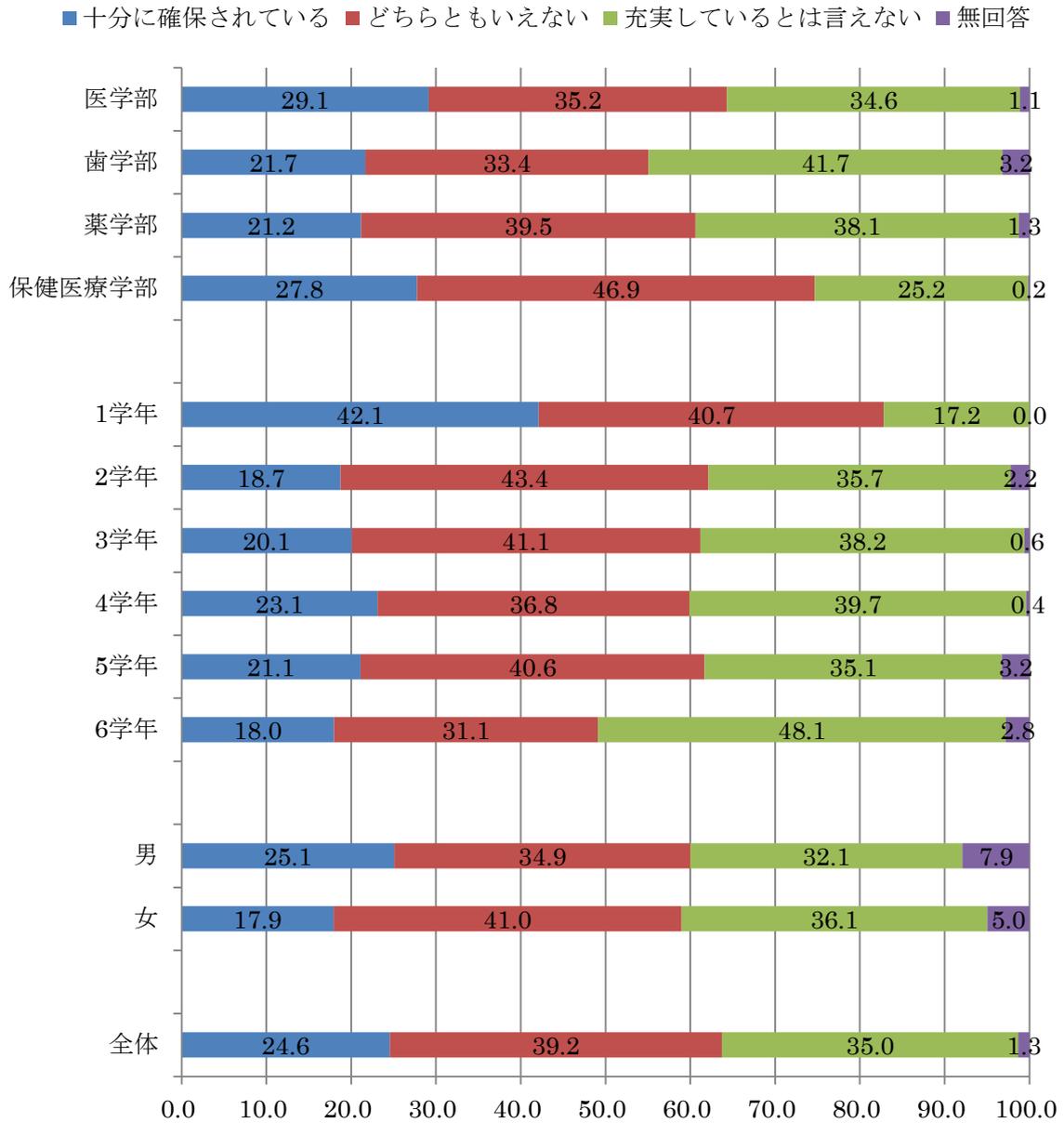
自習場所は自宅 44%、大学 46%で二分された。

### 43.1日の平均自学自習時間(大学内、外)はどの位ですか



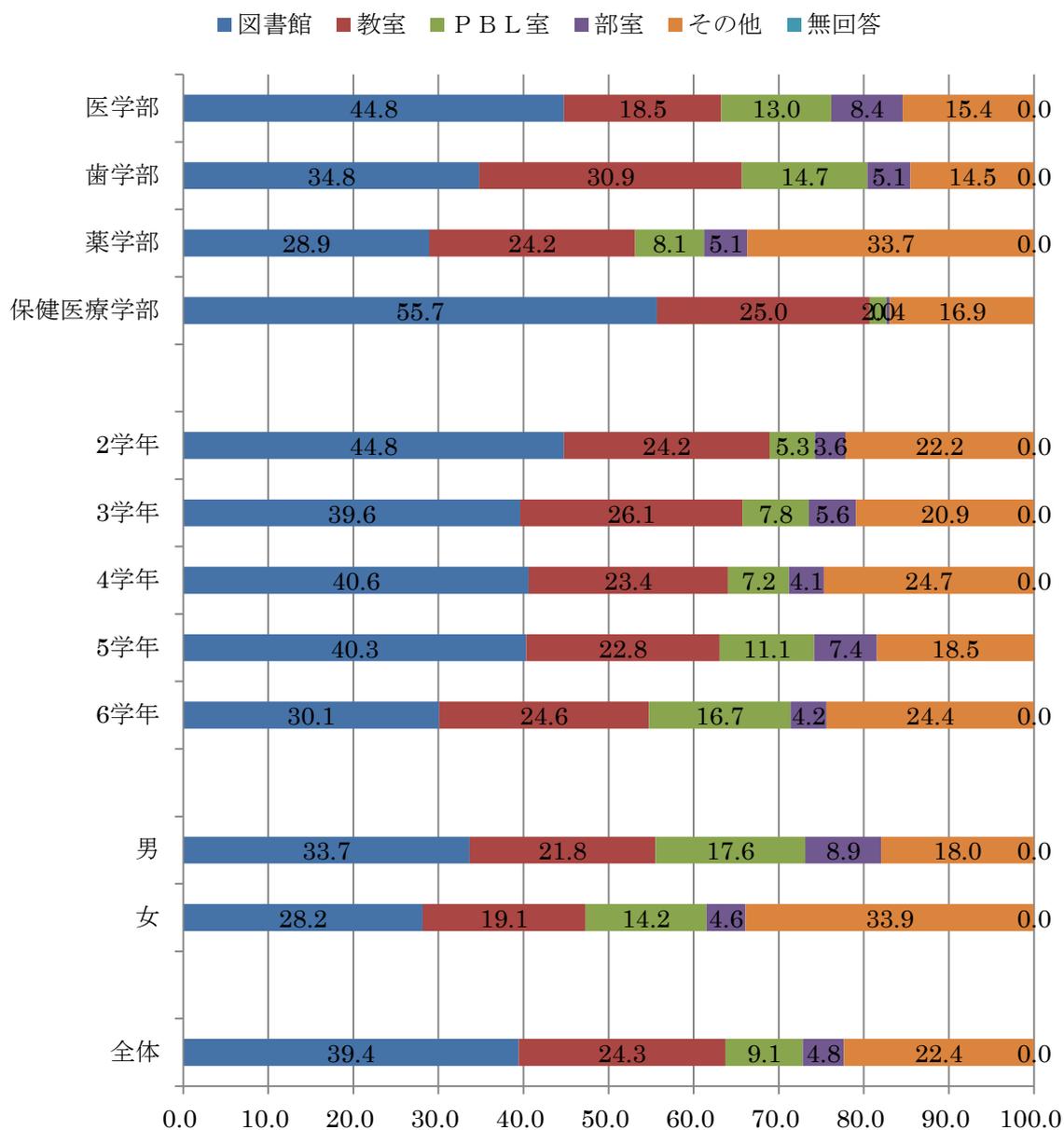
1日の自習時間は35%が1時間未満、32%が1～2時間という回答で、全体として十分な自習をしているとは言えない印象である。6年次だけは2時間以上が併せて81%となり、国家試験への対応でかなり積極的に自習時間を増やしている。一方で6年次の8%が1時間未満の回答であることが心配である。

#### 44.自習スペースについて



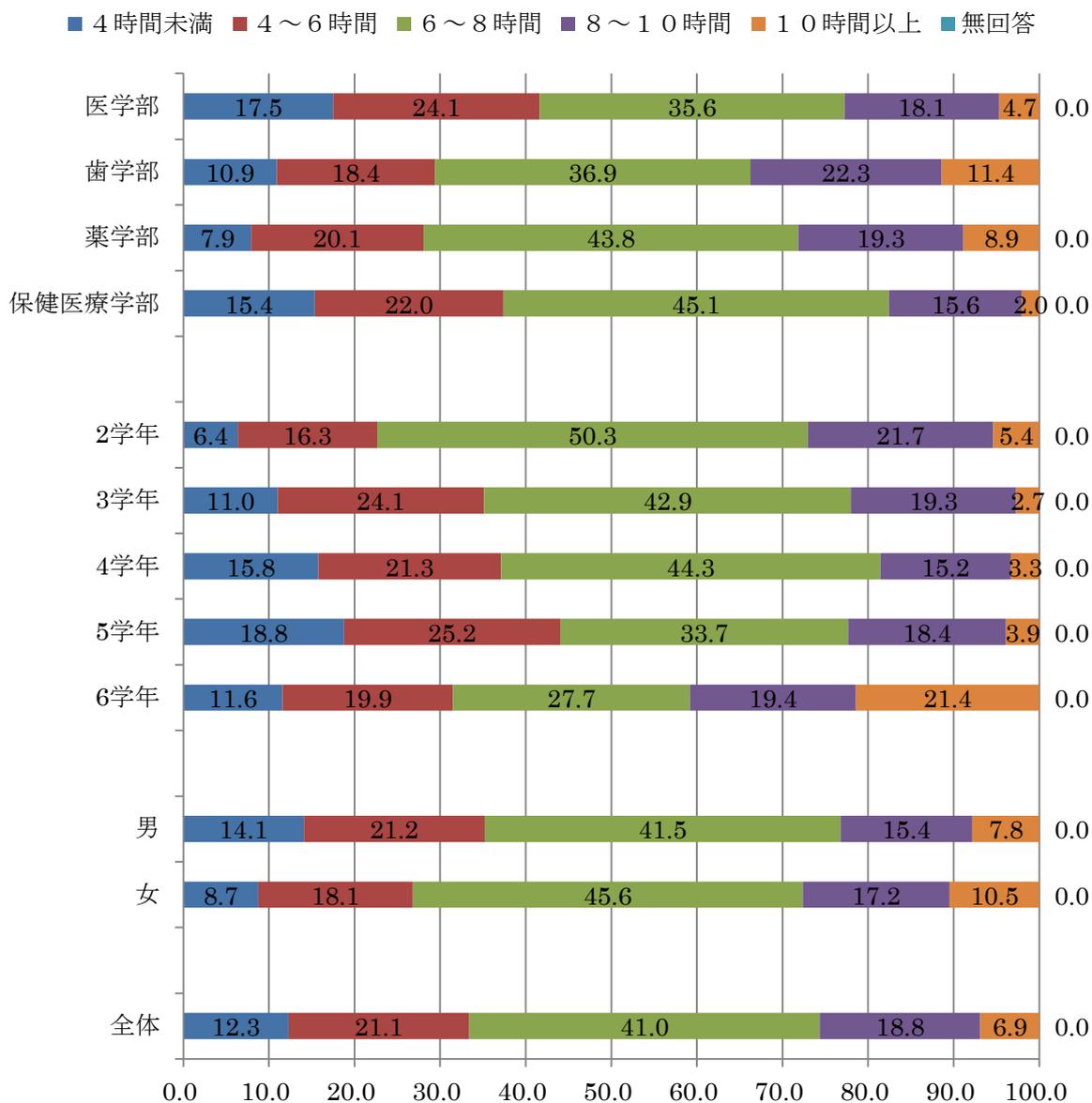
大学の自習スペースが確保されているという回答は25%に留まっている。この割合は1年次42%に対し、2年次以降では20%前後と低くなっていた。

#### 45.自習スペースとしてどこを利用していますか(第一学年回答不要)



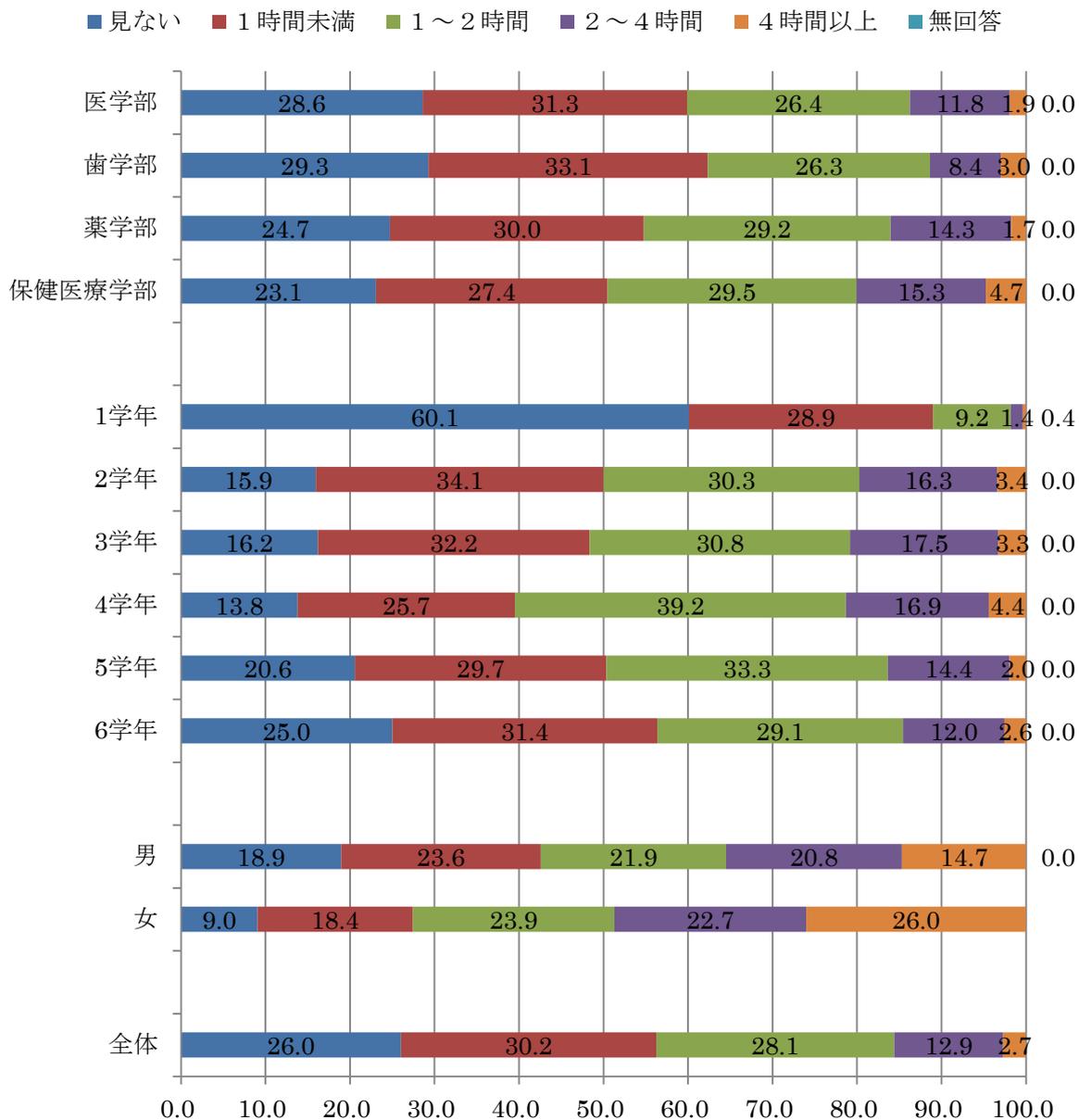
大学での自習スペースは39%が図書館、24%が教室、PBL 教室は9%、部室その他が27%であった。自習スペースとしてのPBL 教室はキャパシティが小さいのであろう。

46. 1日平均のキャンパス内にいる時間(大学にいる時間、課外活動含)はどの位ですか(第一学年回答不要)



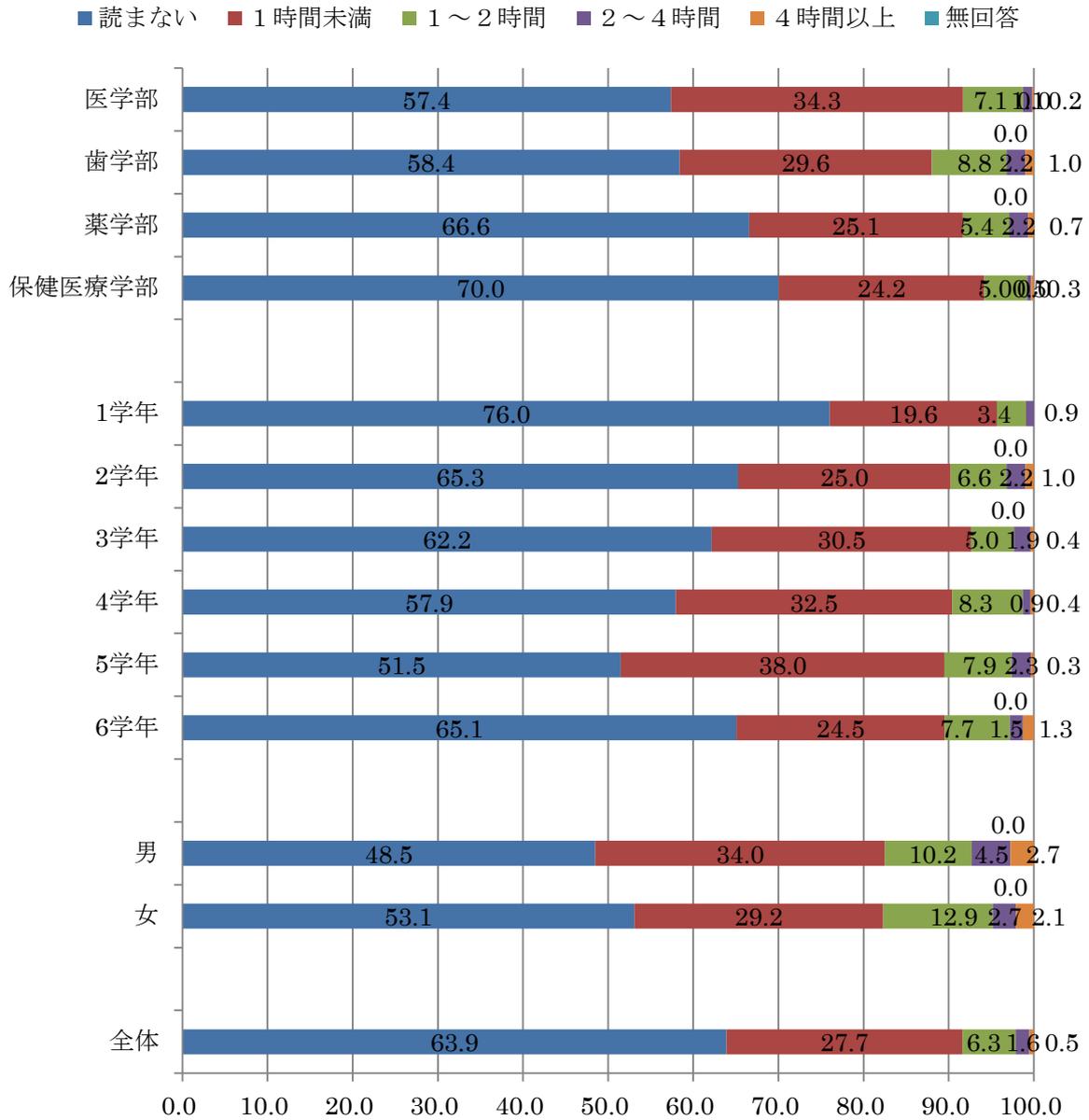
1日の内で、大学に6時間以上いるという回答が併せて67%。講義と実習だけでも6時間になるはずだが、6時間以下が33%であった。

#### 47.1日の平均テレビ視聴時間(DVD・ビデオ含む)はどの位ですか



テレビの視聴時間は1日1時間未満が56%、2時間以上という回答は16%であった。  
テレビ視聴をあまりしない。

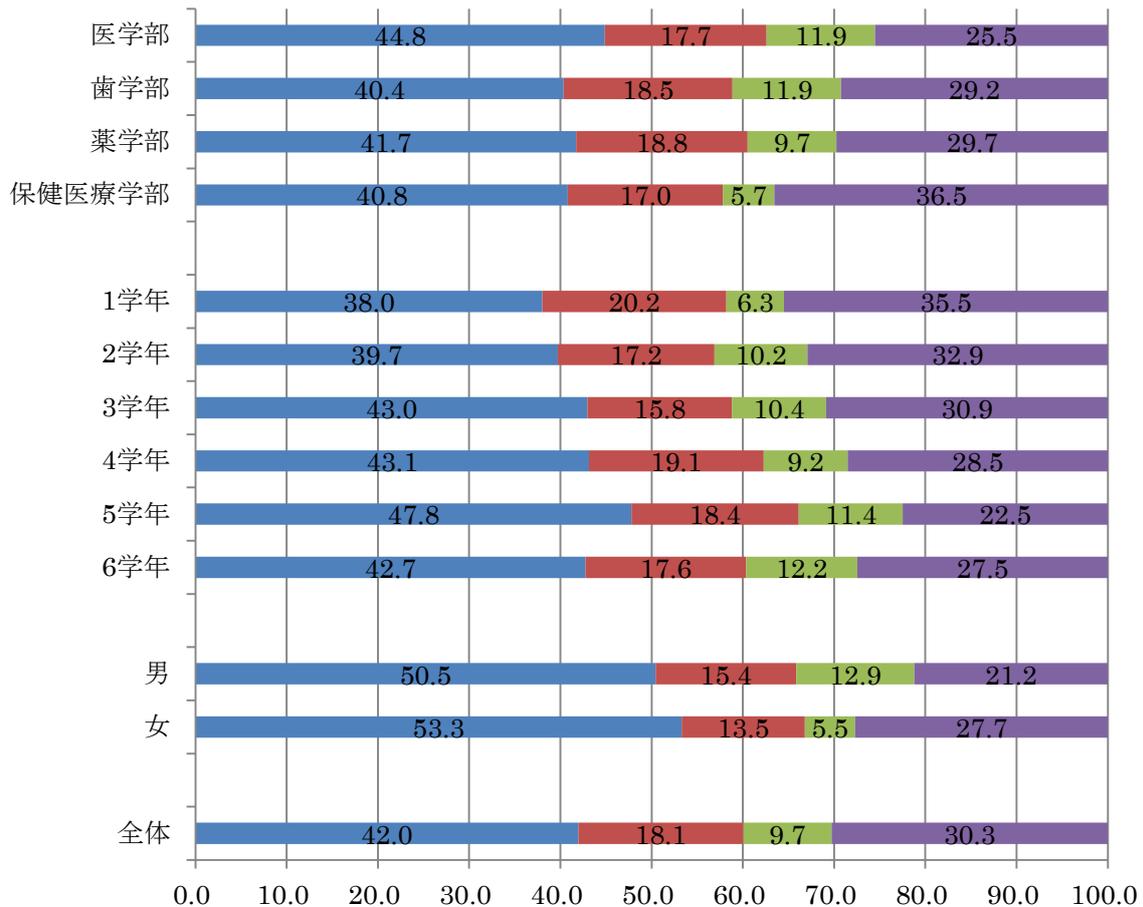
### 48. 1日の平均読書時間(専門書以外)はどの位ですか



平均読書時間は1時間未満が92%であり、読書はほとんどしていない。

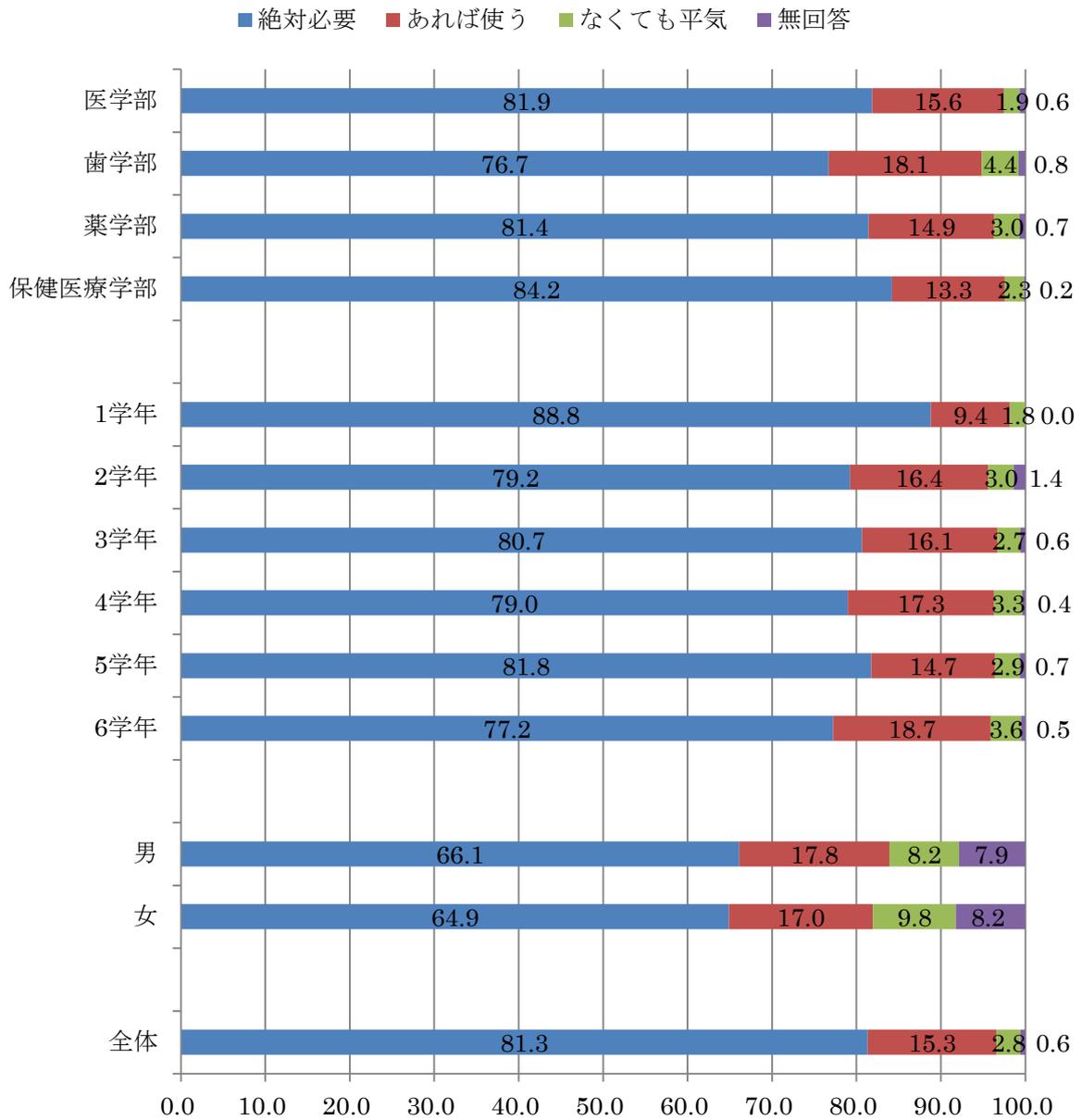
49. 専門書以外の購読誌は何ですか \*複数回答可

- 文化・コミュニケーション（文芸、インターネット・コンピュータ、芸術鑑賞、ゲーム、旅行、コミュニケーション・社会・福祉など）
- 自然・身体（音楽・表現、ダンス、フィットネス・アウトドア、観察・探索、レジャー、食文化、飼育・栽培など）
- 創造・遊戯（コレクション、おもちゃ・模型、美術・工芸・手芸、工作・DIY、車・オートバイ、交通など）
- その他



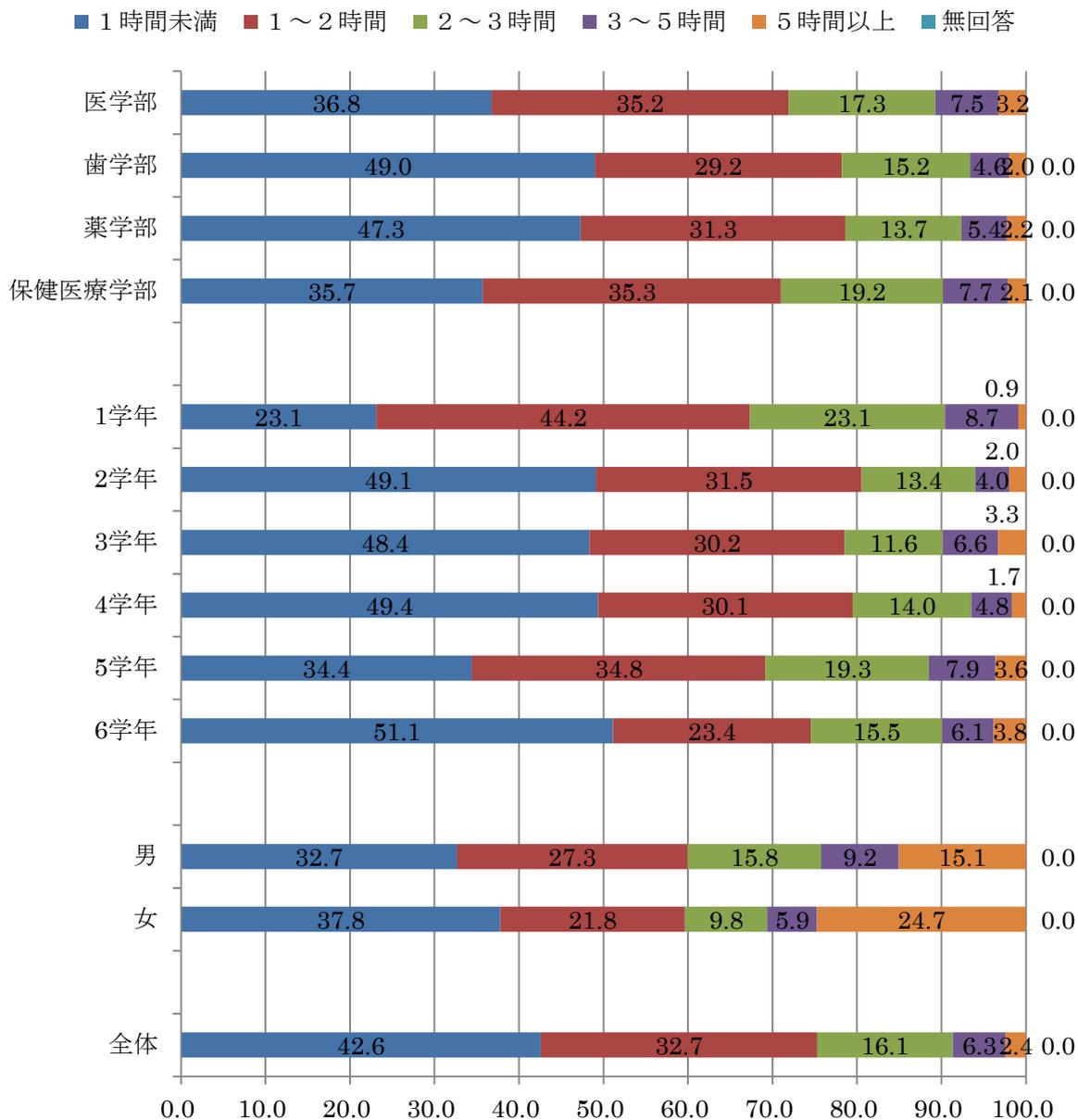
購読誌のジャンルは「文化・コミュニケーション」が約半分を占めており、この傾向は学部、学年、性別での差はそれほど見られない。

### 50.インターネットについて



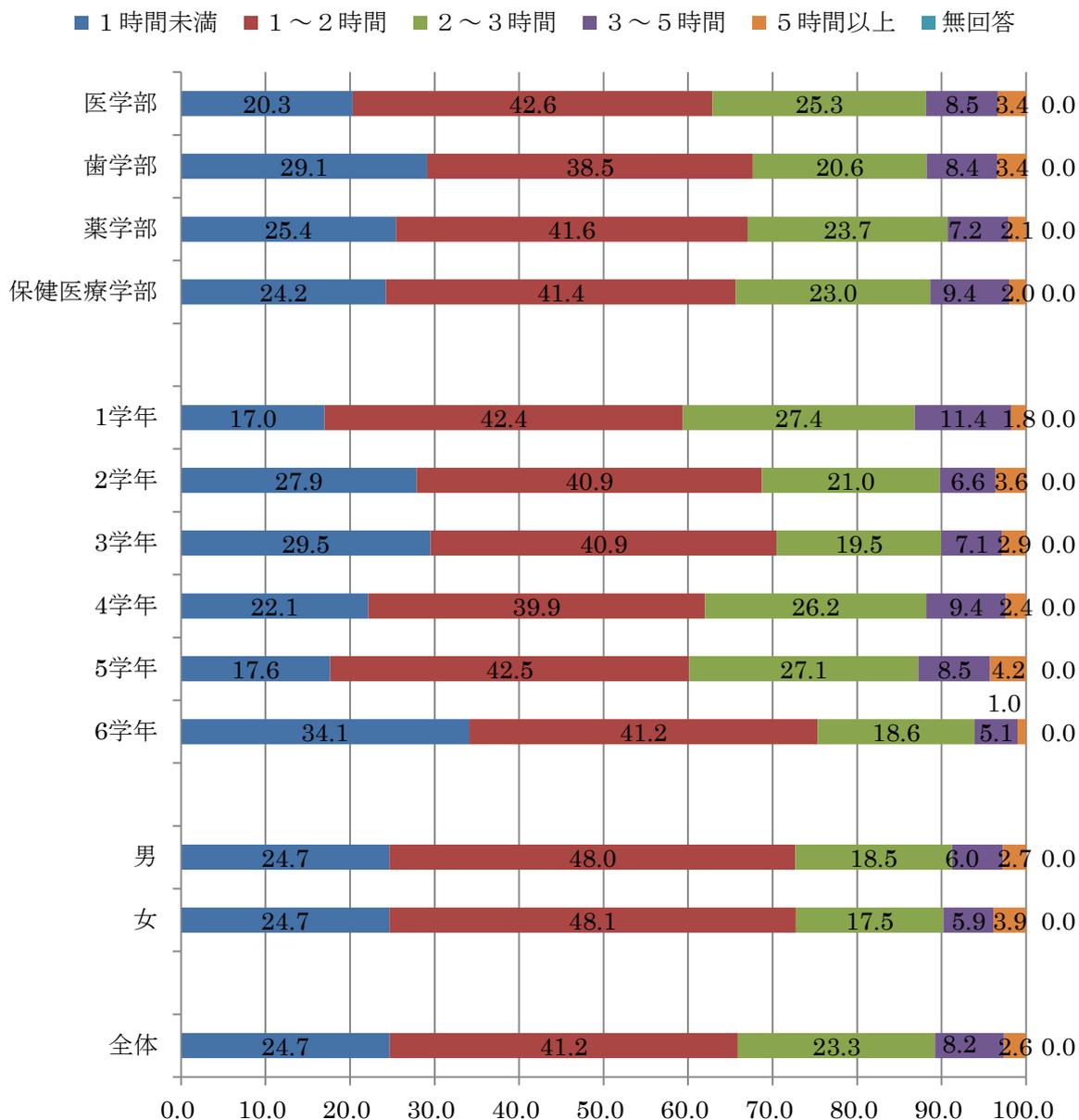
インターネットは「絶対必要」と回答したものが80%を越えた。この数字は学部、学年、性別による差はそれほど見られない。平成21年度55%、平成24年度79.2%でありインターネットが生活の中に浸透していると思われる。

### 51.1 日のパソコンに使う平均時間ほどの位ですか



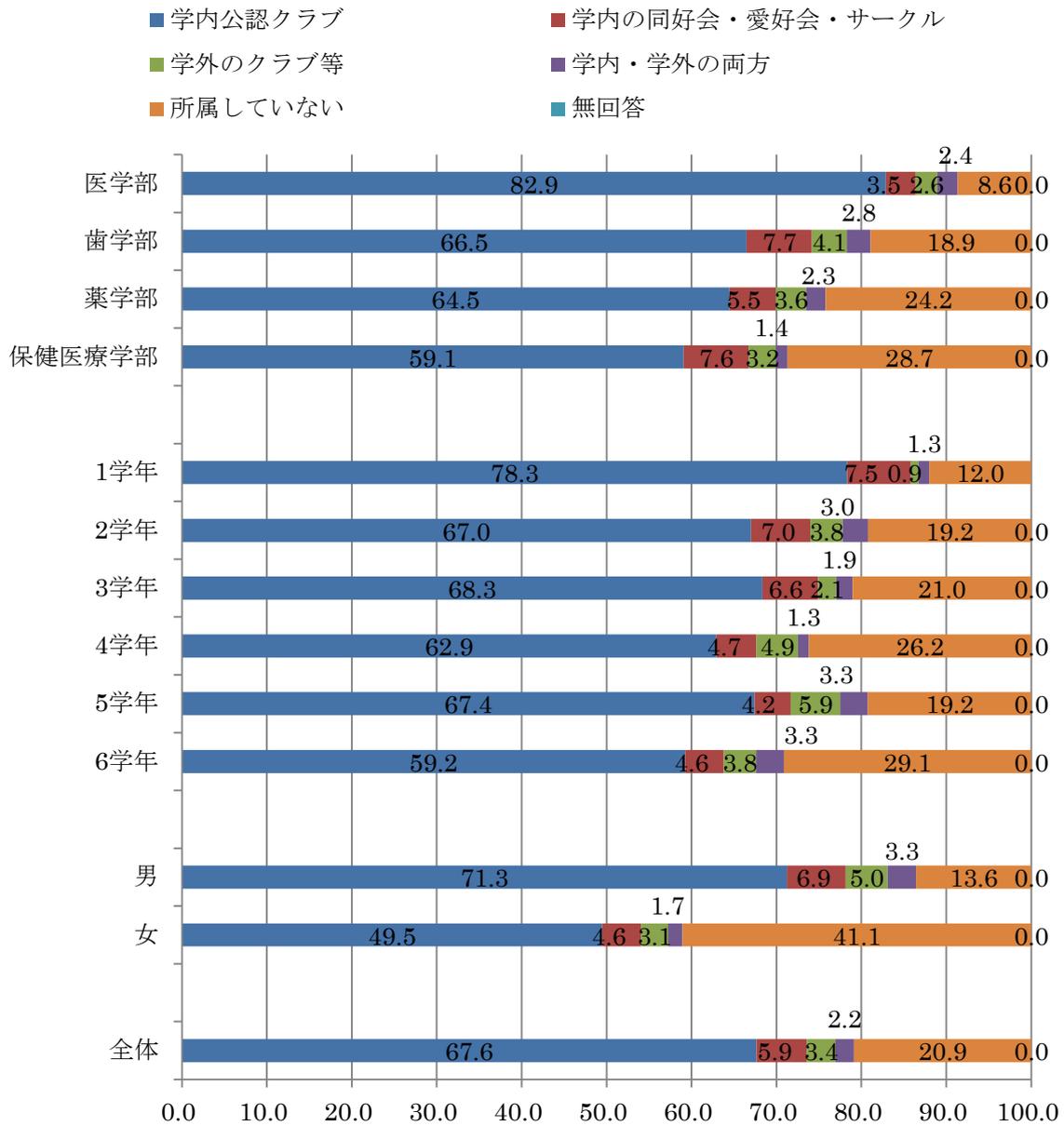
パソコン使用時間は1時間未満が43%、1～2時間が33%、2時間以上が25%であった。パソコンを長く使用することはなかったが、2%程度の回答で1日5時間以上パソコンを使っているというものがあり、やや心配である。

### 52. 1日の平均レジャー及び遊び時間（交際・趣味・娯楽等）はどの位ですか



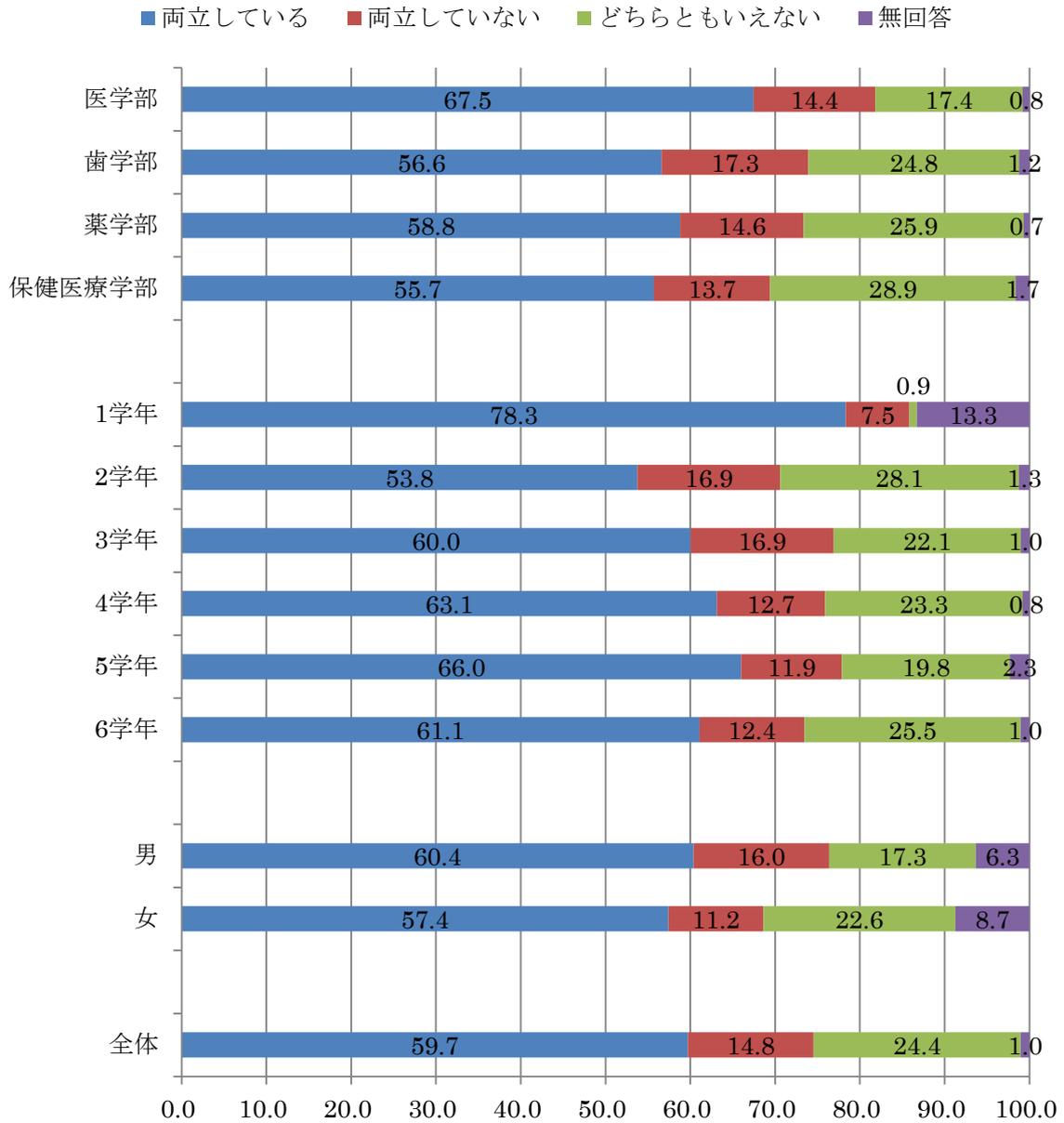
1日のレジャー時間は1時間未満が25%、1～2時間が41%、2時間以上が34%と分かれた。

### 53.加入しているクラブ等について



加入しているクラブは、ほとんどが学内公認クラブである。1年次の加入率は78.3%と高く、2年次以降は減少する傾向にある。医学部の加入率が82.9%と最も高く、薬学部と保健医療学部は少し低い。この結果は、平成24年度調査と同様な傾向にある。

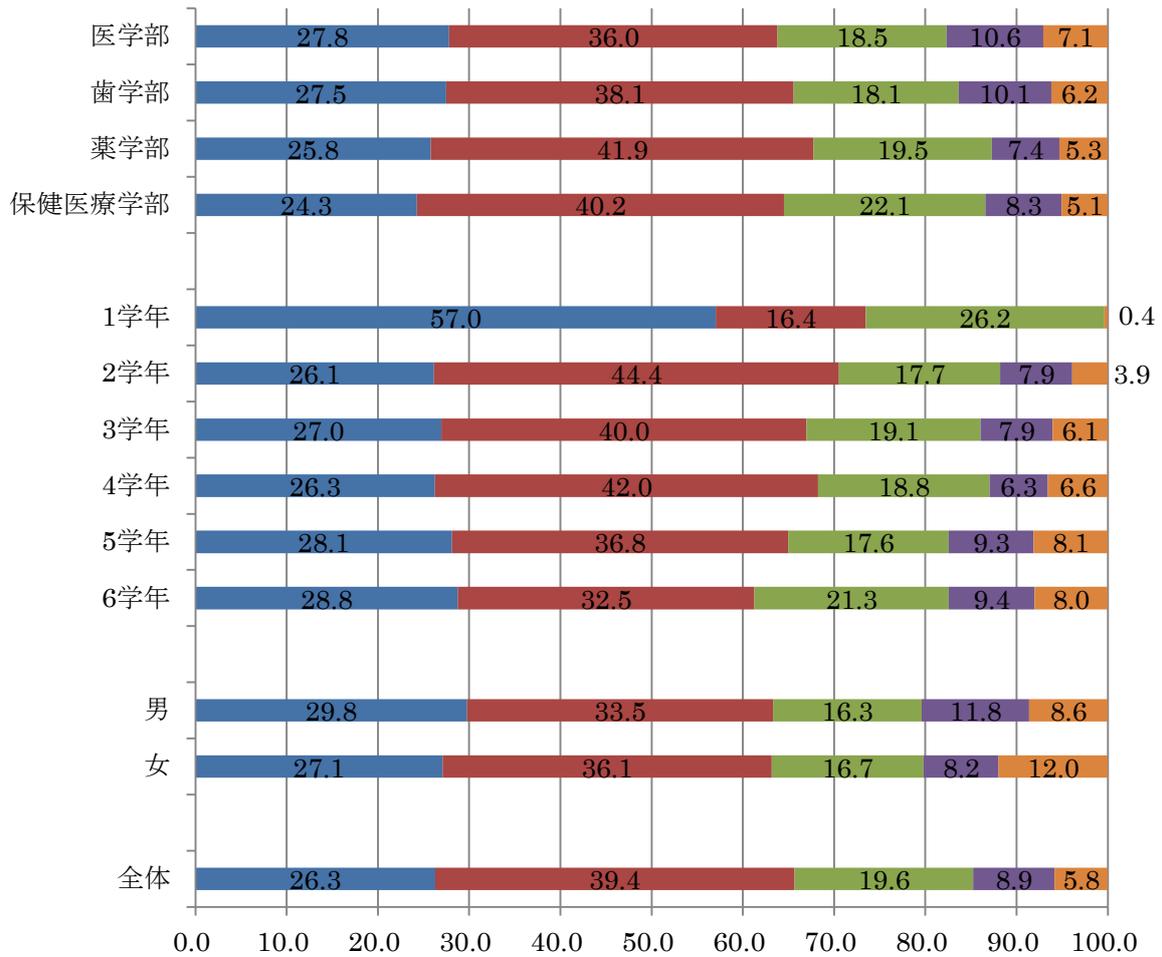
### 54.課外活動と学業の両立について



調査結果から、課外活動と学業は両立していると考えられる。全体で「両立している」と回答した学生は59.7%で、特に1年次は78.3%と高く、富士吉田での充実した生活が伺える。

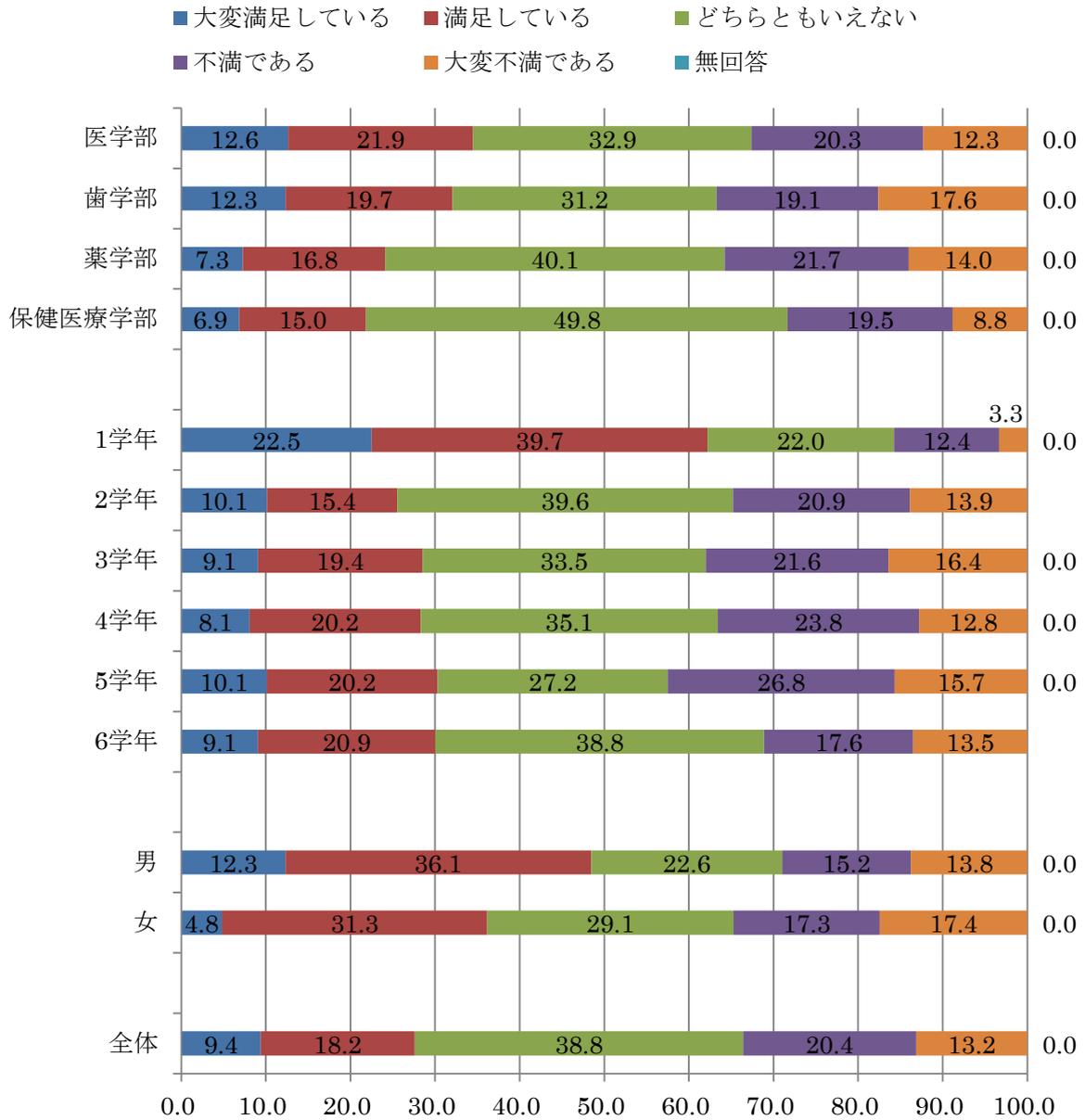
55.課外活動で得たもの \*複数回答可

- 授業では得られぬ知識・教養・技術を得た
- 先輩・友人との交わり、協調・忍耐・責任感などを養えた
- かけがえのない友人
- 健康の増進
- リーダーシップ



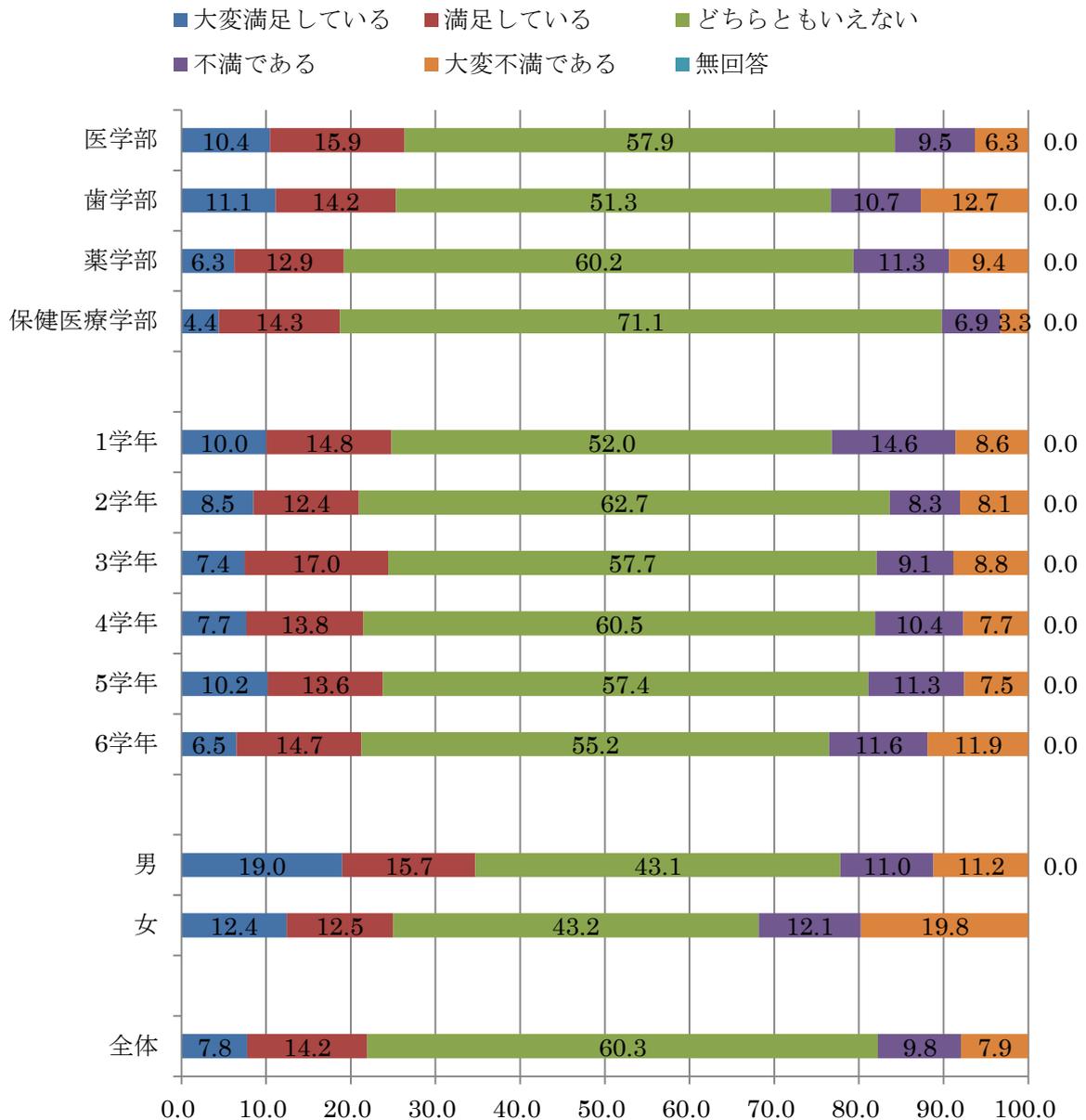
課外活動で得たものとして、1年次は「知識・教養・技術」と回答した学生が57.0%と最も高かったが、2年次以降は「先輩、友人との交わり」を選ぶ学生が増加した。学年が上がり、人とのつながりを大切にすることが感じられる。

### 56.部室に満足していますか



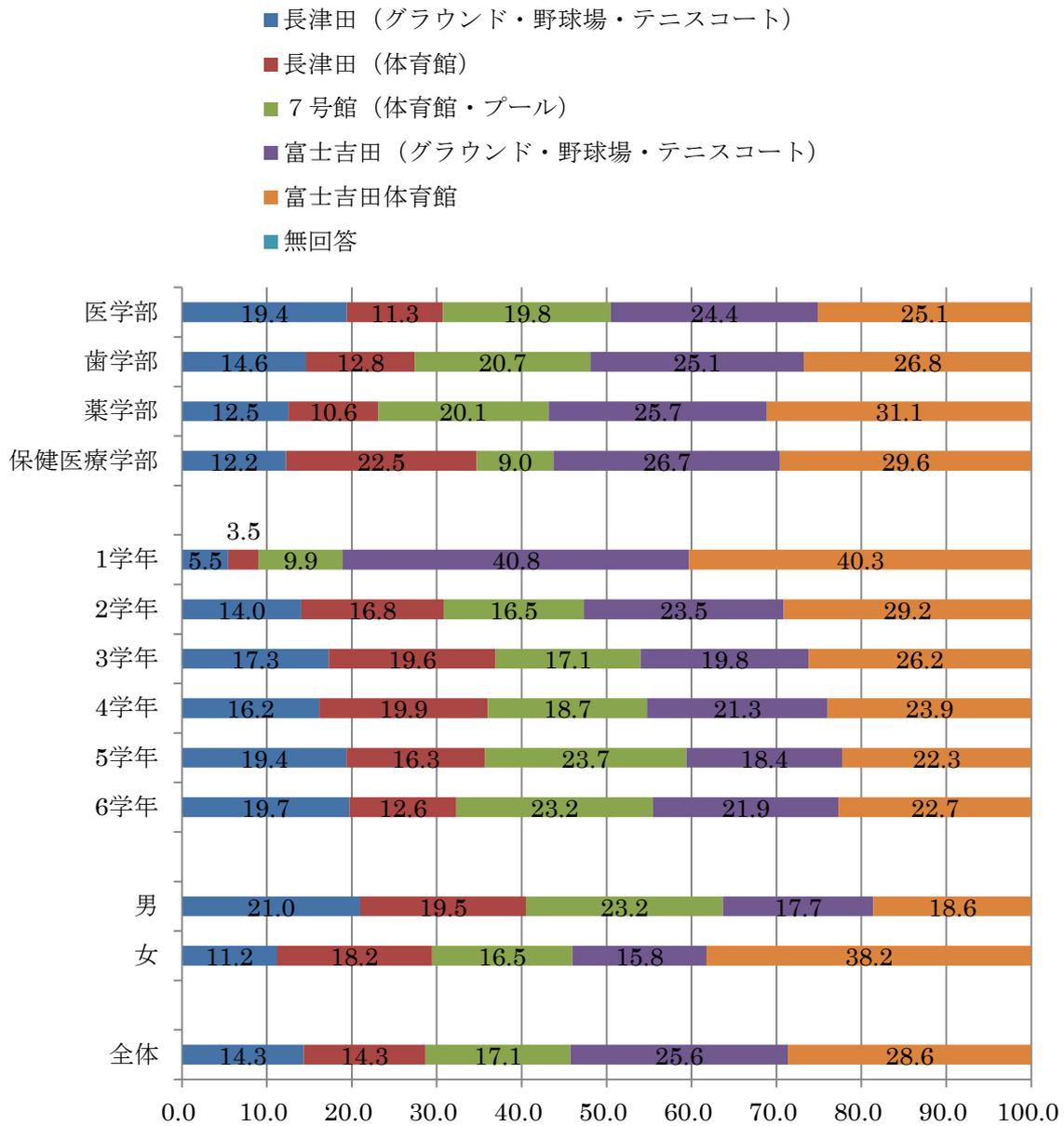
部室に「大変満足している」は、1年次の22.5%に対して、2年次以降は10%前後に低下している。学生にその理由を尋ねると共に、旗の台・長津田キャンパスの、施設の整備・充実が課題と考えられる。

### 57.文連系クラブで使用できる場所について満足していますか



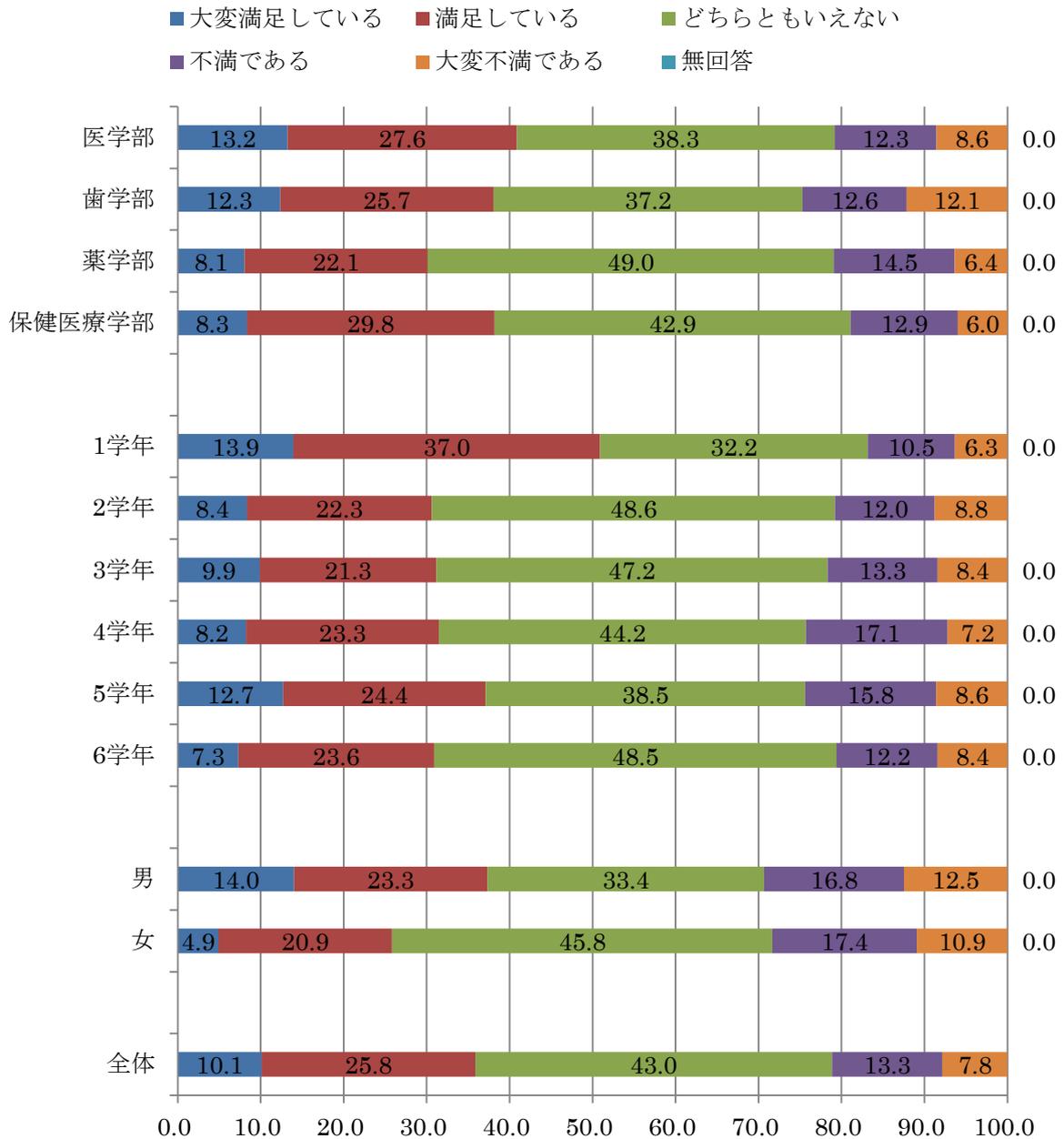
文連系クラブで使用できる場所に対しては、学年を通じ「大変満足している」は10%以下と低い結果となった。ただし、「大変不満である」も同様な数字である。「どちらともいえない」が全体の60.3%であることから、その理由が何か知る必要がある。

58.利用したことのある本学の運動施設はどこですか \*複数回答可



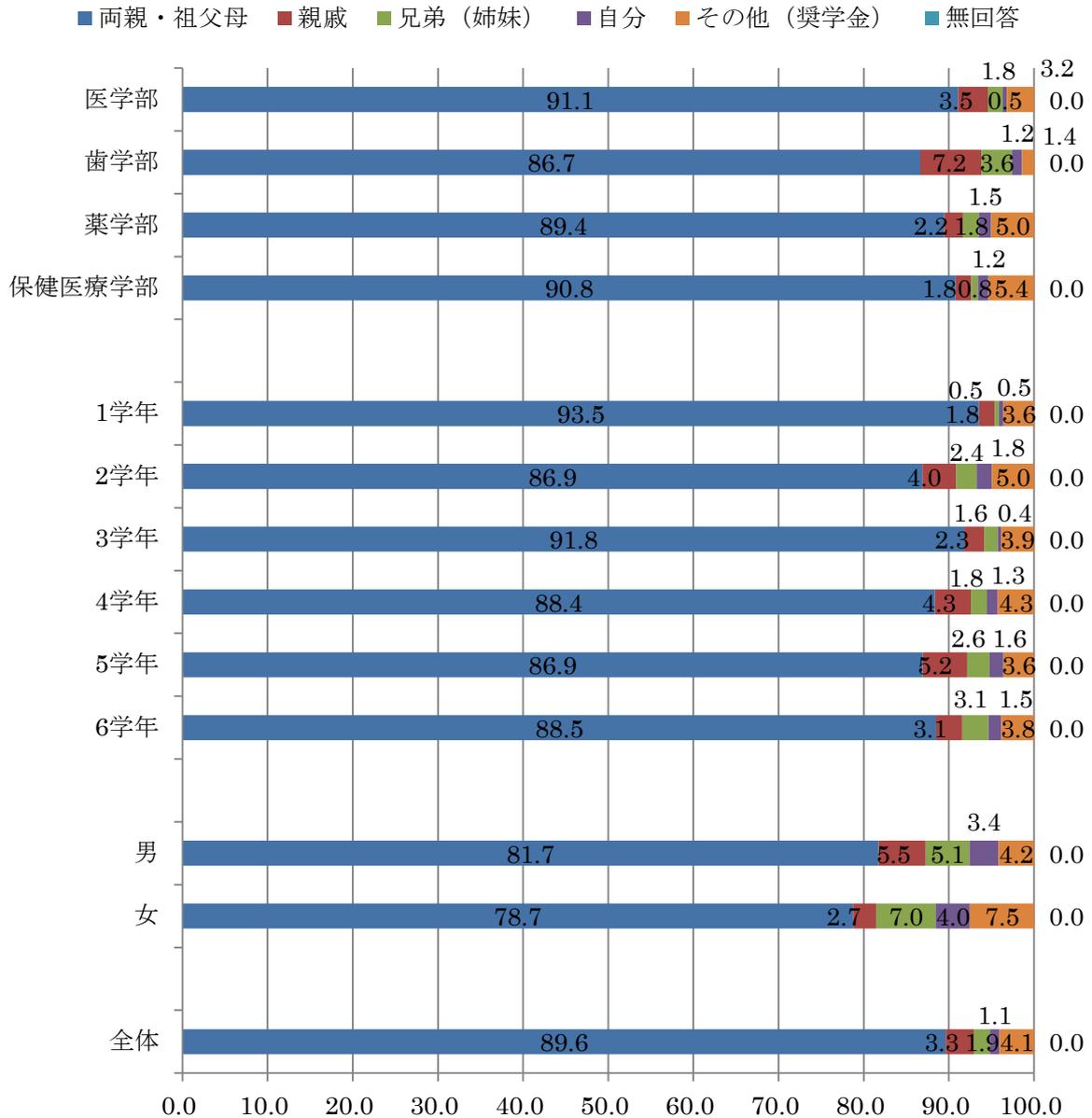
1年次は、富士吉田キャンパス内の施設に集中する。学年が上がるに伴い、7号館を利用する割合が高くなる。

### 59.運動施設に満足していますか



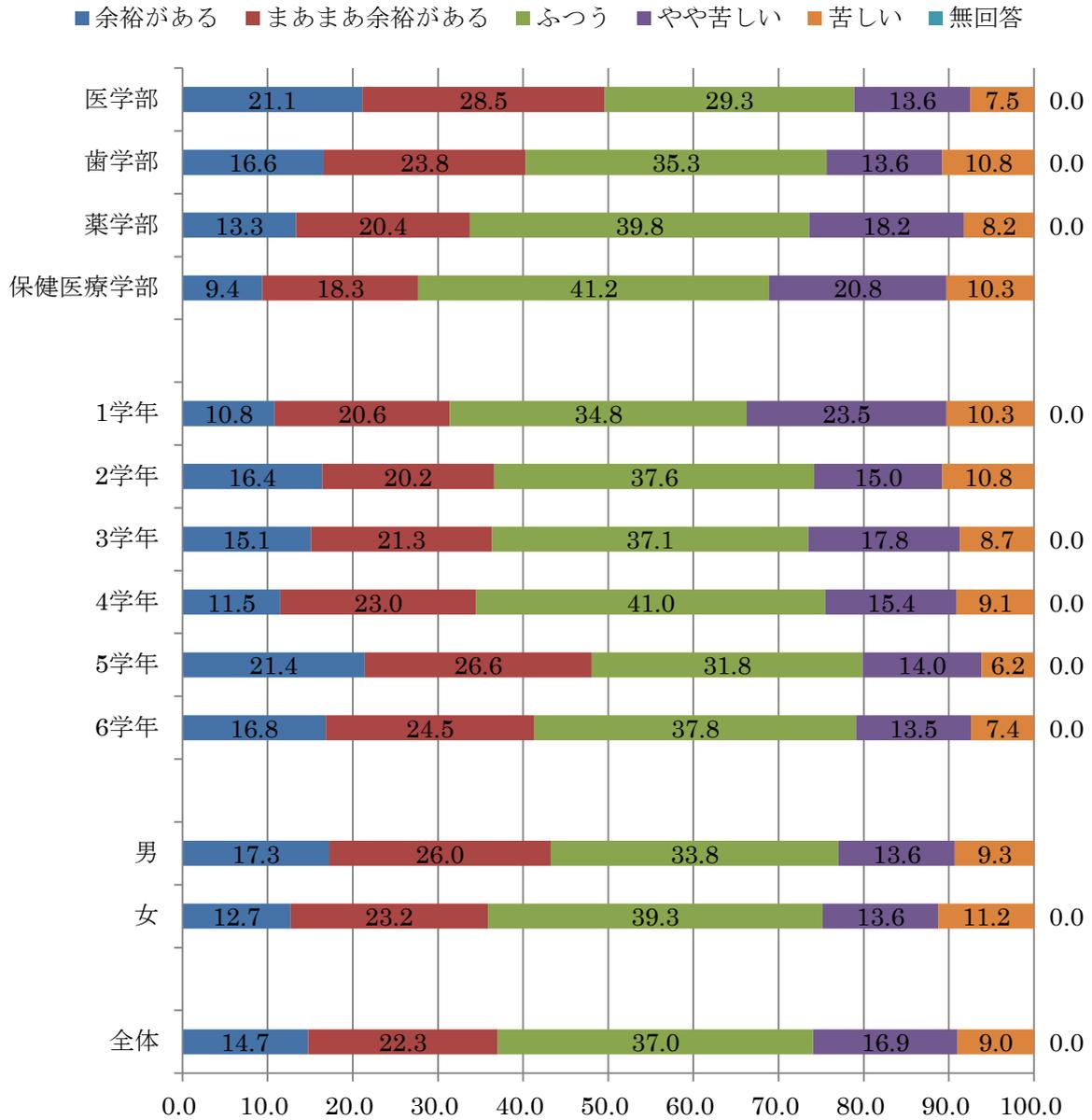
運動施設に関して全体では、「大変満足している」と「満足している」合わせると 35.9%で、「大変不満である」と「不満である」の 21.1%をやや上回った。この回答は、平成24年度調査と同様な傾向にある。

### 60.学費の主たる負担者はどなたですか



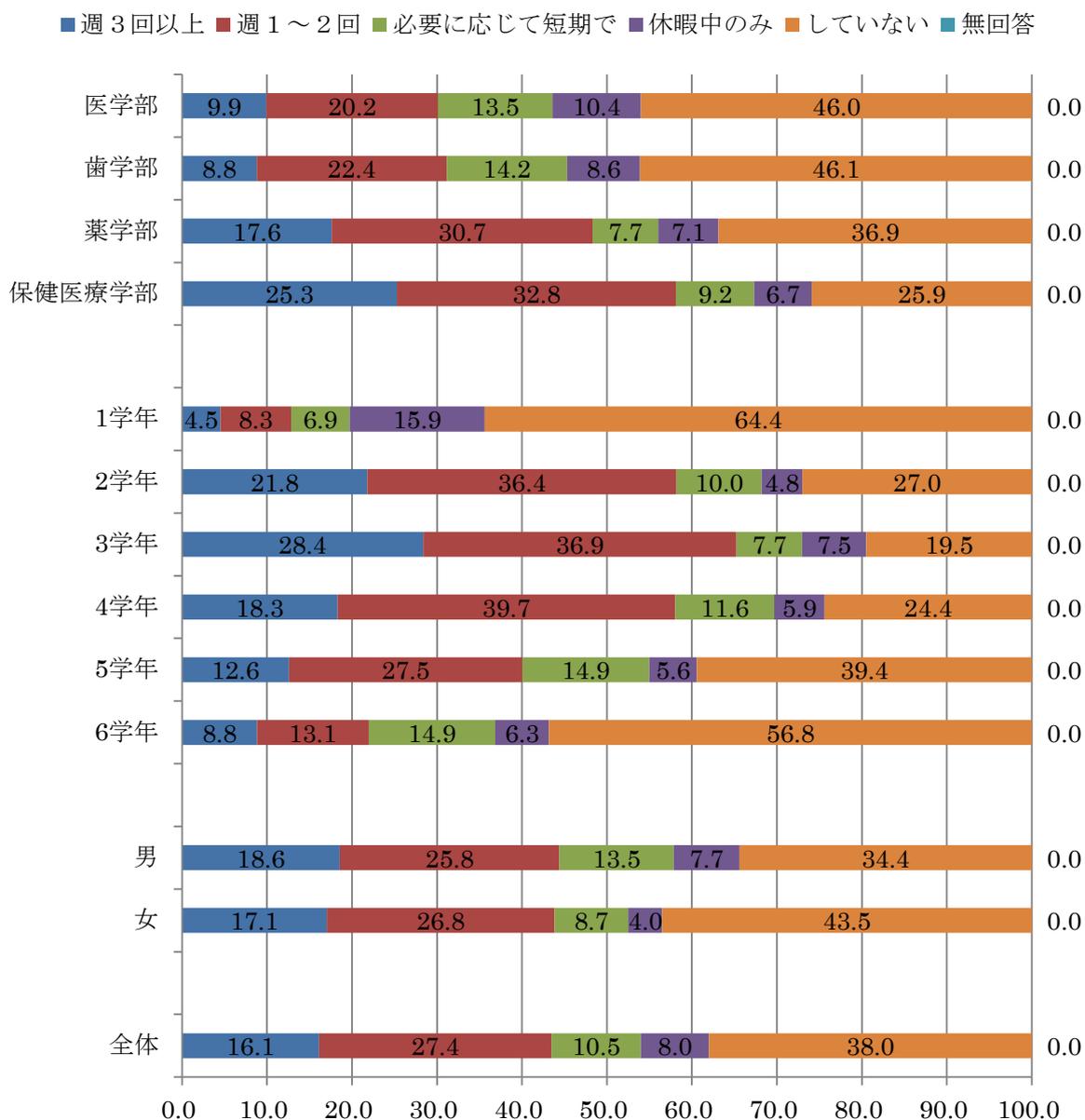
学費の主たる負担者のアンケートから、5.2%の学生が自分(1.1%)あるいは奨学金(4.1%)で負担している。学部間では、薬学部 6.5%、保健医療学部 6.6%と、自分あるいは奨学金で負担する学生の割合が高い。女子は男子(4.2%)に比べ、奨学金を利用する割合が高い(7.5%)。

### 61.家庭の経済状況について知っていますか



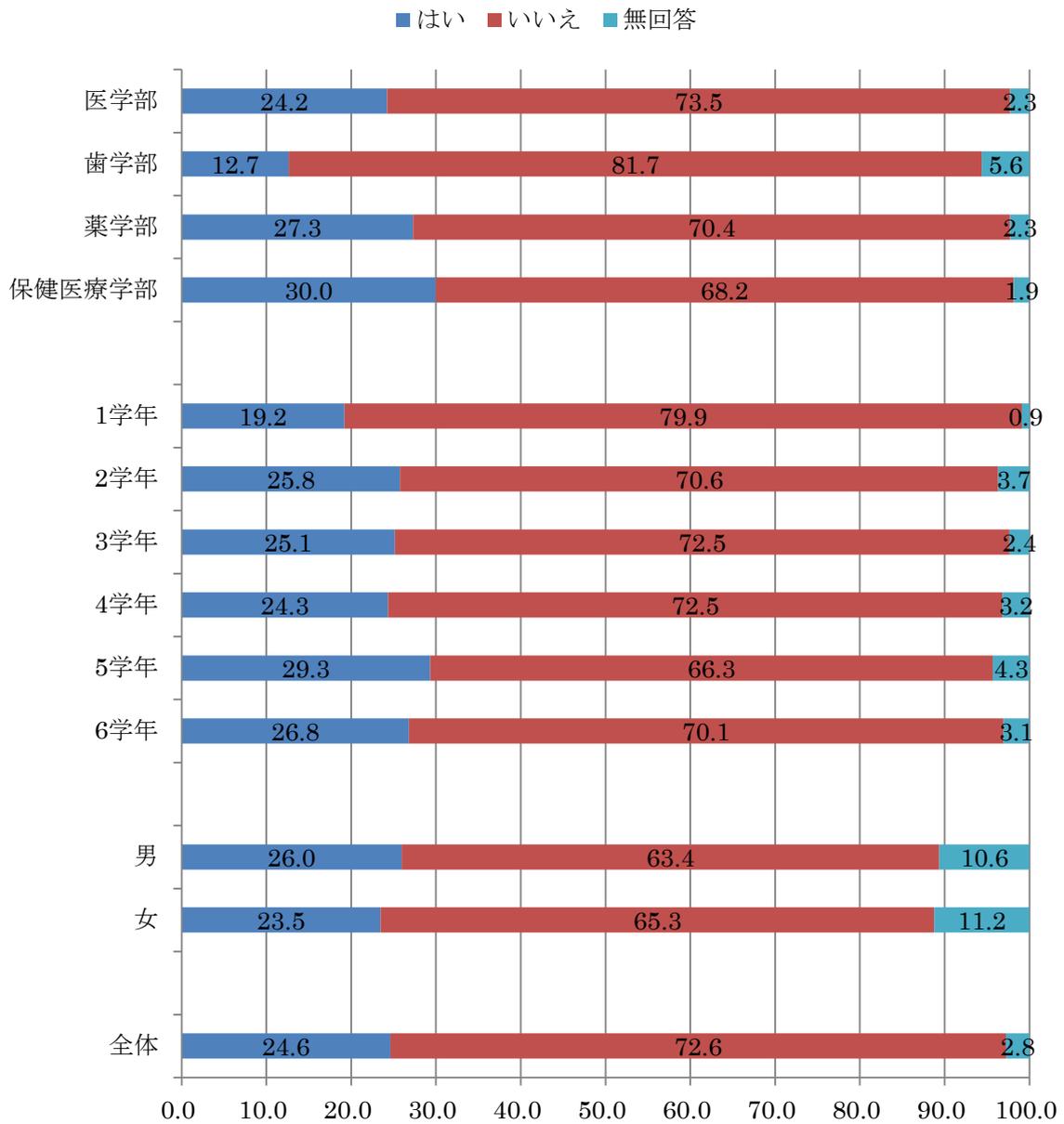
家庭の経済状況は「やや苦しい」「苦しい」が全体で24.8%、学部では保健医療学部31.1%、薬学部26.4%と少し高い。

## 62.アルバイトはどの程度していますか



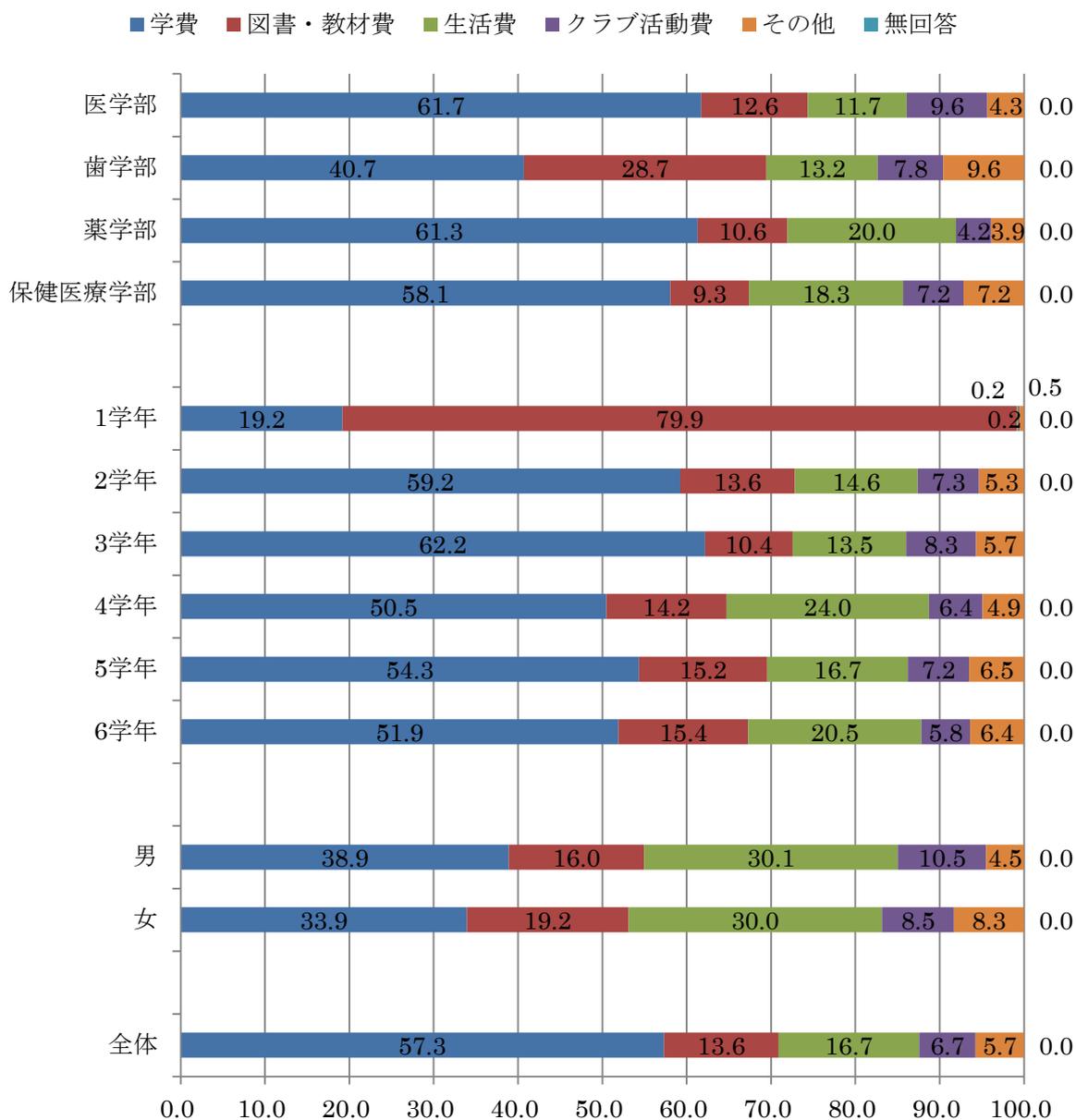
定常的にアルバイトをしている学生の割合は、保健医療学部 58.1%、薬学部 48.1%と高く、学年では2～4年次が高い。1年次のアルバイトをしている学生は 12.8%と低い。この回答は、平成24年度調査と同様な結果となった。

### 63.奨学金を受けていますか



奨学金の受給は全体で 24.6%である。保健医療学部 30.0%、薬学部 27.3%と他学部少し高く、歯学部は 12.7%と低い。

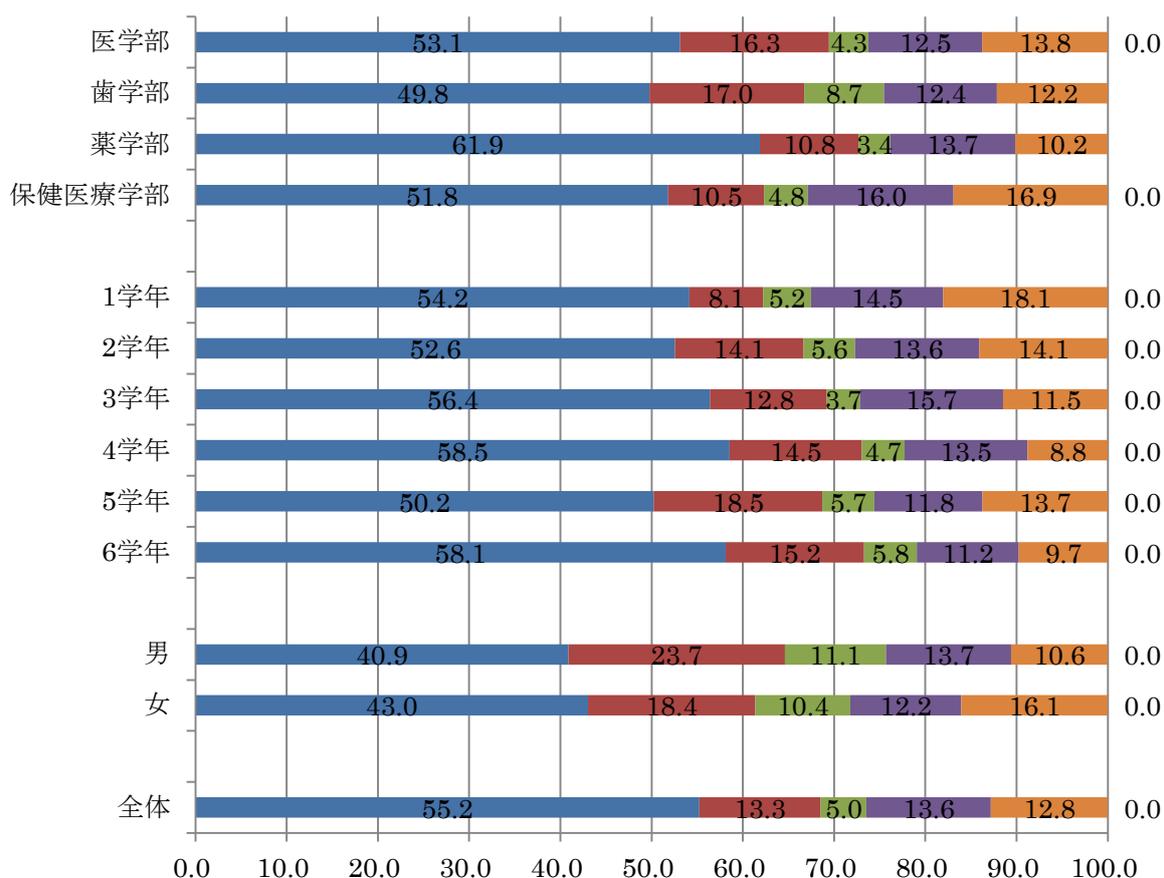
64. 「63」で「a」と答えた人に質問です。奨学金の主な用途は何ですか



奨学金の主な用途は、「学費」「図書・教材費」を合わせて70.9%、生活費16.7%であり無駄な使用はない。平成24年度調査と比較すると、1年次の「図書・教材費」と、全体の「クラブ活動費」への割合が高くなった。

65. 「63」で「b」を選んだ人に質問です。奨学金を受けていない人は、その理由は何ですか

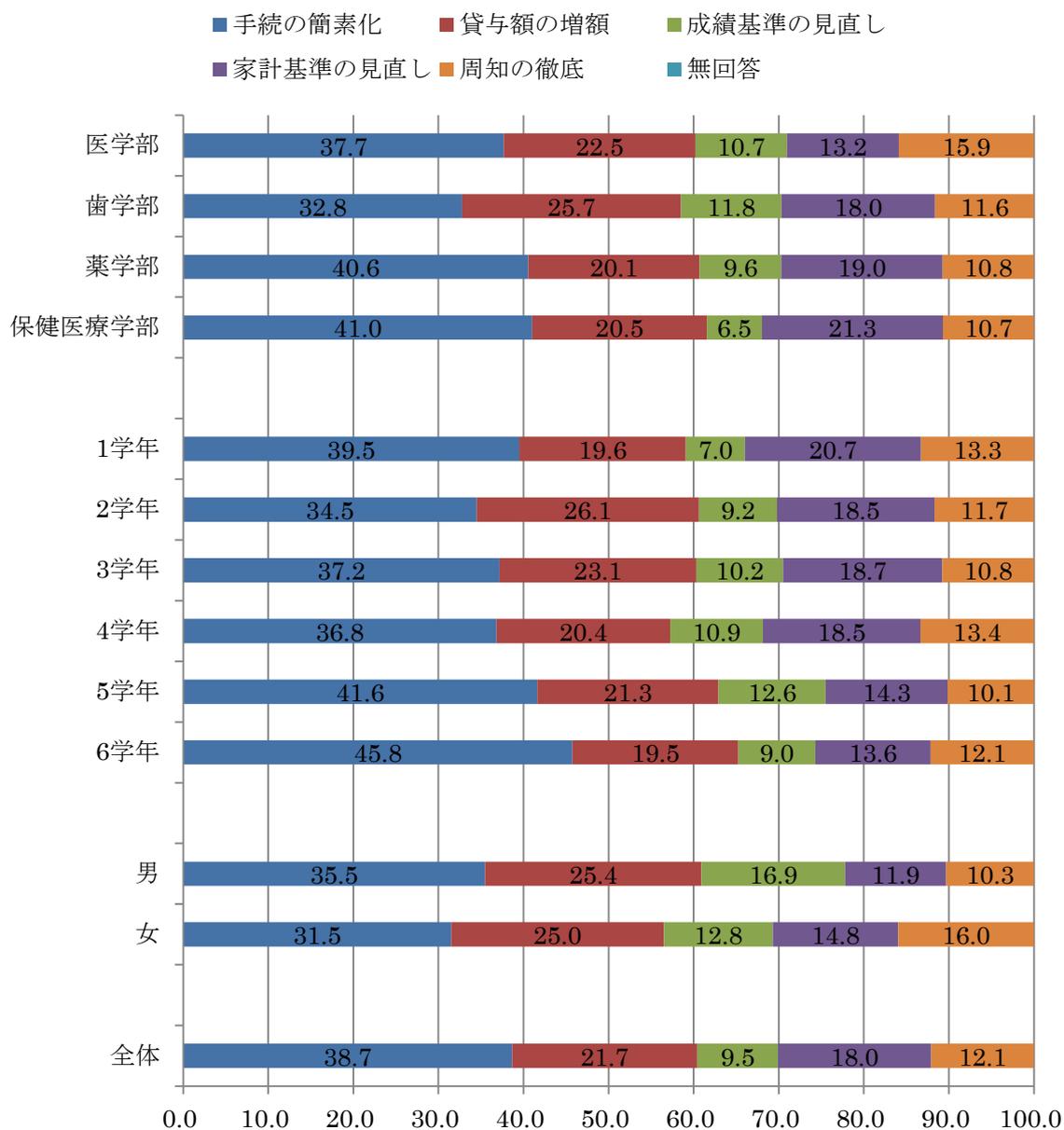
- 家計基準を超えている
- 成績が悪い
- 希望したが不採用
- 返還が困難なことが想像される（返還不要の奨学金が見つからない）
- 奨学金制度を知らなかった
- 無回答



奨学金を受けていない人の 55.2%が、家計基準を超えていることである。成績が悪い、不採用 5.0%、奨学金制度を知らない 12.8%であった。平成 24 年度調査で「奨学金制度を知らない」12.8%は、今回も変わらなかったことから、奨学金制度の周知を徹底する必要がある。

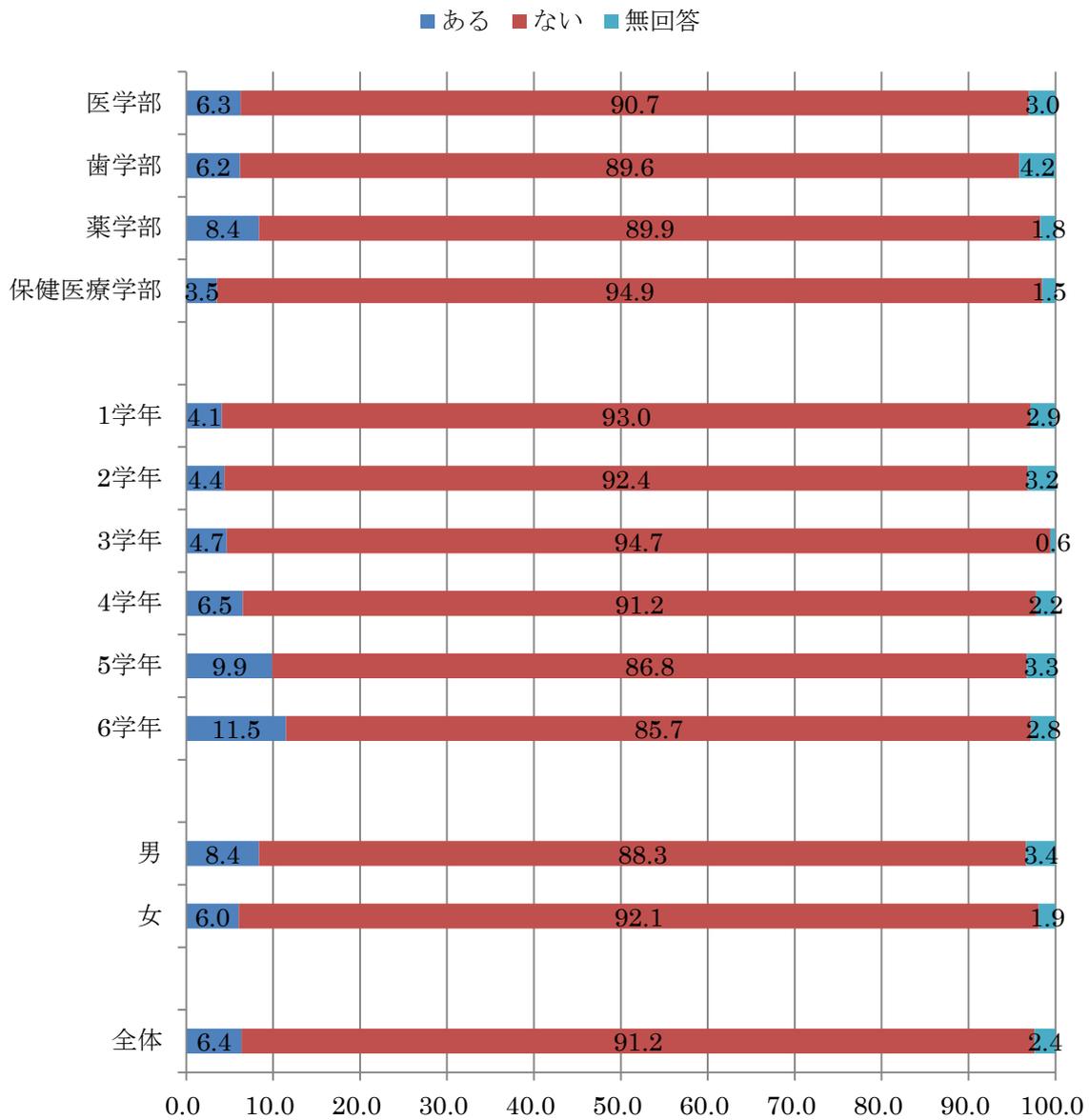
### 66.奨学金に希望することは何ですか

\*複数回答可



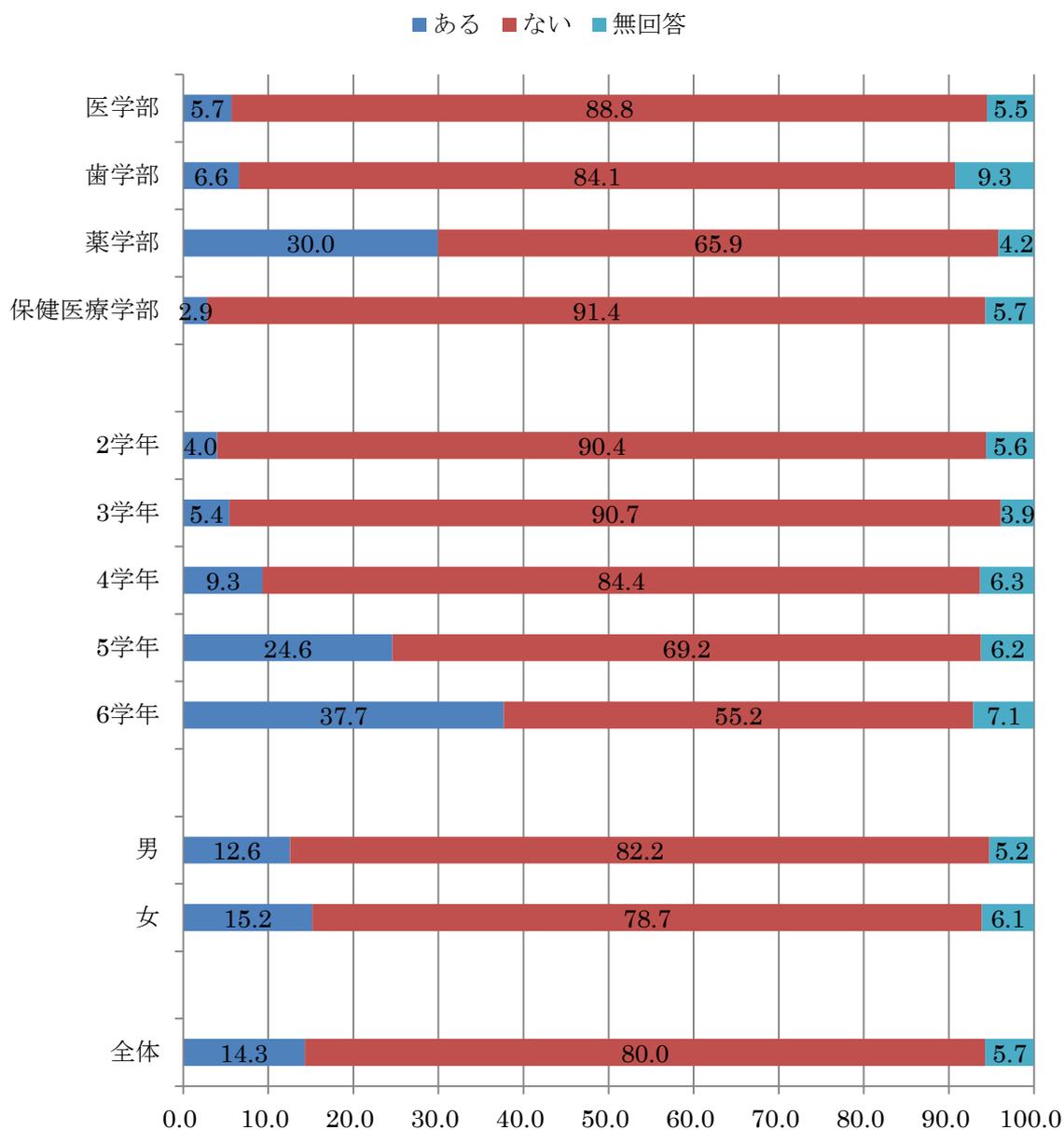
手続きの簡略化 38.7%、貸与額の増額 21.7%、家計基準の見直し 9.5%、周知の徹底 12.1%であった。これら各項目は再検討課題であるが、前回と比べて「貸与額の増額」を望む割合が少し高くなった。時代に合わせた奨学金制度を、検討する必要がある。

67.キャリア支援室が開催している「キャリア向上のための講演会」に参加したことがありますか



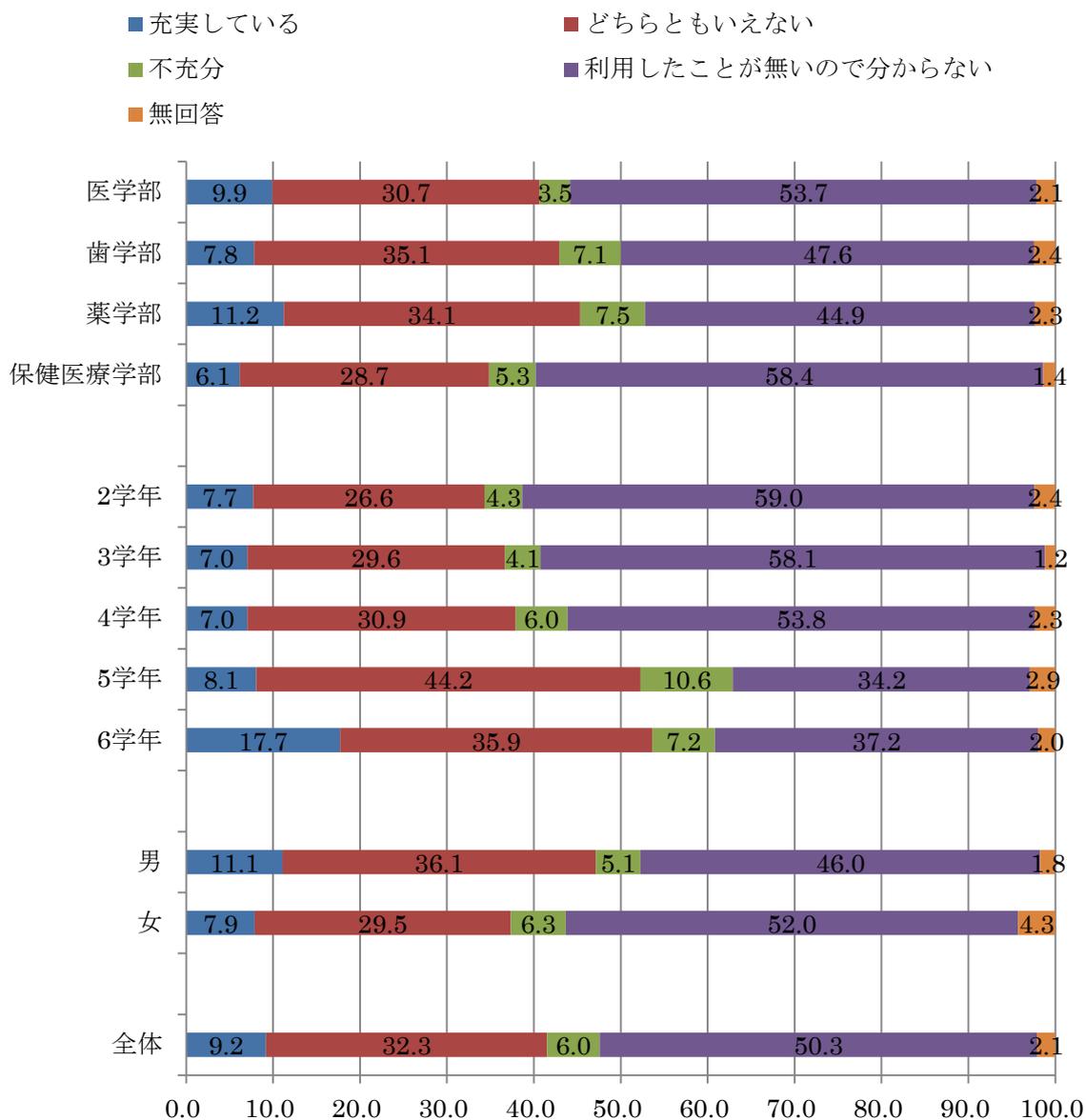
「キャリア向上のための講演会」に参加したことがある学生は、全体で6.4%程度、6年生でようやく10%を超える程度であった。

68.キャリア支援室を利用したことがありますか(第一学年回答不要)



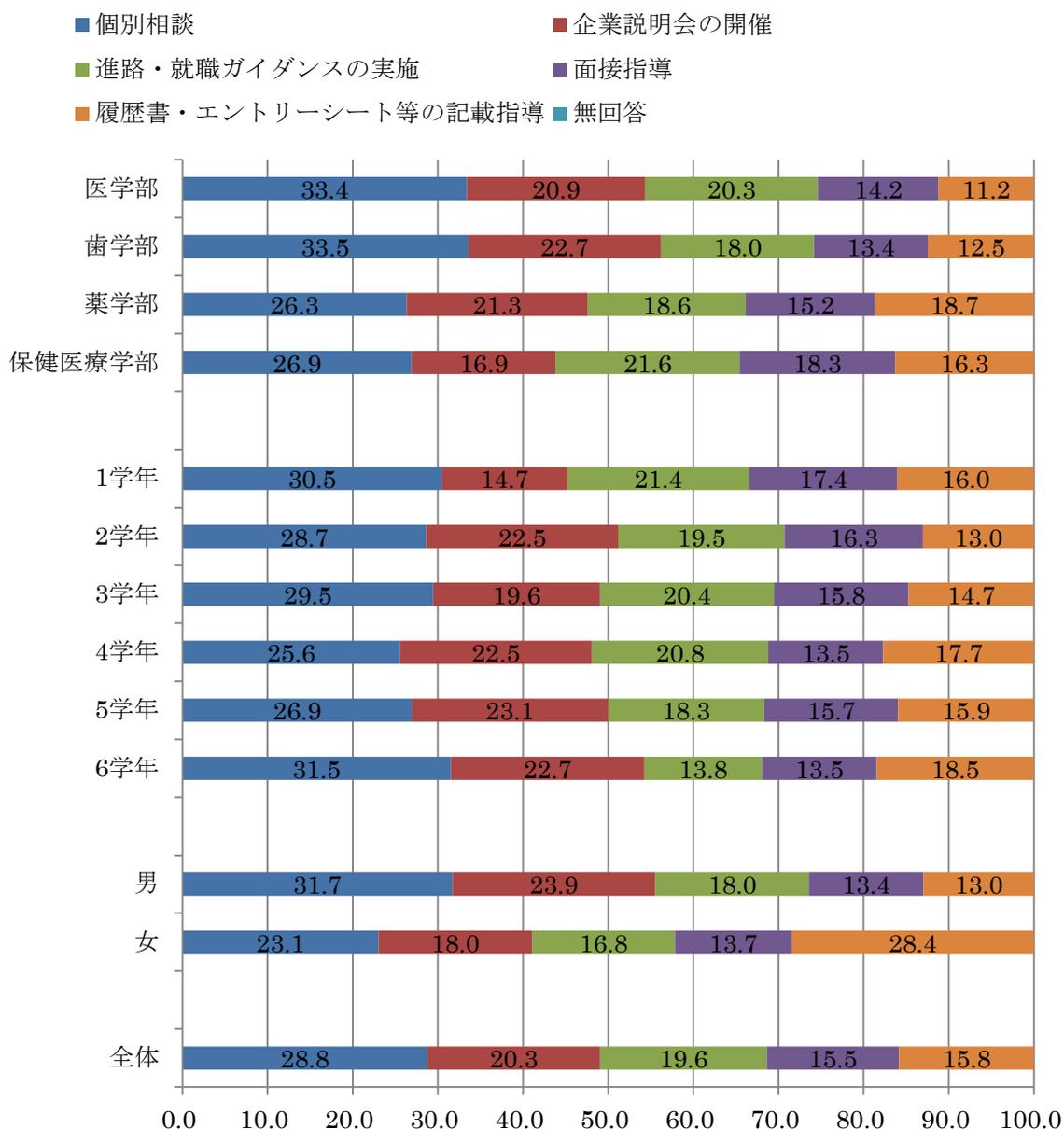
キャリア支援室を利用したことがある学生は、全体で14.3%であるが、薬学部では30%に達し、6年生では37%を超える利用があった。就職活動の情報収集や準備において、薬学部生にとっての必要性は高いことが分かる。

69.キャリア支援室閲覧室の進路・就職関連資料（横浜キャンパス：進路資料閲覧室）は充実していると思いますか(第一学年回答不要)



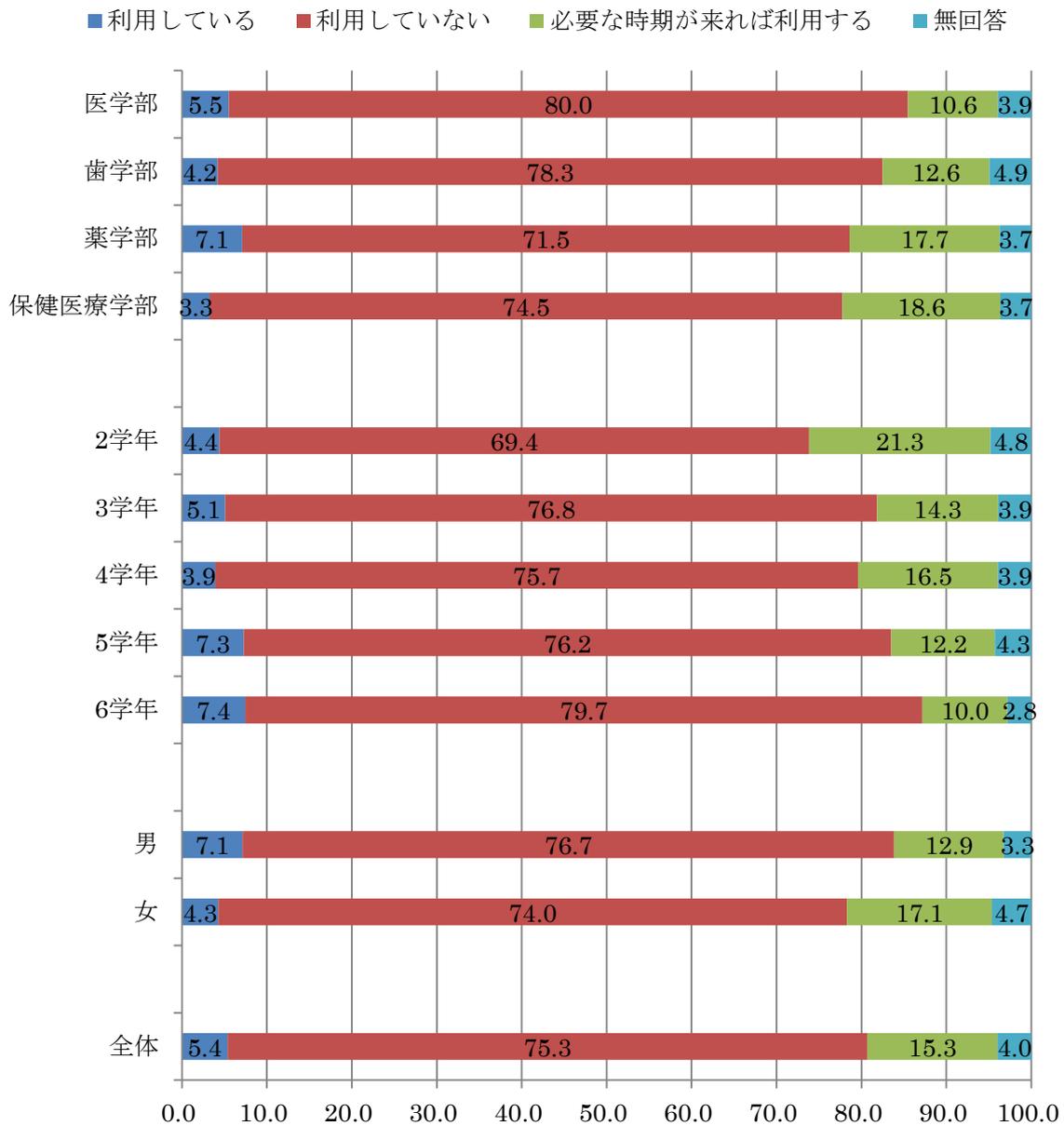
キャリア支援室の進路・就職関連資料について、9.2%が充実していると答えてる。キャリア支援室の利用者が、14.3%であったので、実際に利用した学生の64%以上が好意的に感じて利用してくれていると考えられる。

### 70.進路・就職選択に当たり、どのような支援を期待しますか\*複数回答可



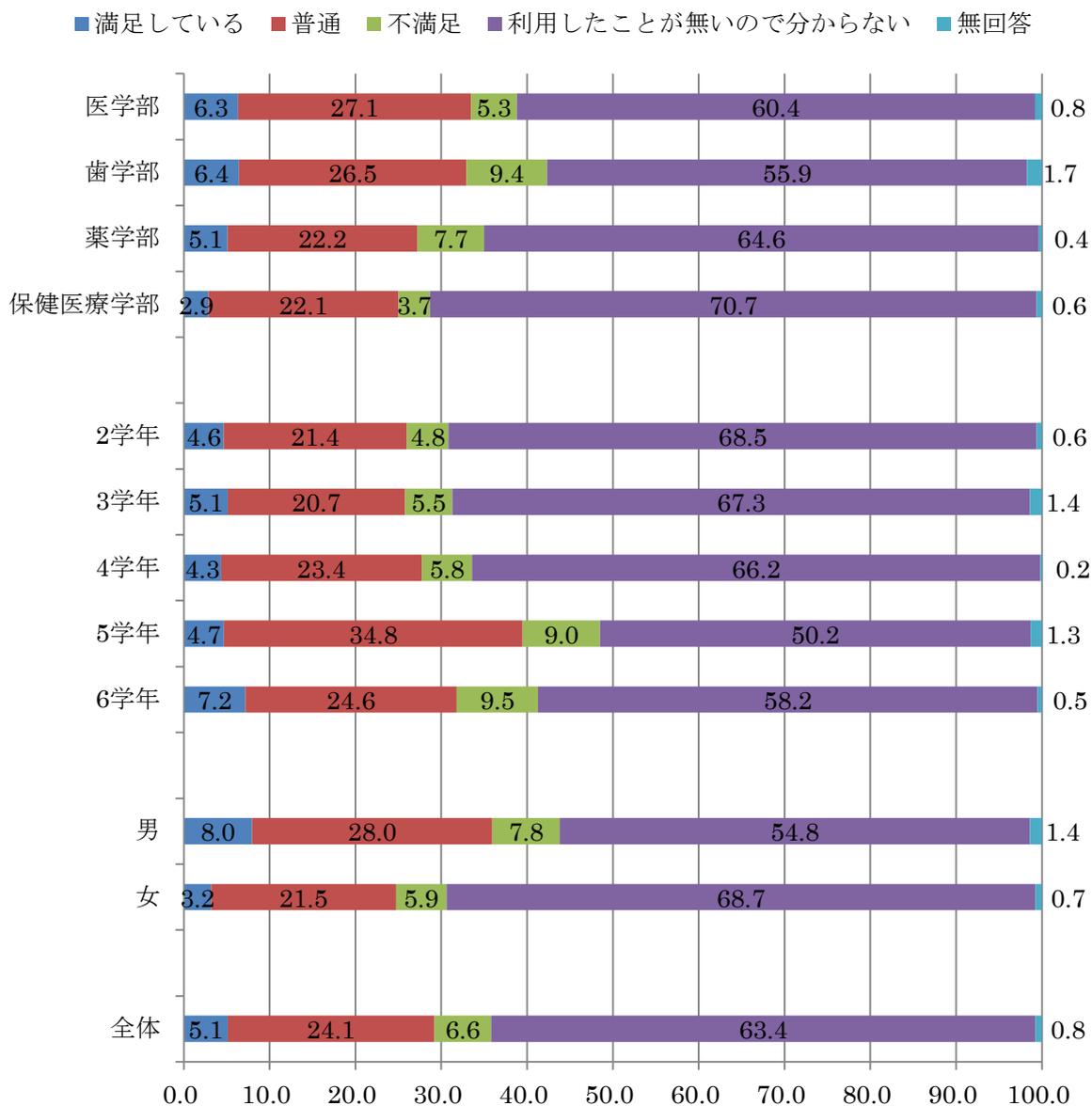
学生が期待する支援内容は、個別相談が28.8%で最も多く、次いで企業説明会(20.3%)、進路・就職ガイダンスの実施(19.6%)の順だったこれは、学部間、学年間の差があまり見られず、学生の真意が反映しているかどうかちょっとわからない結果である。また、女子では履歴書の記載指導が28.4%で最多であったが、学部ごと、学年ごとではすべて19%以下なので、このような数字になるのかどうか、集計結果に疑問が残る。

71. 『進路・就職支援システム』を利用していますか(第一学年回答不要)



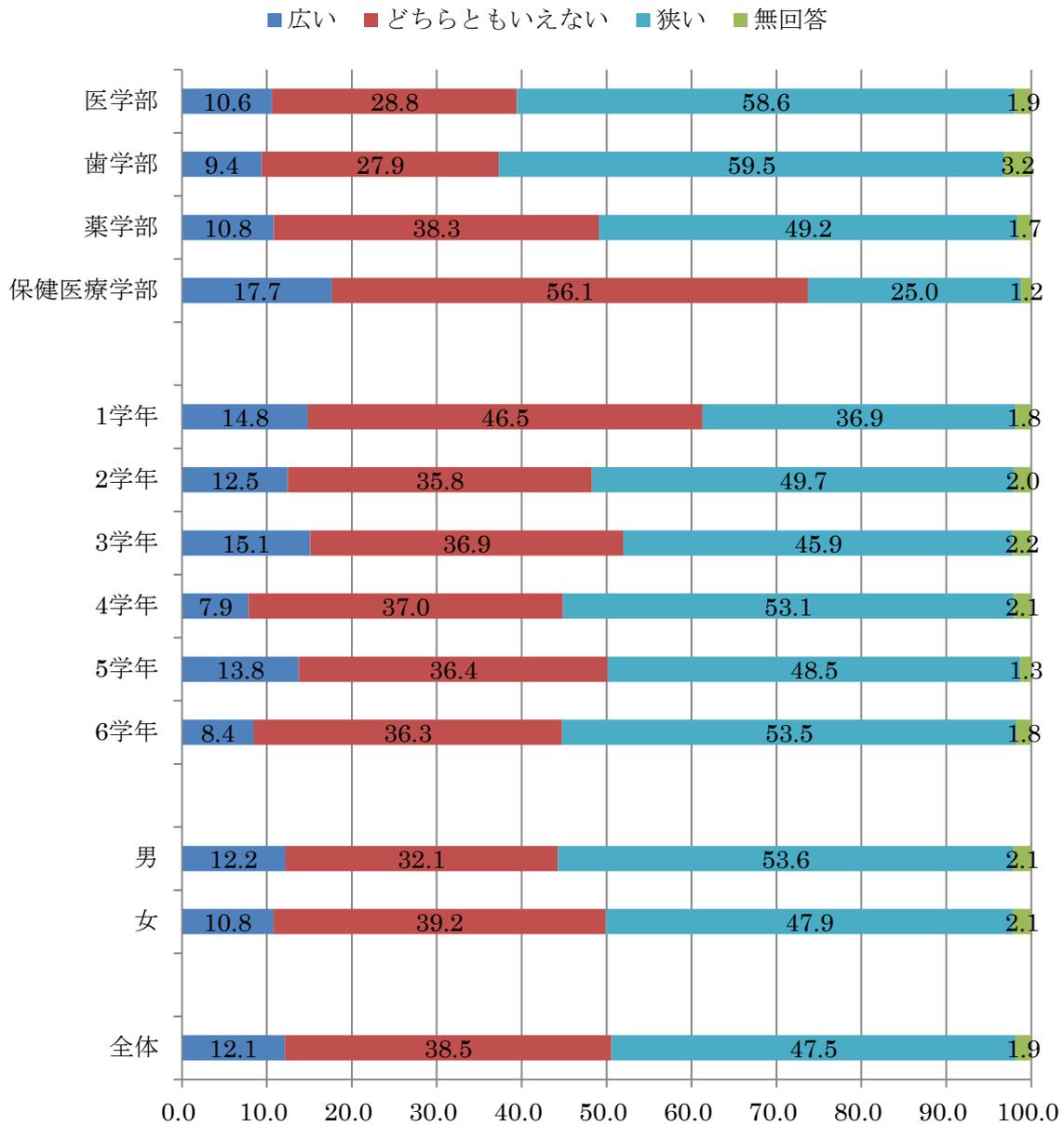
進路・就職支援システムを利用していると答えた学生は、全体で5.4%、6年制でも7.4%に留まった。

72.『進路・就職支援システム』の掲載情報について満足していますか(第一学年回答不要)



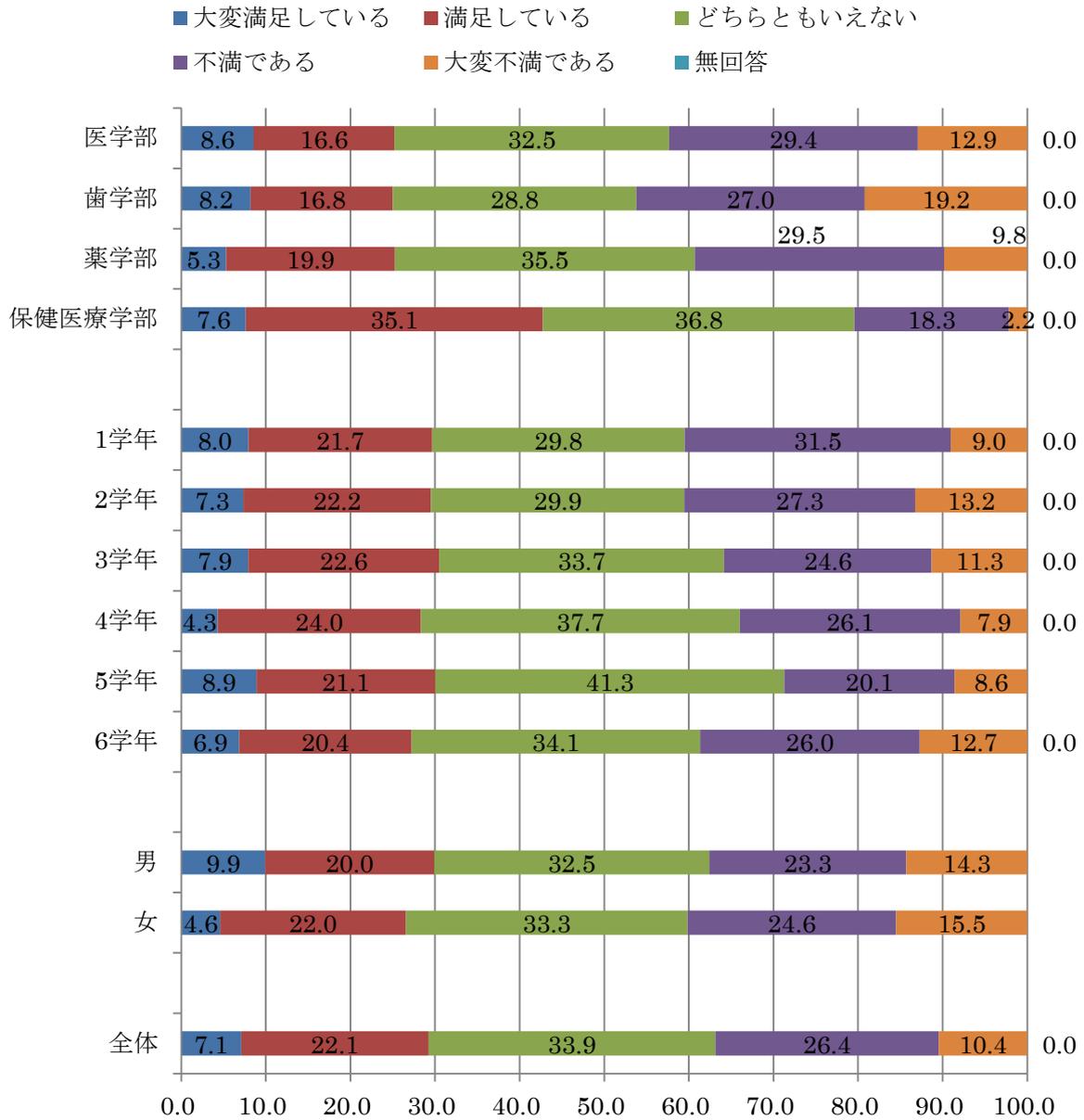
進路・就職支援システムについての満足度は、満足が5.1%、63%以上が利用したことがないので分からない、と回答している。まずは利用度を上げる工夫が必要である。

### 73.講義教室について（広さ）



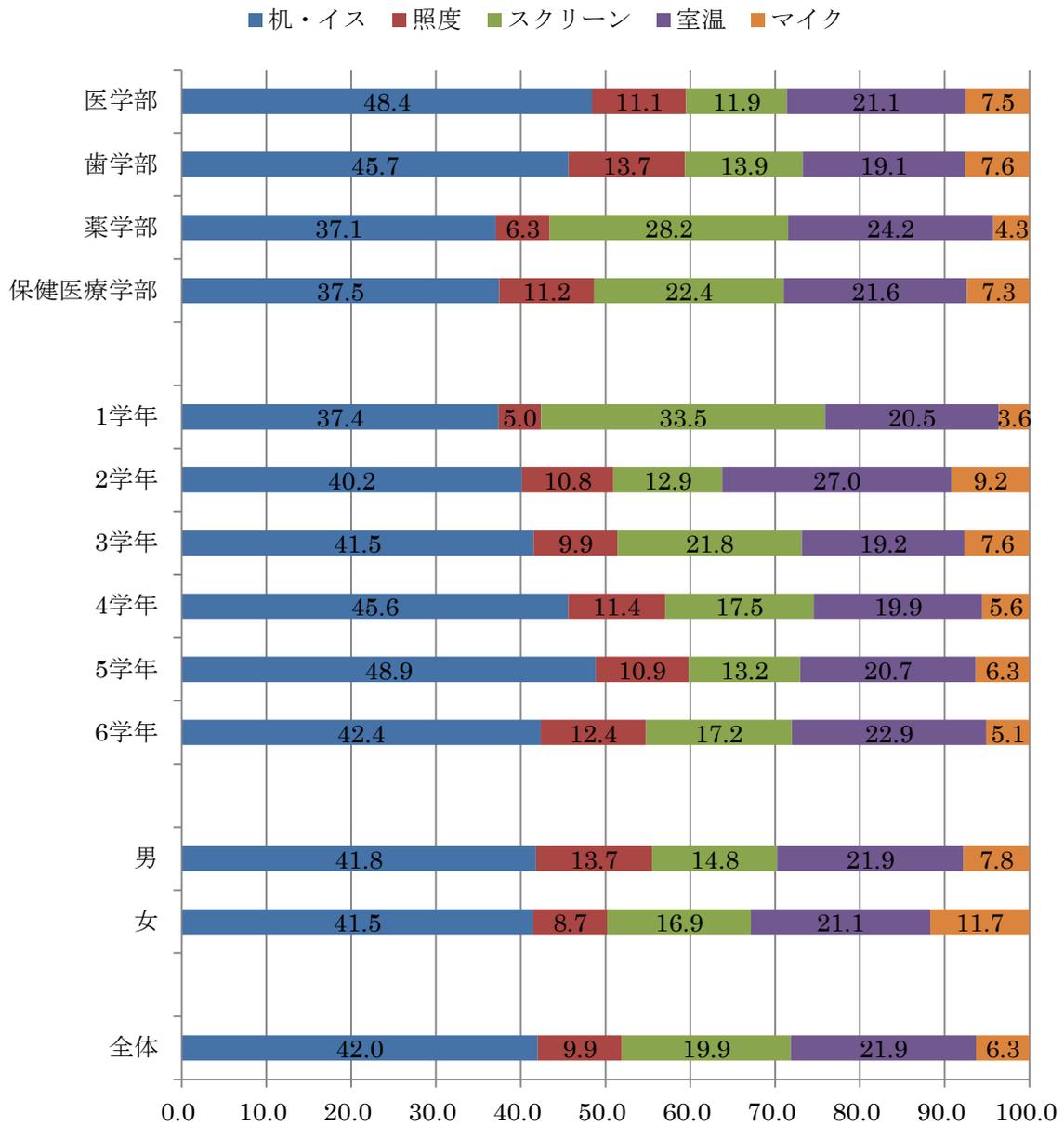
講義教室については、50%近くが狭いと答えている。保健医療学部のみは広いが17.7%、狭いが25%で、賛否が拮抗しているが、旗の台キャンパスでは狭いと感じている学生が多いことが分かる。

#### 74. 講義教室に満足していますか



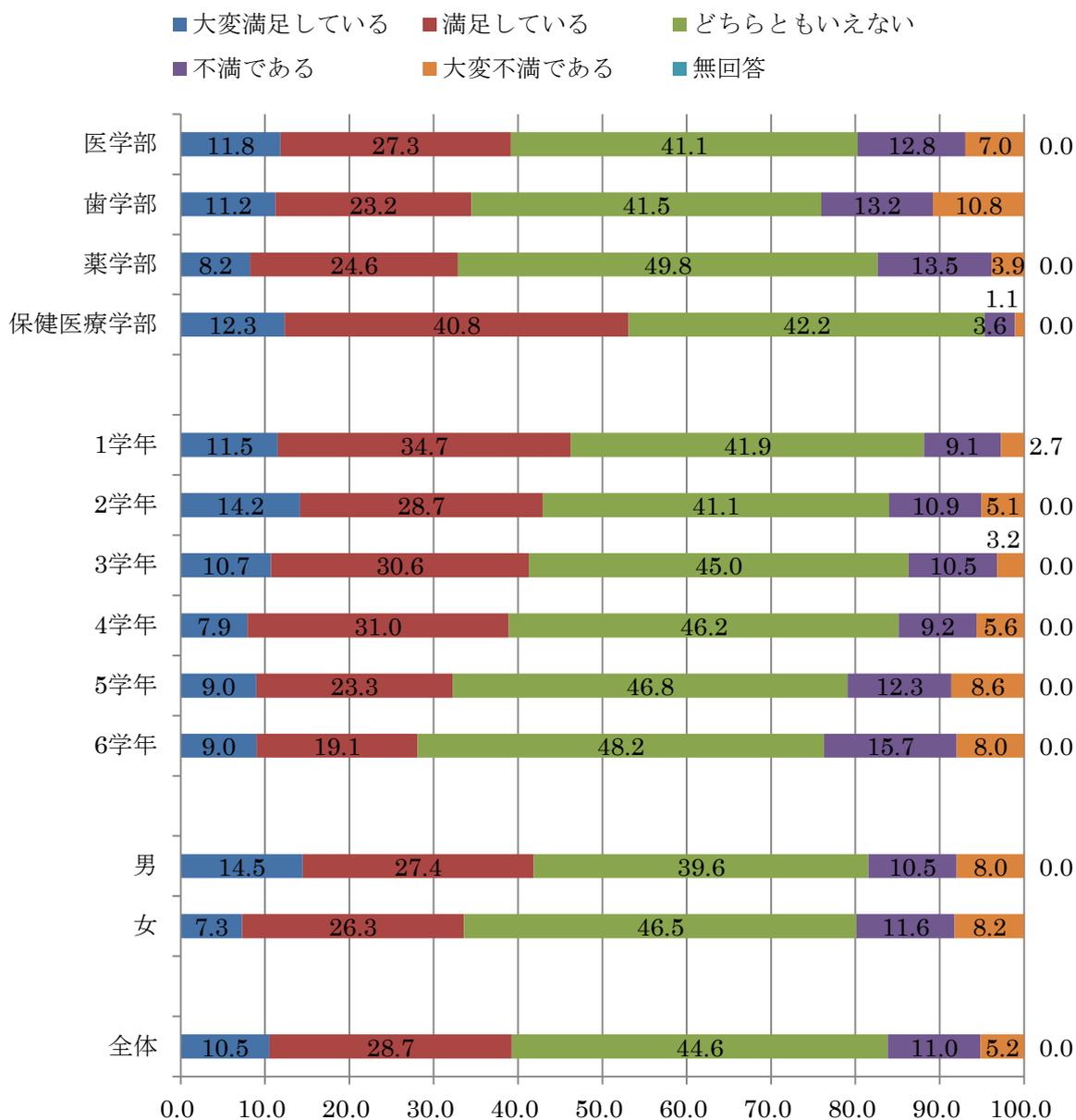
講義教室への満足度は、保健医療学部では大変満足と満足合わせて 42.7%で不満と大変不満を合わせた 20.5%を大きく上回っているのに対し、旗の台キャンパスの医歯薬学部では満足と大変満足で約 25%、不満と大変不満で 40%強よりも大きく下回っている。

75. 「74」で「d」「e」と答えた方に質問します。何に不満と感じていますか



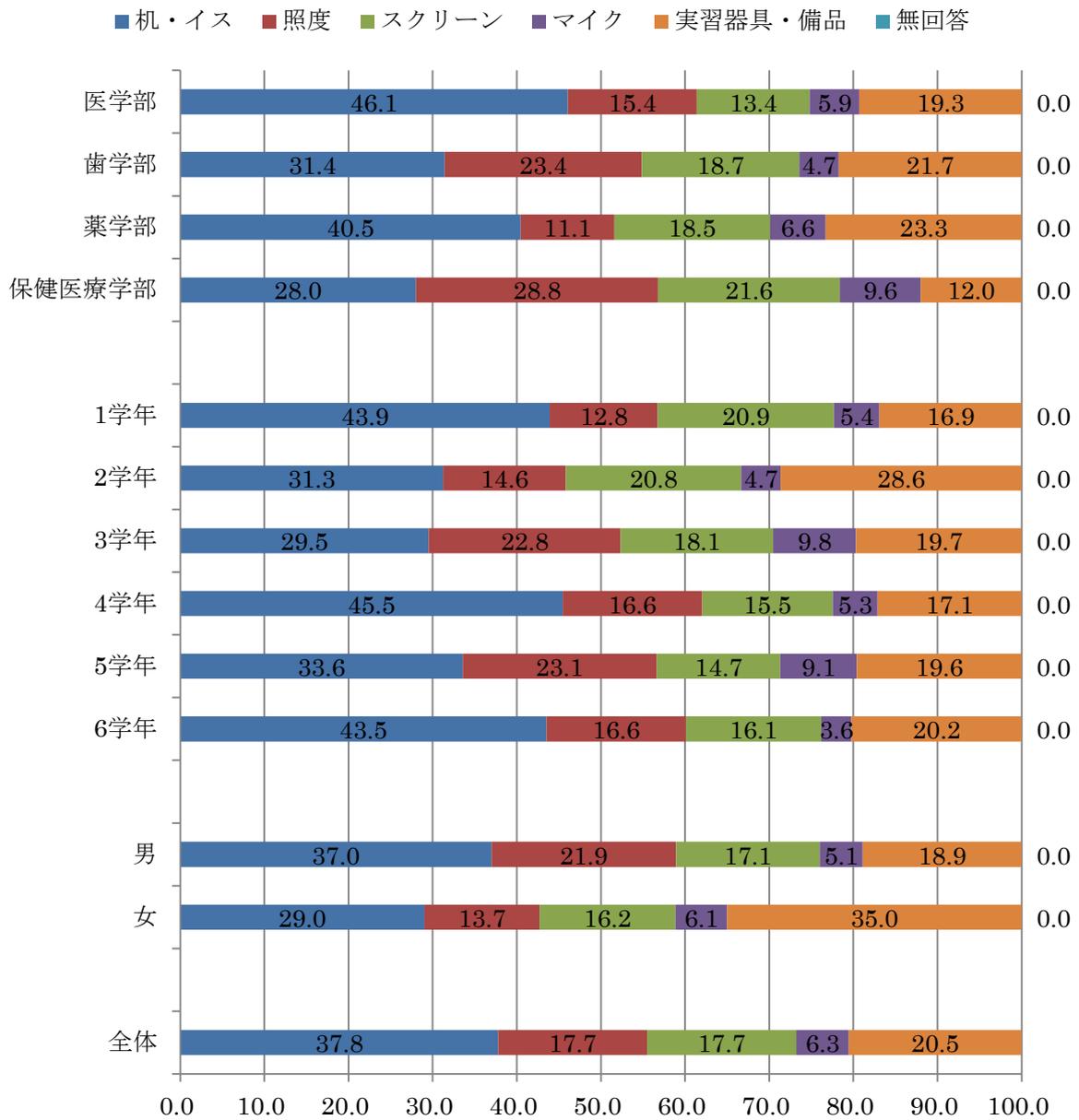
講義室に対する不満なポイントは、机・椅子という回答が最も多く 42%、次いで室温、スクリーンの順であった。

### 76.実習室に満足していますか



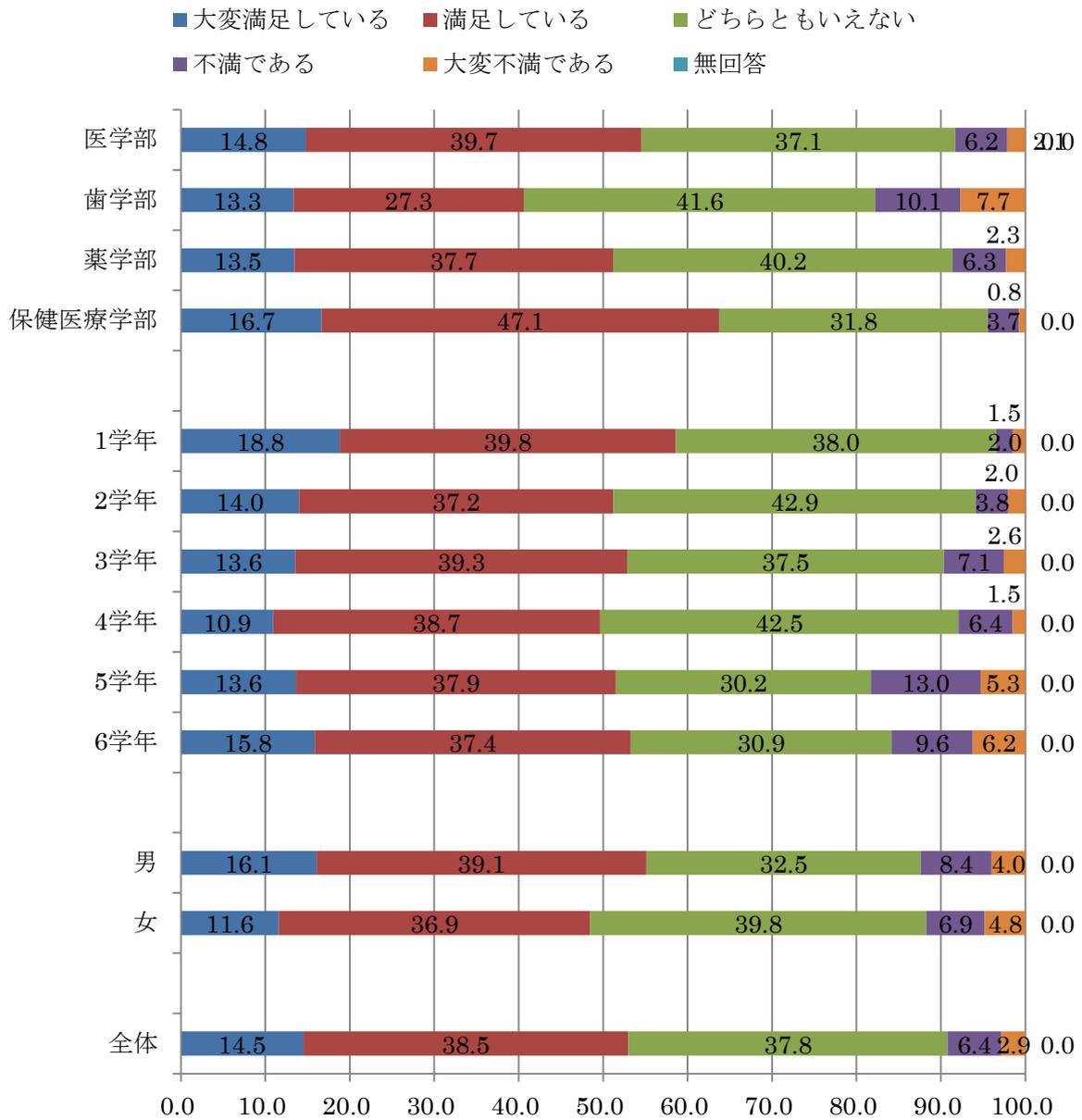
実習室に対する満足度も、保健医療学部では満足、大変満足を合わせて53.1%に達して、不満は5%以下であるのに対し、旗の台キャンパスでは満足が薬35%、不満の意見が20%程度に達している。

77. 「76」で「d」「e」と答えた方に質問します。何に不満を感じていますか



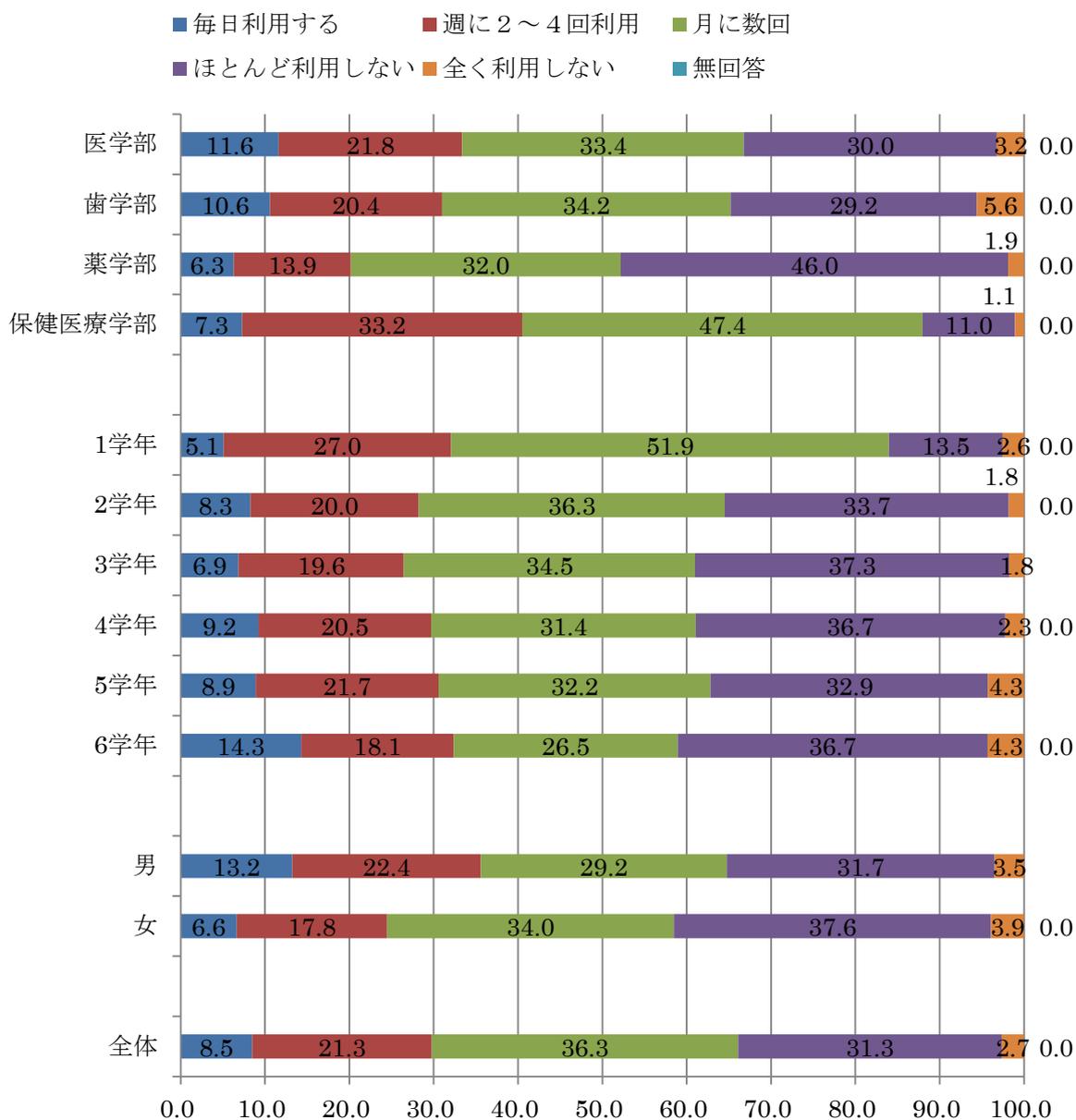
実習室（特に旗の台キャンパス）に対する不満な点で最も多かったのは、机・イスで約40%、次いで実験器具・備品で20%強に達した。

### 78.実習施設（教育病院）に満足していますか



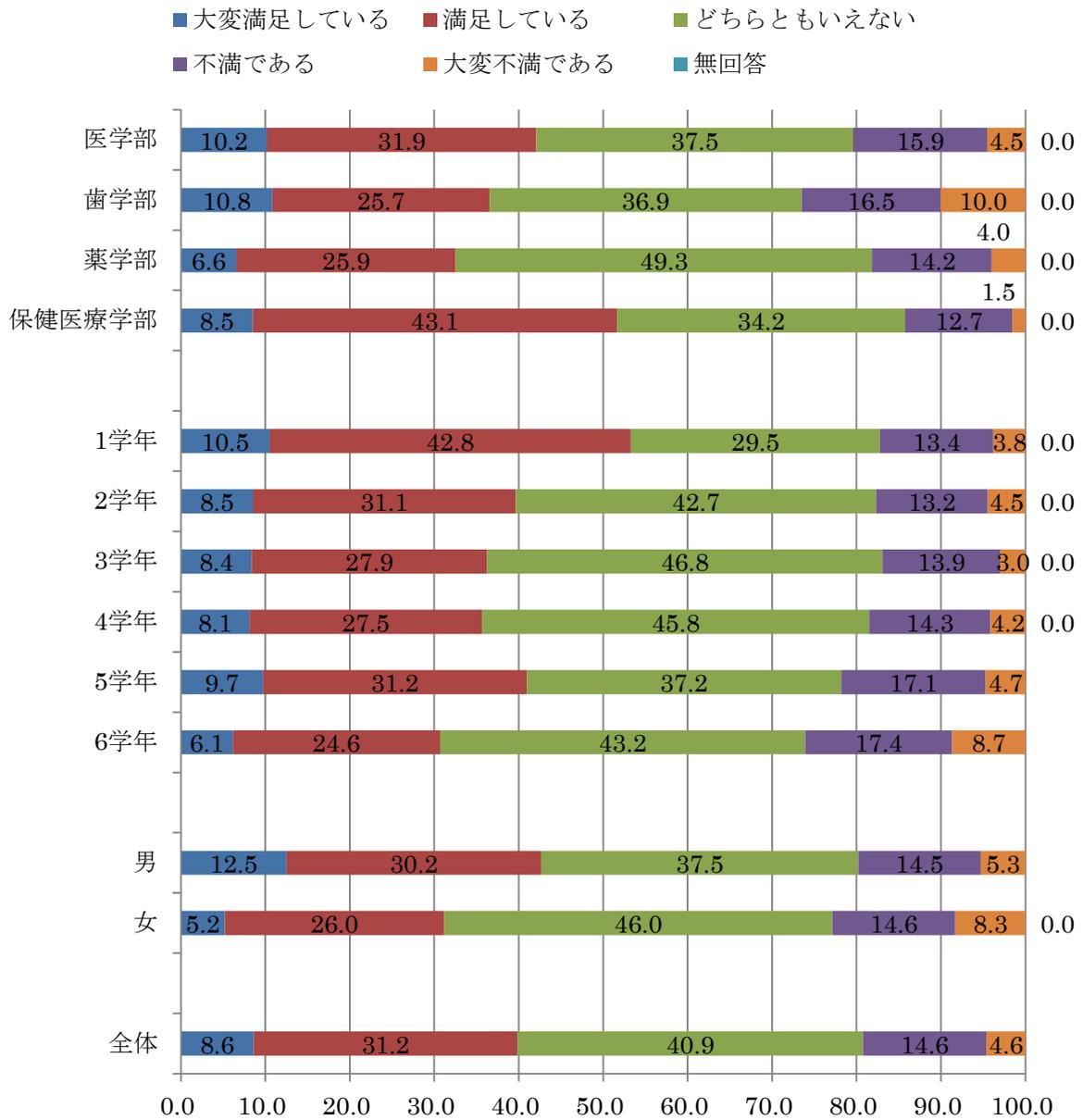
実習を行っている教育病院についての満足度は全体で52%と高く、不満の声は10%以下であった。学部別では、歯学部での満足度が低く、不満・大変不満の意見が17.8%であった。

### 79.図書館・図書室をどの程度利用していますか



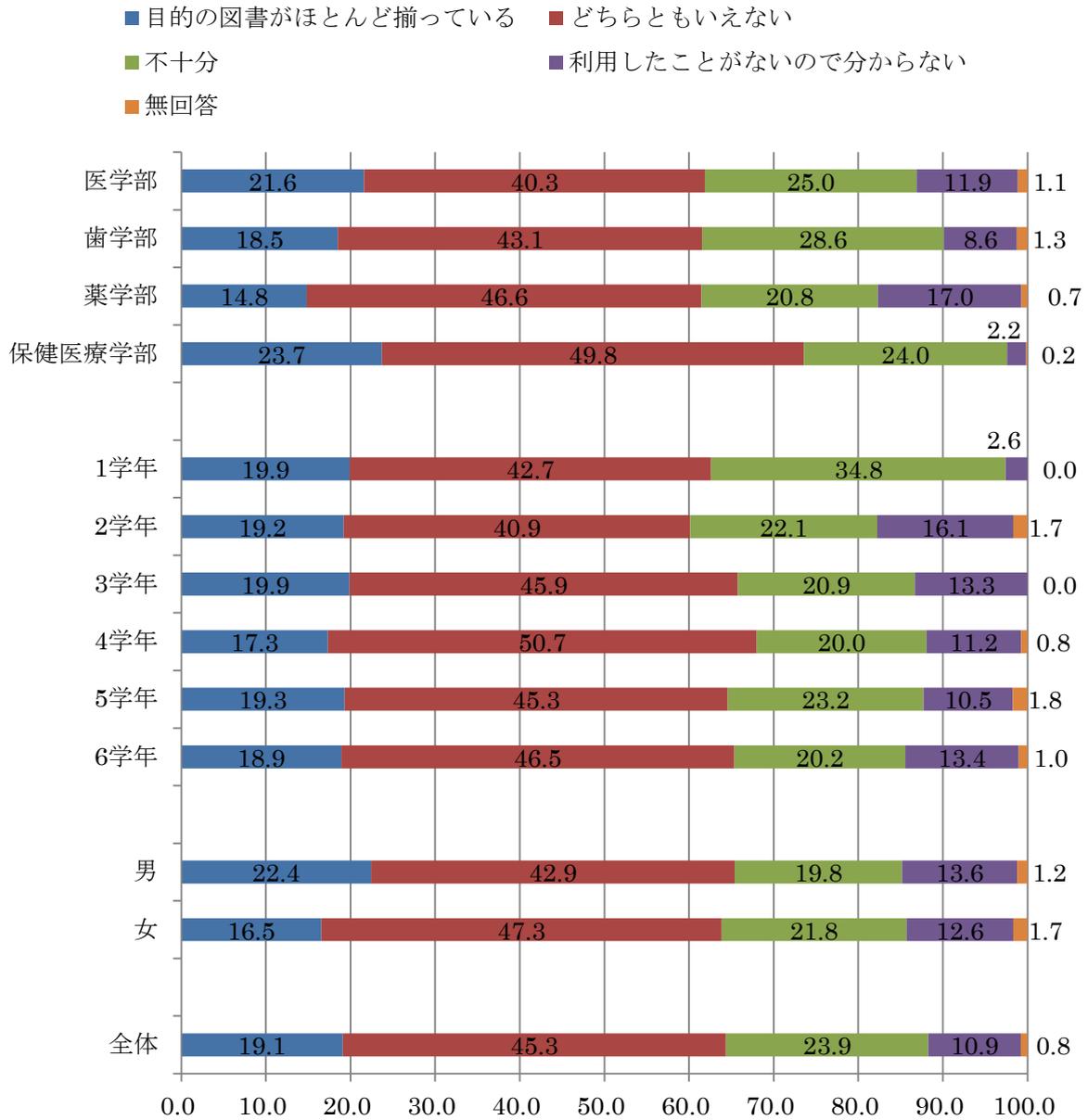
図書館を週に2回以上利用すると答えた学生は、全体で29.8%であるが、学部間での差がみられ、保健医療学部40.5%、医学部33.4%、歯学部31%、薬学部20.2%であった。

### 80.図書館・図書室に満足していますか



図書館に満足・大変満足と答えた学生は全体で 39.8%、不満と答えた学生 19.2%を大きく上回った。満足度においても学部間の差がみられ、保>医>歯>薬の順であった。

### 81.図書館・図書室の図書の充実度について



図書館所蔵の図書が揃っていると答えた学生は全体で19.1%であった。